

逗子市高齢者保健福祉計画策定

一般高齢者調査結果報告書

平成 23年 3月

逗子市

目次

I アンケート調査の概要	1
1 調査の目的.....	3
2 調査対象及び方法.....	3
(1) 調査対象.....	3
(2) 調査方法.....	3
3 回収状況.....	3
4 報告書を読む際の注意点.....	3
II 集計の結果	5
1 回答の前提.....	7
2 回答者の属性.....	8
(1) 性・年齢.....	8
(2) 住まい	10
(3) 同居状況.....	14
(4) 心身の状況.....	18
(5) 経済状況について.....	21
3 健康と医療.....	22
(1) 日常生活圏域ニーズ調査による判定	22
(2) 入通院の状況.....	49
(3) 日頃の健康管理.....	51
(4) 支援ニーズ.....	54
4 介護が必要になったときの暮らし方についての意向.....	56
5 保健福祉サービス利用の現状と意向.....	69
(1) 保険福祉サービスの利用の現状と意向.....	69
(2) 介護保険について.....	83
(3) 現在利用しているサービスの評価.....	84
(4) 相談先	89
6 意見（自由記述）	92
参考資料	97
一般高齢者調査票	

Ⅰ アンケート調査の概要

1 調査の目的

逗子市では、平成 24 年度以降の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するにあたり、基礎調査の一環として、サービスを利用する側（要支援・要介護認定者、介護者、一般高齢者）と提供する側（サービス提供事業所、介護支援専門員（ケアマネジャー））に対するアンケート調査を実施した。

本報告書は、そのうち、一般高齢者（高齢者のうちまだ介護保険制度を利用していない人々）に対する調査の結果をとりまとめたものである。

介護保険制度は、予防重視、地域密着型サービスの展開など、新たな時代を目指しつつある。市民が高齢期を安心して心豊かに過ごしていくためには、地域の中で、自立的に生活や健康づくりを実践していけるような環境づくり、必要に応じて相談やサービス利用が展開できるような環境づくりが望まれる。

このような認識に立ち、一般高齢者調査では、日常生活の実態・実感（保健福祉サービスとの関わりを含む）、今後の住まい方やサービスの利用意向などについて把握することを目的に実施した。

2 調査対象及び方法

(1) 調査対象

平成 23 年 2 月 1 日現在で逗子市在住の介護保険の要支援・要介護認定を受けている方を除く 65 歳以上の市民（一般高齢者）

(2) 調査方法

- ① 抽出対象 : 平成 23 年 2 月 1 日現在の統計による対象者 13,948 名
- ② 抽出数 : 1,000 名（コンピュータによって発生させた無作為抽出）
- ③ 調査表の配布・回収方法 : 郵送による配布・回収（督促 1 回）
- ④ 調査実施時期 : 平成 23 年 2 月 10 日～2 月 21 日

3 回収状況

配布数	有効回収票数	有効回収率
1,000 票	831 票	83.1%

4 報告書を読む際の注意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数(n)として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

II 集計の結果

1 回答の前提

<回答者>

◎最初にこの調査にご回答いただく方についておたずねします。

1. ご本人自らが回答

2. ご本人の回答を、別の方が代筆

3. ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答

【2、3とお答えの方におたずねします】

それは、ご本人からみてどなたですか。

1. 配偶者

2. 子

3. 兄弟姉妹

4. 孫

5. 親

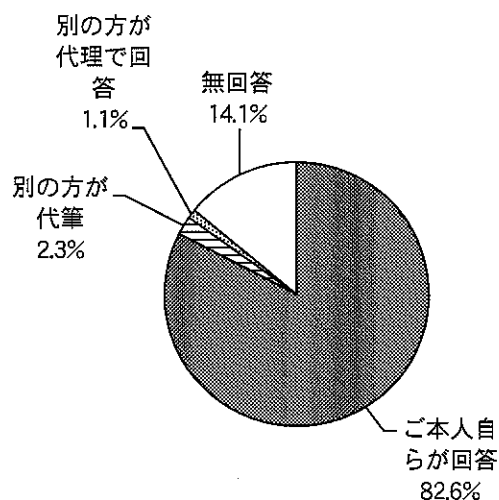
6. その他 ()

本アンケートの<回答者>については、「ご本人自らが回答」が82.6%と最も多くなっている。

本人以外が回答した28人について、回答の内訳をみると、「配偶者」が42.9%と最も多く、次いで「子」28.6%と続いている。

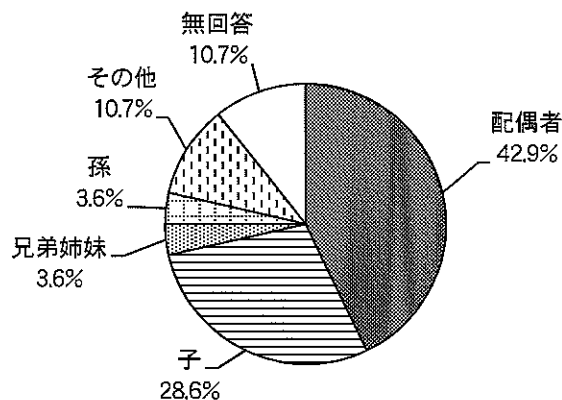
◎回答者

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	ご本人自らが回答	686	82.6
2	ご本人の回答を、別の方が代筆	19	2.3
3	ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答	9	1.1
	無回答	117	14.1
	全体(n)	831	100.0



◎本人との関係

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	配偶者	12	42.9
2	子	8	28.6
3	兄弟姉妹	1	3.6
4	孫	1	3.6
5	その他	3	10.7
	無回答	3	10.7
	全体(n)	28	100.0



2 回答者の属性

(1) 性・年齢

<性別>

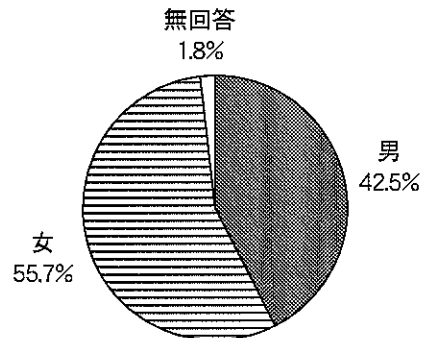
問1 あなたの性別・年齢をおたずねします。

(1) 性別 1. 男 2. 女

回答者の<性別>分布をみると、男性が42.5%、女性が55.7%であった。

性別

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	男	353	42.5
2	女	463	55.7
	無回答	15	1.8
	全体(n)	831	100.0



年齢別にみると、「80～84歳」を除く年齢層で「女性」の比率が高くなっており、特に「85～89歳」及び「90歳以上」において女性の比率が男性に比べ大幅に高い割合となっている。

上段：人
下段：%

		全体(n)	性別		
			男性	女性	無回答
合計		831	353	463	15
		100.0	42.5	55.7	1.8
年齢	65～69歳	255	104	151	0
		100.0	40.8	59.2	0.0
	70～74歳	222	95	126	1
		100.0	42.8	56.8	0.5
	75～79歳	178	75	102	1
		100.0	42.1	57.3	0.6
	80～84歳	111	60	49	2
100.0		54.1	44.1	1.8	
85～89歳	41	16	25	0	
	100.0	39.0	61.0	0.0	
90歳以上	8	2	6	0	
	100.0	25.0	75.0	0.0	
無回答		16	1	4	11
		100.0	6.3	25.0	68.8
居住圏域	東部圏域	406	176	226	4
		100.0	43.3	55.7	1.0
	西部圏域	402	174	228	0
		100.0	43.3	56.7	0.0
無回答		23	3	9	11
		100.0	13.0	39.1	47.8

<年齢>

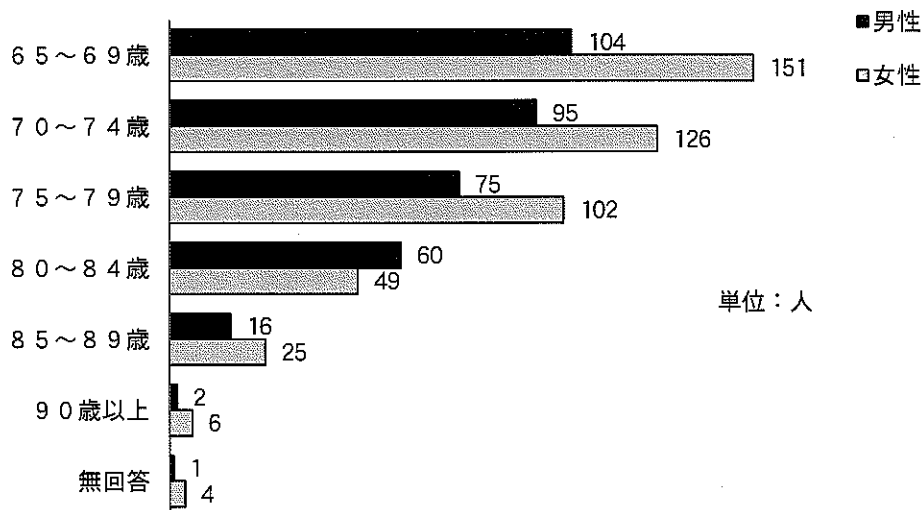
(2) 年齢

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 2. 70～74歳 | 3. 75～79歳 |
| 4. 80～84歳 | 5. 85～89歳 | 6. 90歳以上 |

<年齢（5歳階級）>では、「65～69歳」が30.7%と最も多く、次いで「70～74歳」26.7%、「75～79歳」21.4%、「80～84歳」13.4%と続いており、年齢層が若いほど回答率が高い。

年齢

No.	カテゴリー名	回答者数	(%)	男性	(%)	女性	(%)	無回答	(%)
1	65～69歳	255	(30.7)	104	(29.5)	151	(32.6)	0	(0.0)
2	70～74歳	222	(26.7)	95	(26.9)	126	(27.2)	1	(6.7)
3	75～79歳	178	(21.4)	75	(21.2)	102	(22.0)	1	(6.7)
4	80～84歳	111	(13.4)	60	(17.0)	49	(10.6)	2	(13.3)
5	85～89歳	41	(4.9)	16	(4.5)	25	(5.4)	0	(0.0)
6	90歳以上	8	(1.0)	2	(0.6)	6	(1.3)	0	(0.0)
	無回答	16	(1.9)	1	(0.3)	4	(0.9)	11	(73.3)
	全体(n)	831	(100.0)	353	(100.0)	463	(100.0)	15	(100.0)



上段：人
下段：%

		全体	年齢						無回答
			65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	
合計		831	255	222	178	111	41	8	16
		100.0	30.7	26.7	21.4	13.4	4.9	1.0	1.9
居住圏域	東部圏域	406	121	110	86	60	22	4	3
		100.0	29.8	27.1	21.2	14.8	5.4	1.0	0.7
	西部圏域	402	131	107	90	50	19	3	2
		100.0	32.6	26.6	22.4	12.4	4.7	0.7	0.5
無回答		23	3	5	2	1	0	1	11
		100.0	13.0	21.7	8.7	4.3	0.0	4.3	47.8

(2) 住まい

<逗子市への居住年齢>

(1) あなたが逗子市にお住まいの期間は、通算でどのくらいですか。

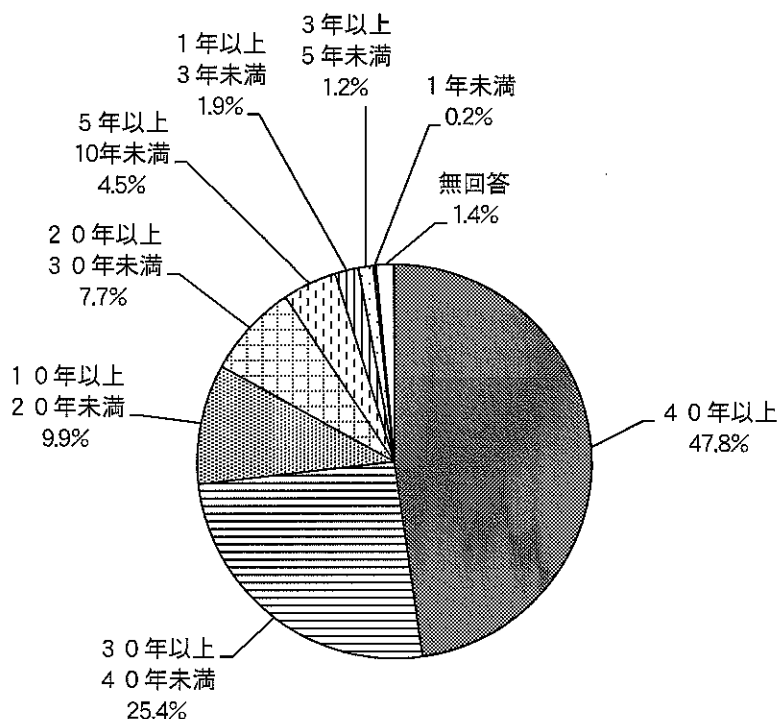
- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 | 3. 3年以上5年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上30年未満 |
| 7. 30年以上40年未満 | 8. 40年以上 | |

<逗子市への居住年数>については、「40年以上」が47.8%と最も多く、次いで「30年以上40年未満」25.4%、「10年以上20年未満」9.9%と続いている。

居住年数が30年以上の回答者が73.2%を占めており、逗子市に長い期間居住している高齢者の多さがうかがえる。

居住年数

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	1年未満	2	0.2
2	1年以上3年未満	16	1.9
3	3年以上5年未満	10	1.2
4	5年以上10年未満	37	4.5
5	10年以上20年未満	82	9.9
6	20年以上30年未満	64	7.7
7	30年以上40年未満	211	25.4
8	40年以上	397	47.8
	無回答	12	1.4
	全体(n)	831	100.0



<居住地区>

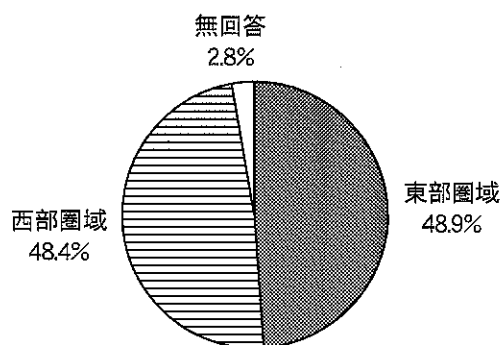
(2) 本市では、地理的条件や人口、交通事情その他社会的条件に配慮し、介護保険サービス等の利用に地域格差が生じることがないように、2か所の日常生活圏域を設定しています。あなたのご自宅は、どちらの日常生活圏域にありますか。

- | | | |
|---------|--|---|
| 1. 東部圏域 | <ul style="list-style-type: none"> ・逗子3、4丁目 ・沼間全域 | <ul style="list-style-type: none"> ・桜山全域 ・池子全域 |
| 2. 西部圏域 | <ul style="list-style-type: none"> ・逗子1、2、5、6、7丁目 ・山の根全域 | <ul style="list-style-type: none"> ・新宿全域 ・久木全域 ・小坪全域 |

<居住地区>について、日常生活圏域別に聞いたところ、「西部圏域」、「東部圏域」ともほぼ同数の割合となっている。

日常生活圏域

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	東部圏域	406	48.9
2	西部圏域	402	48.4
	無回答	23	2.8
	全体(n)	831	100.0



<居住タイプ>

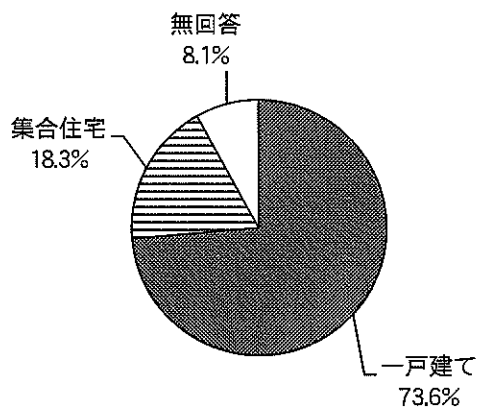
(3) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

1. 一戸建て 2. 集合住宅

<住居>については、「一戸建て」73.6%、「集合住宅」18.3%となっている。

住居形態

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	一戸建て	612	73.6
2	集合住宅	152	18.3
	無回答	67	8.1
	全体(n)	831	100.0



<住居形態>

(4) それはどんなお住まいですか。

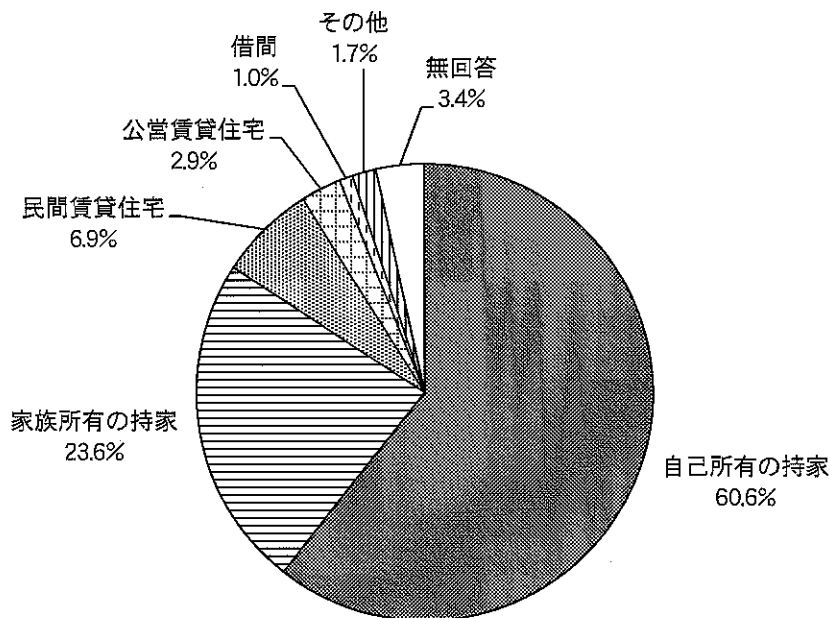
- 1. 自己所有の持家
- 2. 家族所有の持家
- 3. 民間賃貸住宅
- 4. 公営賃貸住宅 (市・県営、都市機構、公社等)
- 5. 借間
- 6. その他 ()

<住居のタイプ>については、「自己所有の持家」が60.6%と最も多く、次いで「家族所有の持家」23.6%、「民間賃貸住宅」6.9%、「公営賃貸住宅」2.9%、「借間」1.0%となっている。

「自己所有の持家」と「家族所有の持家」を合わせると84.2%となり、持家率の高さがうかがえる。

住居のタイプ

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自己所有の持家	504	60.6
2	家族所有の持家	196	23.6
3	民間賃貸住宅	57	6.9
4	公営賃貸住宅	24	2.9
5	借間	8	1.0
6	その他	14	1.7
	無回答	28	3.4
	全体(n)	831	100.0



<主に生活する部屋>

(5) お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。

1. はい

2. いいえ

【「1.はい」とお答えの方におたずねします。】

①お住まいにエレベーターは設置されていますか。

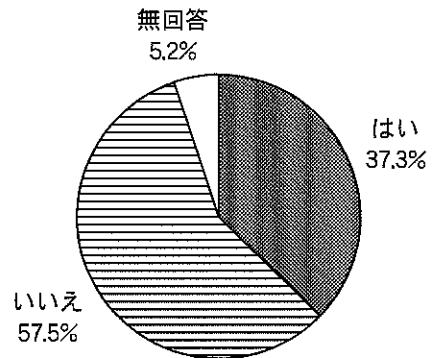
1. はい

2. いいえ

<主に生活する部屋>については、「1階」が57.5%、「2階以上」が37.3%となっている。

住まいは2階以上

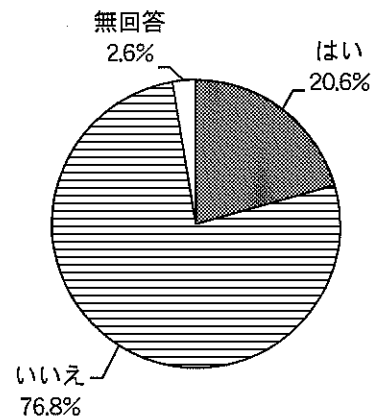
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	はい	310	37.3
2	いいえ	478	57.5
	無回答	43	5.2
	全体(n)	831	100.0



<主に生活する部屋>が2階以上の場合について、エレベーターの有無を聞いたところ、76.8%が「いいえ」と答えている。

住まいが2階以上でエレベーターの設置

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	はい	64	20.6
2	いいえ	238	76.8
	無回答	8	2.6
	全体(n)	310	100.0



(3) 同居状況

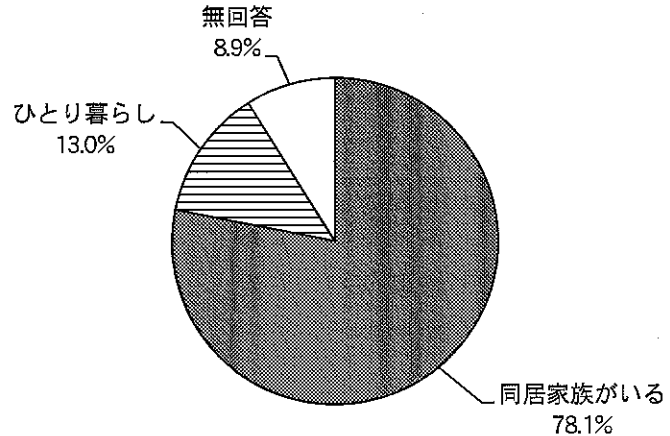
<同居状況>

問3 あなたのご同居状況についておたずねします。
 1. ひとり暮らし 2. 同居家族がいる

<同居状況>については、「同居家族がいる」が78.1%、「ひとり暮らし」が13.0%であった。

同居状況

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	ひとり暮らし	108	13.0
2	同居家族がいる	649	78.1
	無回答	74	8.9
	全体(n)	831	100.0



性別、年齢別、居住圏域別にみると、「ひとり暮らし」は「女性」及び「90歳以上」での割合が比較的高くなっている。また、「同居家族がいる」では年齢層が低くなるにつれ割合が高くなっている。

上段：人
下段：%

		全体(n)	同居状況		
			ひとり暮らし	同居家族がいる	無回答
合計		831 100.0	108 13.0	649 78.1	74 8.9
性別	男	353 100.0	26 7.4	304 86.1	23 6.5
	女	463 100.0	81 17.5	337 72.8	45 9.7
	無回答	15 100.0	1 6.7	8 53.3	6 40.0
年齢	65～69歳	255 100.0	25 9.8	215 84.3	15 5.9
	70～74歳	222 100.0	33 14.9	173 77.9	16 7.2
	75～79歳	178 100.0	24 13.5	137 77.0	17 9.6
	80～84歳	111 100.0	17 15.3	81 73.0	13 11.7
	85～89歳	41 100.0	6 14.6	28 68.3	7 17.1
	90歳以上	8 100.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5
	無回答	16 100.0	1 6.3	10 62.5	5 31.3
居住圏域	東部圏域	406 100.0	53 13.1	316 77.8	37 9.1
	西部圏域	402 100.0	49 12.2	322 80.1	31 7.7
	無回答	23 100.0	6 26.1	11 47.8	6 26.1

<ひとり暮らしの高齢者の家族>

【「1.ひとり暮らし」とお答えの方におたずねします。】

(1) 親族は、どちらにお住まいですか。(あてはまるものすべてに○)

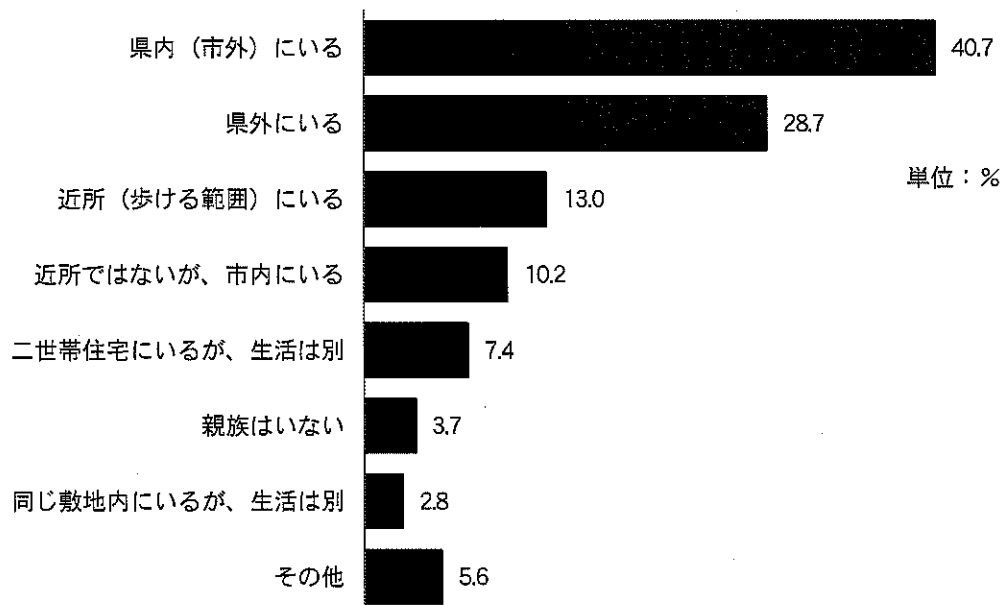
- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 二世帯住宅にいるが、生活は別 | 2. 同じ敷地内にいるが、生活は別 |
| 3. 近所(歩ける範囲)にいる | 4. 近所ではないが、市内にいる |
| 5. 県内(市外)にいる | 6. 県外にいる |
| 7. その他() | 8. 親族はいない |

ひとり暮らしの高齢者 108 人に<親族の居住先>について聞いてみると、「県内(市外)にいる」が 40.7%と最も多く、次いで「県外にいる」28.7%、「近所(歩ける範囲)にいる」13.0%、「近所ではないが、市内にいる」10.2%と続いている。

「県内(市外)にいる」と「県外にいる」を合わせると7割近くを占めており、近くに親族(身寄り)が住んでいないひとり暮らしの高齢者が多いことがうかがえる。

ひとり暮らしの場合の、家族の居住先(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	二世帯住宅にいるが、生活は別	8	7.4
2	同じ敷地内にいるが、生活は別	3	2.8
3	近所(歩ける範囲)にいる	14	13.0
4	近所ではないが、市内にいる	11	10.2
5	県内(市外)にいる	44	40.7
6	県外にいる	31	28.7
7	その他	6	5.6
8	親族はいない	4	3.7
	全体(n)	108	100.0



<同居家族の構成>

【「2.同居家族がいる」とお答えの方におたずねします。】

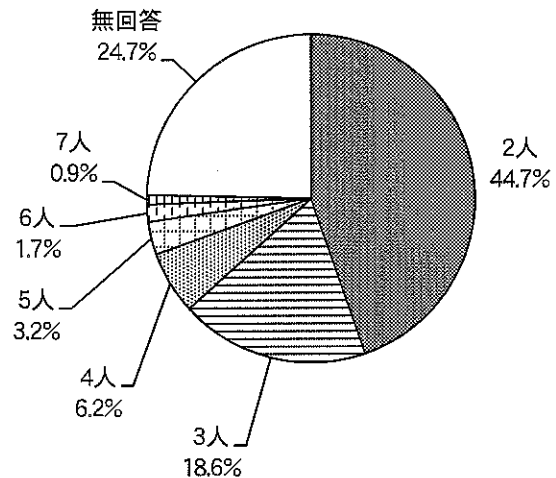
(2) ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、それは、あなたからみてどんな方ですか。(あてはまるものすべてに○)

- () 人
- | | | |
|------------------|------------|---------|
| 1. 父母 (配偶者の親も含む) | 2. 配偶者 | 3. 息子 |
| 4. 娘 | 5. 子の配偶者 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 孫 | 8. その他 () | |

同居家族がいる高齢者649人に<同居家族の人数>について聞いてみると、回答者を含め「2人」が44.7%と最も多く、次いで「3人」18.6%、「4人」6.2%、「5人」3.2%と続いている。

同居者の人数

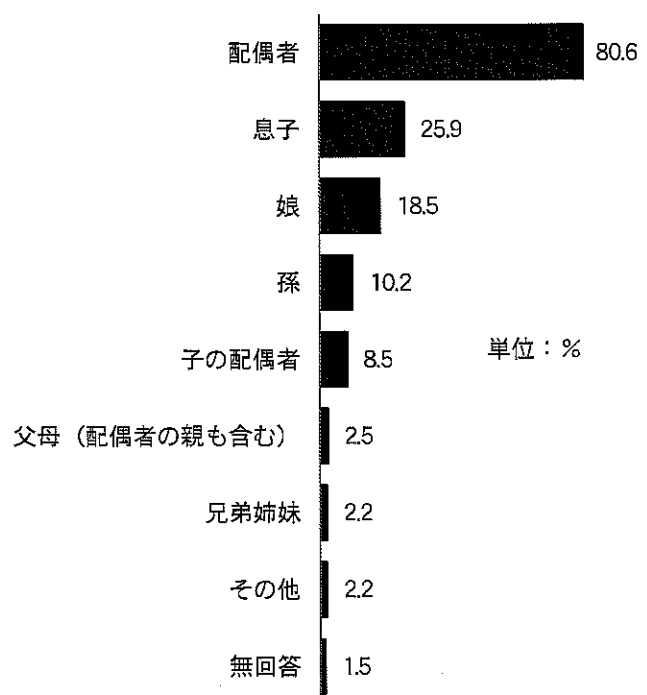
No.	カテゴリー名	回答者数	%
	2人	290	44.7
	3人	121	18.6
	4人	40	6.2
	5人	21	3.2
	6人	11	1.7
	7人	6	0.9
	無回答	160	24.7
	全体(n)	649	100.0



同居されている方の内訳をみると、「配偶者」が80.6%と最も多く、次いで「息子」25.9%、「娘」18.5%、「孫」10.2%と続いている。

同居者 (複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	父母 (配偶者の親も含む)	16	2.5
2	配偶者	523	80.6
3	息子	168	25.9
4	娘	120	18.5
5	子の配偶者	55	8.5
6	兄弟姉妹	14	2.2
7	孫	66	10.2
8	その他	14	2.2
	無回答	10	1.5
	全体(n)	649	100.0



<同居の要介護者の有無>

(3) 同居のご家族の中に、介護や介助が必要な方はいますか。

1. いる 2. いない

【「1.いる」とお答えの方におたずねします。】

①それは、どんな方ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者 2. 障害者 3. 乳幼児 4. その他 ()

②主に介護や介助を担う方は、あなたからみてどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. あなた自身 2. 配偶者 3. 息子 4. 娘 5. 子の配偶者
6. 兄弟姉妹 7. 親 8. 孫 9. その他 ()

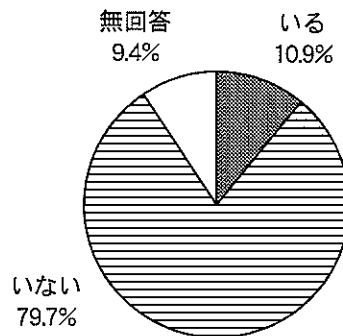
<同居の要介護者の有無>については、「いる」が10.9%、「いない」が79.7%であった。

要介護者の内訳をみると、「高齢者」が70.4%と非常に多く、次いで「障害者」31.0%となっている。

介護を担う人を見ると、回答者本人が46.5%と最も多く、次いで「配偶者」42.3%、「親」8.5%、「息子」7.0%と続いている。

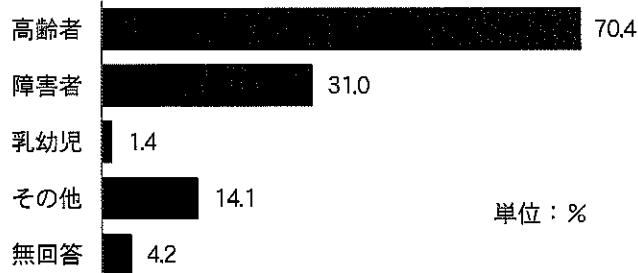
介護が必要な同居者の有無

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	いる	71	10.9
2	いない	517	79.7
	無回答	61	9.4
	全体(n)	649	100.0



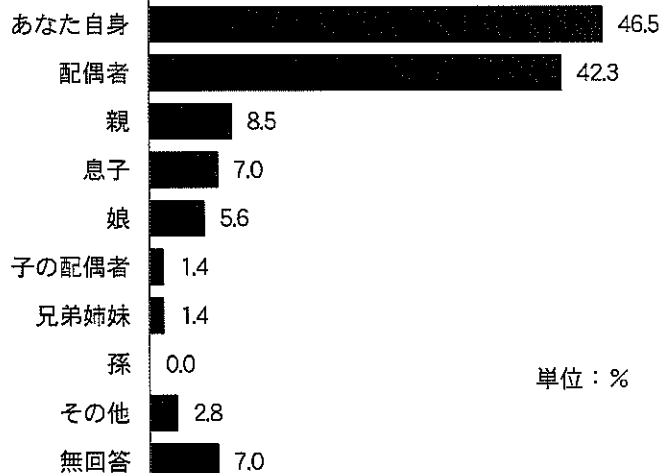
①要介護者の内訳 (複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	高齢者	50	70.4
2	障害者	22	31.0
3	乳幼児	1	1.4
4	その他	10	14.1
	無回答	3	4.2
	全体(n)	71	100.0



②介護を担う人 (複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	あなた自身	33	46.5
2	配偶者	30	42.3
3	息子	5	7.0
4	娘	4	5.6
5	子の配偶者	1	1.4
6	兄弟姉妹	1	1.4
7	親	6	8.5
8	孫	0	0.0
9	その他	2	2.8
	無回答	5	7.0
	全体(n)	71	100.0



<日中、一人になること>

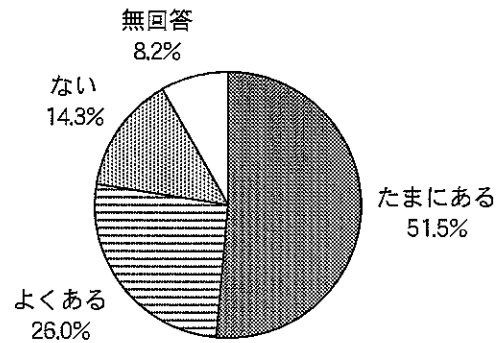
(4) 日中、一人になることがありますか。

1. よくある 2. たまにある 3. ない

<日中、一人になること>については、「たまにある」が51.5%と最も多く、次いで「よくある」26.0%、「ない」14.3%となっている。

日中、一人になること

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	よくある	169	26.0
2	たまにある	334	51.5
3	ない	93	14.3
	無回答	53	8.2
	全体(n)	649	100.0



(4) 心身の状況

<介護・介助の必要>

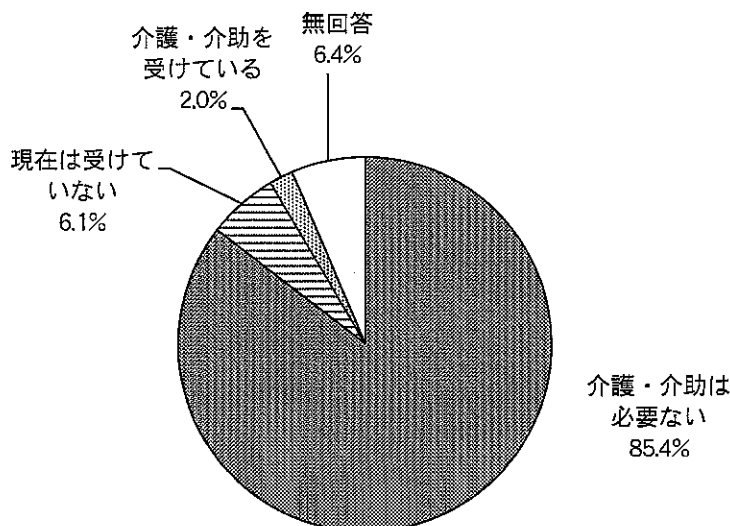
(1) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

<介護・介助の必要>については、「介護・介助は必要ない」が85.4%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」6.1%、「現在、何らかの介護・介助を受けている」2.0%となっている。

介護・介助の必要

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	介護・介助は必要ない	710	85.4
2	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	51	6.1
3	現在、何らかの介護・介助を受けている	17	2.0
	無回答	53	6.4
	全体(n)	831	100.0



<介護の状況>

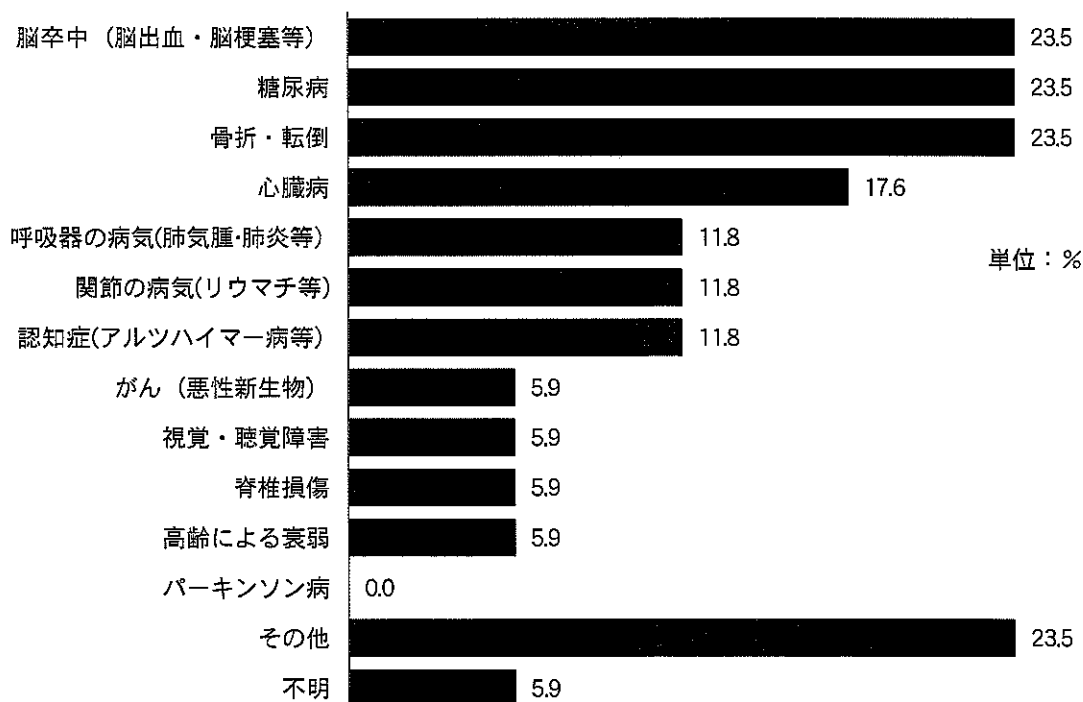
(2) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 |
| 3. がん(悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) |
| 5. 関節の病気(リウマチ等) | 6. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 視覚・聴覚障害 | 10. 骨折・転倒 |
| 11. 脊椎損傷 | 12. 高齢による衰弱 |
| 13. その他() | 14. 不明 |

「現在、何らかの介護・介助を受けている」と答えた17人について、<介護が必要になった原因>を聞いてみると、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「糖尿病」「骨折・転倒」が23.5%と最も多くなっている。

介護が必要になった原因(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	4	23.5
2	心臓病	3	17.6
3	がん(悪性新生物)	1	5.9
4	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	2	11.8
5	関節の病気(リウマチ等)	2	11.8
6	認知症(アルツハイマー病等)	2	11.8
7	パーキンソン病	0	0.0
8	糖尿病	4	23.5
9	視覚・聴覚障害	1	5.9
10	骨折・転倒	4	23.5
11	脊椎損傷	1	5.9
12	高齢による衰弱	1	5.9
13	その他	4	23.5
14	不明	1	5.9
	全体(n)	17	100.0



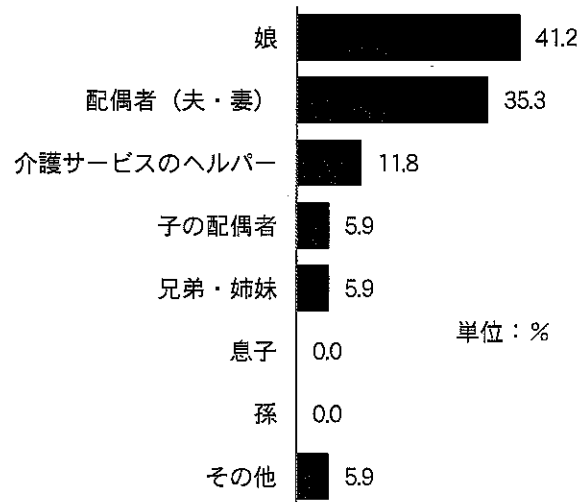
(3) 主にどなたの介護・介助を受けていますか。

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者 (夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 () | |

介護をしている人については、「娘」が41.2%と最も多く、次いで「配偶者 (夫・妻)」35.3%、「介護サービスのヘルパー」11.8%と続き、近親者が介護をしている割合が高くなっている。

主な介護者 (複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	配偶者 (夫・妻)	6	35.3
2	息子	0	0.0
3	娘	7	41.2
4	子の配偶者	1	5.9
5	孫	0	0.0
6	兄弟・姉妹	1	5.9
7	介護サービスのヘルパー	2	11.8
8	その他	1	5.9
	全体(n)	17	100.0



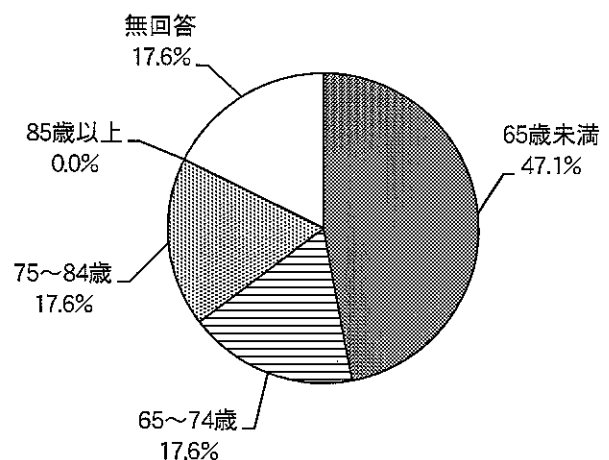
(4) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65～74歳 | 3. 75～84歳 | 4. 85歳以上 |
|----------|-----------|-----------|----------|

介護をする人の年齢については「65歳未満」が47.1%と約半数を占め、次いで「65～74歳」及び「75～84歳」の17.6%と続く。

主な介護者年齢

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	65歳未満	8	47.1
2	65～74歳	3	17.6
3	75～84歳	3	17.6
4	85歳以上	0	0.0
	無回答	3	17.6
	全体(n)	17	100.0



(5) 経済状況について

<経済状況について>

問5 あなたの経済状況についておたずねします。

(1) 年金の種類は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 国民年金 2. 厚生年金(企業年金あり) 3. 厚生年金(企業年金なし)
 4. 共済年金 5. 無年金 6. その他()

(2) 現在、収入のある仕事をしていませんか。

1. はい 2. いいえ

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

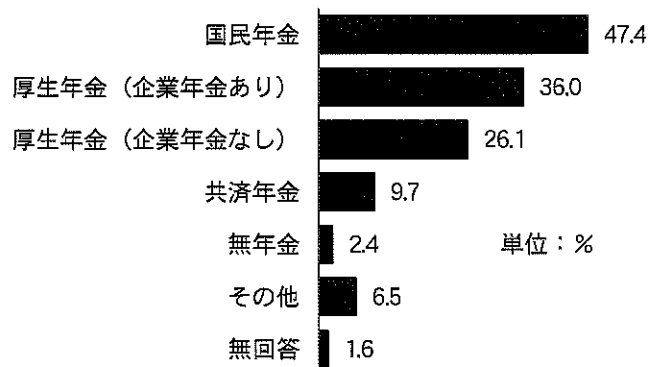
1. 苦しい 2. やや苦しい 3. ややゆとりがある 4. ゆとりがある

回答者が受け取っている年金の種類は、「国民年金」が47.4%と最も多く、次いで「厚生年金(企業年金あり)」36.0%、「厚生年金(企業年金なし)」26.1%、「共済年金」9.7%と続く。

また、「その他」で最も多い回答は、「遺族年金」の19人であった。

年金の種類(複数回答)

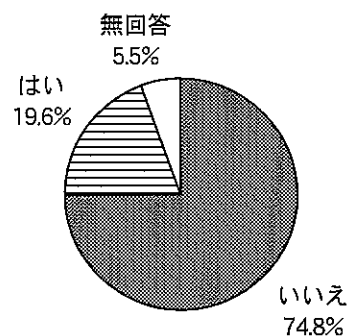
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	国民年金	394	47.4
2	厚生年金(企業年金あり)	299	36.0
3	厚生年金(企業年金なし)	217	26.1
4	共済年金	81	9.7
5	無年金	20	2.4
6	その他	54	6.5
	無回答	13	1.6
	全体(n)	831	100.0



収入のある仕事の有無については「はい」が19.6%、「いいえ」が74.8%であった。

現在収入のある仕事をしている

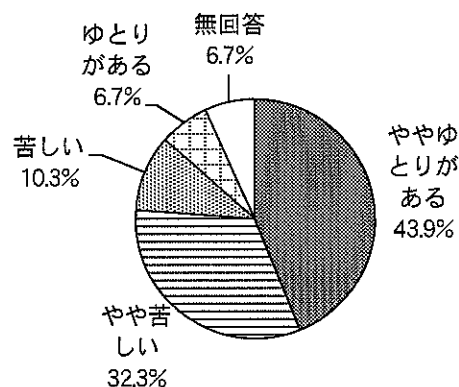
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	はい	163	19.6
2	いいえ	622	74.8
	無回答	46	5.5
	全体(n)	831	100.0



現在の暮らしの経済的状況について聞くと、「ややゆとりがある」が43.9%と最も多いが、「やや苦しい」と「苦しい」を合わせた割合も42.6%となっており、苦しい暮らしをされている高齢者の多さがうかがえる。

暮らしの状況

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	苦しい	86	10.3
2	やや苦しい	268	32.3
3	ややゆとりがある	365	43.9
4	ゆとりがある	56	6.7
	無回答	56	6.7
	全体(n)	831	100.0



3 健康と医療

(1) 日常生活圏域ニーズ調査による判定

<運動器の機能向上に関する判定>

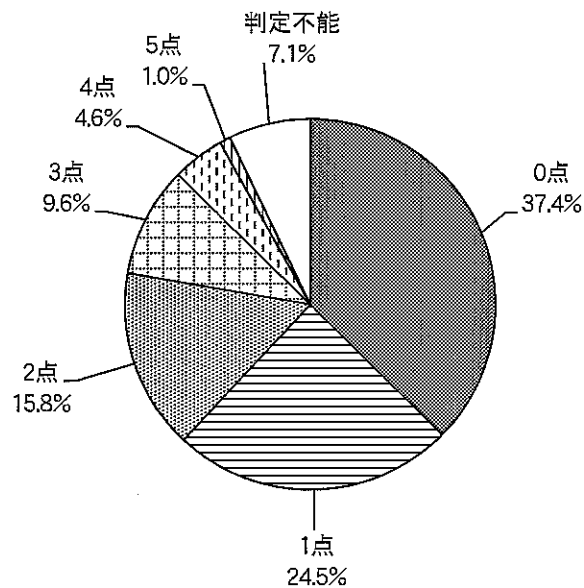
問6 あなたの運動・閉じこもりの状態についておたずねします。		
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1. はい	2. いいえ
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1. はい	2. いいえ
(3) 15分位続けて歩いていますか。	1. はい	2. いいえ
問7 あなたの転倒予防の状態についておたずねします。		
(1) この1年間に転んだことがありますか。	1. はい	2. いいえ
(2) 転倒に対する不安は大きいですか。	1. はい	2. いいえ

【日常生活圏域ニーズ調査】とは80の設問への回答結果からなり、「要支援」「要介護」のリスク等の指標を把握・集計し、それに応じた政策決定を行うことを目的とした調査である。上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<運動器>を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき5点満点で判定される。

その結果をみると、運動器の機能低下のおそれがあると判定される基準である「3点」以上の割合が15.2%となっている。

運動器の機能向上に関する判定

点数	回答者数	%
0点	311	37.4
1点	204	24.5
2点	131	15.8
3点	80	9.6
4点	38	4.6
5点	8	1.0
判定不能	59	7.1
全体(n)	831	100.0



※点数が高いほど運動器の機能低下に対するリスクあり（5点満点）

年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれ点数も高くなる傾向がみられ、「3点」以上に着目すると、「3点」では「85～89歳」で31.7%と最も多く、「4点」及び「5点」では「90歳以上」が最も多い。

なお、居住圏域別では差は見られなかった。

上段：人
下段：%

		全体(n)	運動器の機能向上に関する判定						判定不能
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	
合計		831	311	204	131	80	38	8	59
		100.0	37.4	24.5	15.8	9.6	4.6	1.0	7.1
年齢	65～69歳	255	133	60	31	15	4	1	11
		100.0	52.2	23.5	12.2	5.9	1.6	0.4	4.3
	70～74歳	222	85	65	33	17	7	1	14
		100.0	38.3	29.3	14.9	7.7	3.2	0.5	6.3
	75～79歳	178	57	46	34	12	12	3	14
		100.0	32.0	25.8	19.1	6.7	6.7	1.7	7.9
	80～84歳	111	26	23	23	21	9	0	9
100.0		23.4	20.7	20.7	18.9	8.1	0.0	8.1	
85～89歳	41	3	7	8	13	2	2	6	
	100.0	7.3	17.1	19.5	31.7	4.9	4.9	14.6	
90歳以上	8	1	1	0	1	3	1	1	
	100.0	12.5	12.5	0.0	12.5	37.5	12.5	12.5	
無回答	16	6	2	2	1	1	0	4	
	100.0	37.5	12.5	12.5	6.3	6.3	0.0	25.0	
居住圏域	東部圏域	406	145	105	59	39	19	4	35
		100.0	35.7	25.9	14.5	9.6	4.7	1.0	8.6
	西部圏域	402	157	96	67	41	19	3	19
100.0		39.1	23.9	16.7	10.2	4.7	0.7	4.7	
無回答	23	9	3	5	0	0	1	5	
	100.0	39.1	13.0	21.7	0.0	0.0	4.3	21.7	

<参考>各設問の回答結果

上段：人
下段：%

カテゴリー名	回答者数			
	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問6 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	831	527	281	23
	100.0	63.4	33.8	2.8
問6 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	831	675	134	22
	100.0	81.2	16.1	2.6
問6 (3) 15分位続けて歩いていますか。	831	751	58	22
	100.0	90.4	7.0	2.6
問7 (1) この1年間に転んだことがありますか。	831	154	654	23
	100.0	18.5	78.7	2.8
問7 (2) 転倒に対する不安は大きいですか。	831	322	478	31
	100.0	38.7	57.5	3.7

<閉じこもり予防・支援に関する判定>

問6 あなたの運動・閉じこもりの状態についておたずねします。

- (5) 週に1回以上は外出していますか。 1. はい 2. いいえ
 (6) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。 1. はい 2. いいえ

<関連設問>

問6 あなたの運動・閉じこもりの状態についておたずねします。

- (4) 5m以上歩けますか。 1. はい 2. いいえ
 (7) 外出を控えていますか。 1. はい 2. いいえ

①外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など)
 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)
 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害
 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
 9. 面倒なので 10. その他()

(8) 買物、散歩で外出する回数はどのくらいですか。(○はそれぞれ1つ)

- A. 買物・・・1. ほぼ毎日 2. 週4、5日 3. 週2、3日 4. 週1日 5. 週1日未満
 B. 散歩・・・1. ほぼ毎日 2. 週4、5日 3. 週2、3日 4. 週1日 5. 週1日未満

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転)
 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス
 9. 車いす 10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー
 12. タクシー 13. その他()

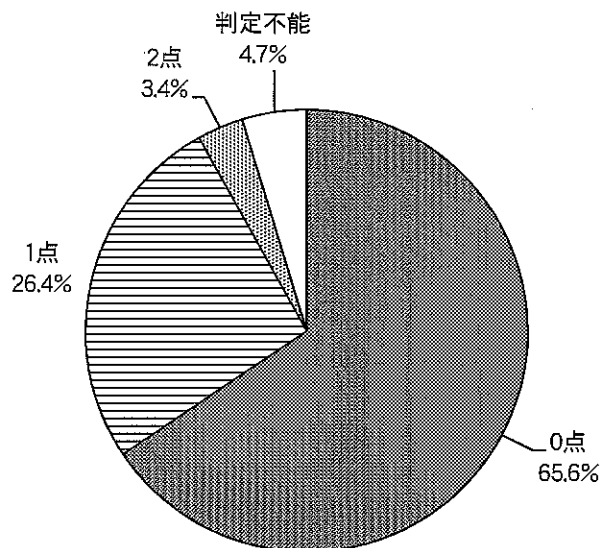
上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<閉じこもり>を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき2点満点で判定される。

その結果をみると、閉じこもりのおそれがあると判定される基準である「2点」の割合は3.4%となっている。

閉じこもり予防・支援に関する判定

点数	回答者数	%
0点	545	65.6
1点	219	26.4
2点	28	3.4
判定不能	39	4.7
全体(n)	831	100.0

※点数が高いほど閉じこもりのおそれあり(2点満点)



年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれ点数も高くなる傾向がみられ、「2点」に着目すると、「85～89歳」で9.8%と他に比べやや高い割合となっているが、「90歳以上」において「2点」はいなかった。

なお、居住圏域別で差は見られなかった。

上段：人
下段：%

		全体(n)	閉じこもり予防・支援に関する判定			
			0点	1点	2点	判定不能
合計		831 100.0	545 65.6	219 26.4	28 3.4	39 4.7
年齢	65～69歳	255 100.0	198 77.6	47 18.4	4 1.6	6 2.4
	70～74歳	222 100.0	147 66.2	61 27.5	6 2.7	8 3.6
	75～79歳	178 100.0	110 61.8	50 28.1	8 4.5	10 5.6
	80～84歳	111 100.0	60 54.1	38 34.2	6 5.4	7 6.3
	85～89歳	41 100.0	17 41.5	17 41.5	4 9.8	3 7.3
	90歳以上	8 100.0	3 37.5	3 37.5	0 0.0	2 25.0
	無回答	16 100.0	10 62.5	3 18.8	0 0.0	3 18.8
居住圏域	東部圏域	406 100.0	263 64.8	109 26.8	16 3.9	18 4.4
	西部圏域	402 100.0	273 67.9	100 24.9	11 2.7	18 4.5
	無回答	23 100.0	9 39.1	10 43.5	1 4.3	3 13.0

<参考>各設問の回答結果

カテゴリー名	回答者数			
	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問6(4) 5m以上歩けますか。	831 100.0	800 96.3	8 1.0	23 2.8
問6(5) 週に1回以上は外出していますか。	831 100.0	771 92.8	44 5.3	16 1.9
問6(6) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	831 100.0	237 28.5	566 68.1	28 3.4
問6(7) 外出を控えていますか。	831 100.0	140 16.8	594 71.5	97 11.7

上段：人
下段：%

問6(7) ①外出を控えている理由

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	病気	34	24.3
2	障害(脳卒中の後遺症など)	1	0.7
3	足腰などの痛み	61	43.6
4	トイレの心配(失禁など)	12	8.6
5	耳の障害(聞こえの問題など)	6	4.3
6	目の障害	6	4.3
7	外での楽しみがない	15	10.7
8	経済的に出られない	15	10.7
9	面倒なので	25	17.9
10	その他	22	15.7
	無回答	5	3.6
	全体(n)	140	100.0

問6(9) 外出する際の移動手段は何ですか。

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	徒歩	639	76.9
2	自転車	154	18.5
3	バイク	58	7.0
4	自動車(自分で運転)	253	30.4
5	自動車(人に乗せてもらう)	135	16.2
6	電車	356	42.8
7	路線バス	348	41.9
8	病院や施設のバス	8	1.0
9	車いす	2	0.2
10	電動車いす(カート)	2	0.2
11	歩行者・シルバーカー	2	0.2
12	タクシー	93	11.2
13	その他	6	0.7
	無回答	13	1.6
	全体(n)	831	100.0

問6(8) 買物、散歩で外出する回数はどのくらいですか。

No.	カテゴリー名	A. 買物		B. 散歩	
		回答者数	%	回答者数	%
1	ほぼ毎日	185	22.3	180	21.7
2	週4、5日	135	16.2	93	11.2
3	週2、3日	301	36.2	156	18.8
4	週1日	93	11.2	66	7.9
5	週1日未満	56	6.7	93	11.2
	無回答	61	7.3	243	29.2
	全体(n)	831	100.0	831	100.0

<転倒リスクに関する判定>

問7 あなたの転倒予防の状態についておたずねします。

- (1) この1年間に転んだことがありますか。 1. はい 2. いいえ
 (3) 背中が丸くなってきましたか。 1. はい 2. いいえ
 (4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。 1. はい 2. いいえ
 (5) 杖を使っていますか。 1. はい 2. いいえ

問11 現在の、あなたの心身の状況についておたずねします。

- (2) ②現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。
 1. 1種類 2. 2種類 3. 3種類 4. 4種類 5. 5種類以上 6. 飲んでいない

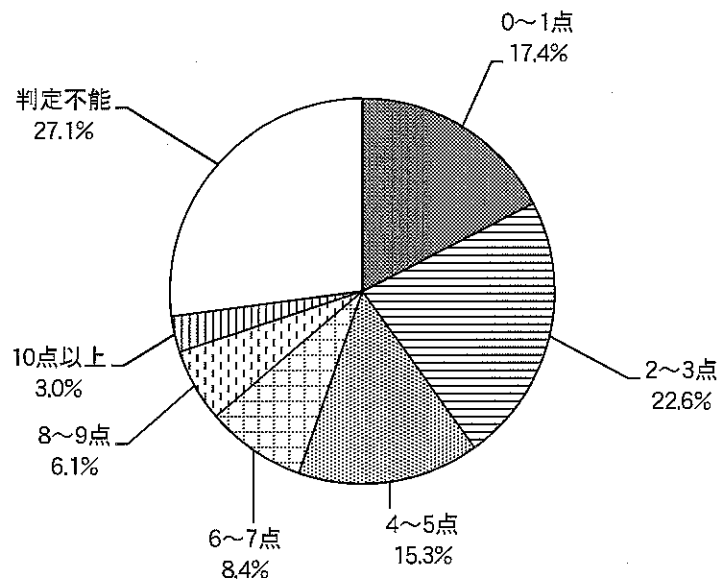
上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<転倒リスク>を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき13点満点で判定される。

その結果をみると、転倒リスクのおそれがあると判定される基準である「6点」以上の割合は17.5%となっている。

転倒リスクに関する判定

点数	回答者数	%
0~1点	145	17.4
2~3点	188	22.6
4~5点	127	15.3
6~7点	70	8.4
8~9点	51	6.1
10点以上	25	3.0
判定不能	225	27.1
全体(n)	831	100.0

※点数が高いほど転倒リスクのおそれあり(13点満点)



年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれ点数も高くなる傾向がみられ、「6点」以上に着目すると、「6~7点」では「80~84歳」が16.2%、「8~9点」では「85~89歳」が19.5%、「10点以上」では「90歳以上」が25.0%と高い割合となっている。

なお、居住圏域別で差は見られなかった。

上段：人
下段：%

	全体(n)	転倒リスクに関する判定							
		0~1点	2~3点	4~5点	6~7点	8~9点	10点以上	判定不能	
合計	831	145	188	127	70	51	25	225	
	100.0	17.4	22.6	15.3	8.4	6.1	3.0	27.1	
年齢	65~69歳	255	72	49	26	11	6	2	89
		100.0	28.2	19.2	10.2	4.3	2.4	0.8	34.9
	70~74歳	222	32	55	37	15	13	4	66
		100.0	14.4	24.8	16.7	6.8	5.9	1.8	29.7
	75~79歳	178	25	39	32	20	14	8	40
		100.0	14.0	21.9	18.0	11.2	7.9	4.5	22.5
	80~84歳	111	12	25	27	18	9	5	15
100.0		10.8	22.5	24.3	16.2	8.1	4.5	13.5	
85~89歳	41	2	12	3	5	8	4	7	
	100.0	4.9	29.3	7.3	12.2	19.5	9.8	17.1	
90歳以上	8	0	3	1	0	1	2	1	
	100.0	0.0	37.5	12.5	0.0	12.5	25.0	12.5	
無回答	16	2	5	1	1	0	0	7	
	100.0	12.5	31.3	6.3	6.3	0.0	0.0	43.8	
居住圏域	東部圏域	406	70	96	66	37	22	14	101
		100.0	17.2	23.6	16.3	9.1	5.4	3.4	24.9
	西部圏域	402	71	87	59	32	29	10	114
100.0		17.7	21.6	14.7	8.0	7.2	2.5	28.4	
無回答	23	4	5	2	1	0	1	10	
	100.0	17.4	21.7	8.7	4.3	0.0	4.3	43.5	

<参考>各設問の回答結果

上段：人
下段：%

問11(2)②現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

カテゴリー名	回答者数			
	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問7(1) この1年間に転んだことがありますか。	831	154	654	23
	100.0	18.5	78.7	2.8
問7(3) 背中が丸くなってきましたか。	831	203	597	31
	100.0	24.4	71.8	3.7
問7(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。	831	491	315	25
	100.0	59.1	37.9	3.0
問7(5) 杖を使っていますか。	831	65	730	36
	100.0	7.8	87.8	4.3

カテゴリー名	回答者数	%
1種類	78	15.9
2種類	91	18.5
3種類	79	16.1
4種類	73	14.8
5種類以上	133	27.0
飲んでいない	28	5.7
無回答	10	2.0
全体(n)	492	100.0

<栄養改善に関する判定>

問8 あなたの口腔・栄養の状態についておたずねします。

- (1) 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。 1. はい 2. いいえ
 (2) あなたの身長・体重をおたずねします。 身長() cm 体重() kg

<関連設問>

問10 あなたの日常生活についておたずねします。

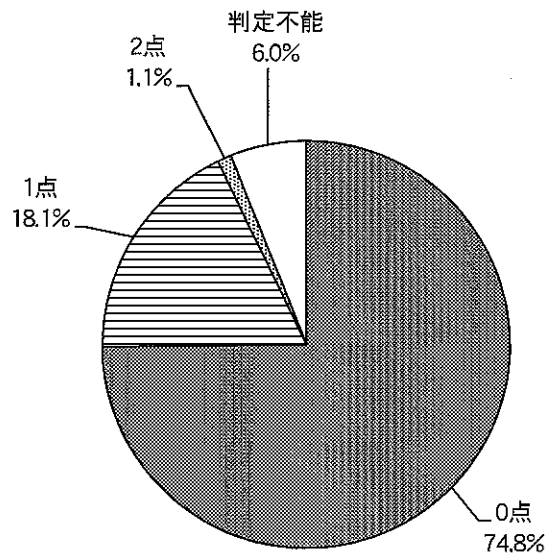
- (6) 食事は自分で食べられますか。
 1. できる 2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる 3. できない

上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<栄養状態>を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき2点満点で判定される。

その結果をみると、栄養不足のおそれがあると判定される基準である「2点」の割合は1.1%と非常に低い割合となっている。

栄養改善に関する判定

点数	回答者数	%
0点	622	74.8
1点	150	18.1
2点	9	1.1
判定不能	50	6.0
全体(n)	831	100.0



※点数が高いほど栄養不足のおそれあり（2点満点）

年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれ点数も高くなる傾向がみられ、「2点」では各年齢層とも大きな変化はみられないが、「1点」では「80～84歳」及び「90歳以上」が25%以上の高い割合となっている。なお、居住圏域別で差は見られなかった。

上段：人
下段：%

		全体(n)	栄養改善に関する判定			
			0点	1点	2点	判定不能
合計		831	622	150	9	50
		100.0	74.8	18.1	1.1	6.0
年齢	65～69歳	255	201	42	3	9
		100.0	78.8	16.5	1.2	3.5
	70～74歳	222	176	35	3	8
		100.0	79.3	15.8	1.4	3.6
	75～79歳	178	131	30	1	16
		100.0	73.6	16.9	0.6	9.0
	80～84歳	111	69	33	2	7
		100.0	62.2	29.7	1.8	6.3
85～89歳	41	32	6	0	3	
	100.0	78.0	14.6	0.0	7.3	
90歳以上	8	3	2	0	3	
	100.0	37.5	25.0	0.0	37.5	
無回答	16	10	2	0	4	
	100.0	62.5	12.5	0.0	25.0	
居住圏域	東部圏域	406	308	68	5	25
		100.0	75.9	16.7	1.2	6.2
	西部圏域	402	299	79	4	20
		100.0	74.4	19.7	1.0	5.0
無回答	23	15	3	0	5	
	100.0	65.2	13.0	0.0	21.7	

<参考>各設問の回答結果

カテゴリー名	回答者数			
	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問8(1) 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	831	101	708	22
	100.0	12.2	85.2	2.6

上段：人
下段：%

カテゴリー名	全体(n)	18.5未満	18.5以上	無回答
問8(2) あなたの身長・体重をおたずねします。 ※BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)が18.5未満は痩せに該当	831	72	709	50
	100.0	8.7	85.3	6.0

カテゴリー名	全体(n)	できる	一部介助があればできる	できない	無回答
問10(6) 食事は自分で食べられますか。	831	805	2	0	24
	100.0	96.9	0.2	0.0	2.9

<口腔機能の向上に関する判定>

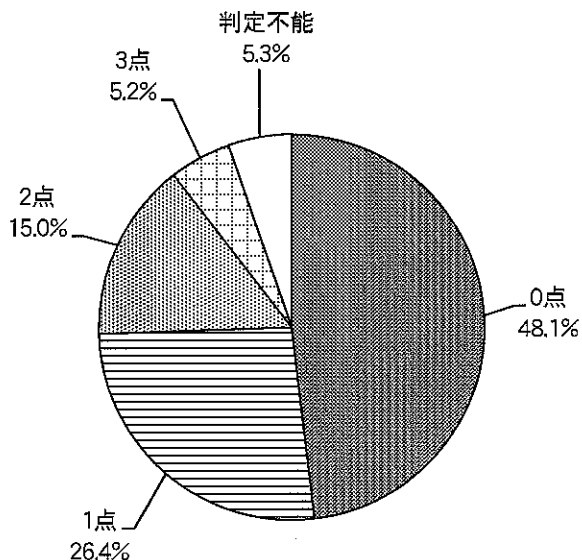
問8 あなたの口腔・栄養の状態についておたずねします。		
(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい	2. いいえ
(4) お茶や汁物等でおせることがありますか。	1. はい	2. いいえ
(5) 口の渇きが気になりますか。	1. はい	2. いいえ
<関連設問>		
問8 あなたの口腔・栄養の状態についておたずねします。		
(6) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。	1. はい	2. いいえ
(7) 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。	1. はい	2. いいえ
(8) 入れ歯を使用していますか。	1. はい	2. いいえ
【「1. はい」とお答えの方におたずねします。】		
①噛み合わせは良いですか。	1. はい	2. いいえ
②毎日入れ歯の手入れをしていますか。	1. はい	2. いいえ

上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<口腔機能>を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき3点満点で判定される。

その結果をみると、口腔機能低下のおそれがあると判定される基準である「2点」以上の割合は20.2%となっている。

口腔機能の向上に関する判定

点数	回答者数	%
0点	400	48.1
1点	219	26.4
2点	125	15.0
3点	43	5.2
判定不能	44	5.3
全体(n)	831	100.0



※点数が高いほど口腔機能低下のおそれあり（3点満点）

年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれ点数も高くなる傾向がみられ、「2点」以上に着目すると、「2点」では「85～89歳」が34.1%と最も多く、また「3点」では「90歳以上」が37.5%と最も多くなっている。

なお、居住圏域別では「2点」において「東部圏域」が「西部圏域」より4ポイント程度の高い割合となっている。

上段：人
下段：%

		全体(n)	口腔機能の向上に関する判定				
			0点	1点	2点	3点	判定不能
合計		831	400	219	125	43	44
		100.0	48.1	26.4	15.0	5.2	5.3
年齢	65～69歳	255	155	57	28	7	8
		100.0	60.8	22.4	11.0	2.7	3.1
	70～74歳	222	97	71	33	13	8
		100.0	43.7	32.0	14.9	5.9	3.6
	75～79歳	178	81	45	31	9	12
		100.0	45.5	25.3	17.4	5.1	6.7
	80～84歳	111	48	26	17	8	12
		100.0	43.2	23.4	15.3	7.2	10.8
85～89歳	41	12	12	14	3	0	
	100.0	29.3	29.3	34.1	7.3	0.0	
90歳以上	8	0	3	2	3	0	
	100.0	0.0	37.5	25.0	37.5	0.0	
無回答	16	7	5	0	0	4	
	100.0	43.8	31.3	0.0	0.0	25.0	
居住圏域	東部圏域	406	183	110	70	18	25
		100.0	45.1	27.1	17.2	4.4	6.2
	西部圏域	402	208	103	52	24	15
		100.0	51.7	25.6	12.9	6.0	3.7
	無回答	23	9	6	3	1	4
100.0		39.1	26.1	13.0	4.3	17.4	

<参考>各設問の回答結果

上段：人
下段：%

カテゴリ名	回答者数			
	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問8 (3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	831	221	590	20
	100.0	26.6	71.0	2.4
問8 (4) お茶や汁物等でむせることがありますか。	831	183	631	17
	100.0	22.0	75.9	2.0
問8 (5) 口の渇きが気になりますか。	831	210	592	29
	100.0	25.3	71.2	3.5
問8 (6) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。	831	752	62	17
	100.0	90.5	7.5	2.0
問8 (7) 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。	831	411	387	33
	100.0	49.5	46.6	4.0
問8 (8) 入れ歯を使用していますか。	831	402	413	16
	100.0	48.4	49.7	1.9
問8 (8) ①噛み合わせは良いですか。	402	323	61	18
	100.0	80.3	15.2	4.5
問8 (8) ②毎日入れ歯の手入れをしていますか。	402	369	23	10
	100.0	91.8	5.7	2.5

<認知症予防・支援に関する判定>

問9 あなたの物忘れの状態についておたずねします。

- (1) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。 1. はい 2. いいえ
- (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。 1. はい 2. いいえ
- (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。 1. はい 2. いいえ

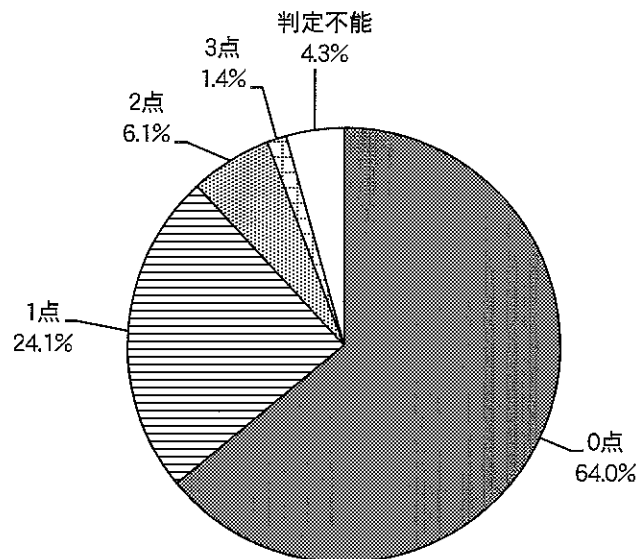
上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<認知症>を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき3点満点で判定される。

その結果をみると、認知能力低下のおそれがあると判定される基準である「1点」以上の割合は31.6%となっている。

認知症予防・支援に関する判定

点数	回答者数	%
0点	0	64.0
1点	831	24.1
2点	532	6.1
3点	200	1.4
判定不能	51	4.3
全体(n)	831	100.0

※点数が高いほど認知能力低下のおそれあり(3点満点)



年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれ点数も高くなる傾向がみられ、「1点」以上に着目すると、「1点」では「80～84歳」を除く年齢層で20%以上の割合を占めており、「2点」では「90歳以上」のみ25.0%の高い割合を占めている。

なお、居住圏域別では「1点」において「西部圏域」が「東部圏域」より5ポイント程度の高い割合となっている。

上段：人
下段：%

		全体(n)	認知症予防・支援に関する判定				
			0点	1点	2点	3点	判定不能
合計		831	532	200	51	12	36
		100.0	64.0	24.1	6.1	1.4	4.3
年齢	65～69歳	255	174	63	11	2	5
		100.0	68.2	24.7	4.3	0.8	2.0
	70～74歳	222	141	62	7	4	8
		100.0	63.5	27.9	3.2	1.8	3.6
	75～79歳	178	114	42	12	0	10
		100.0	64.0	23.6	6.7	0.0	5.6
	80～84歳	111	68	19	13	5	6
		100.0	61.3	17.1	11.7	4.5	5.4
85～89歳	41	21	12	6	1	1	
	100.0	51.2	29.3	14.6	2.4	2.4	
90歳以上	8	2	2	2	0	2	
	100.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	
無回答	16	12	0	0	0	4	
	100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
居住圏域	東部圏域	406	271	89	23	7	16
		100.0	66.7	21.9	5.7	1.7	3.9
	西部圏域	402	246	107	28	5	16
		100.0	61.2	26.6	7.0	1.2	4.0
	無回答	23	15	4	0	0	4
100.0		65.2	17.4	0.0	0.0	17.4	

<参考>各設問の回答結果

上段：人
下段：%

カテゴリー名	回答者数			
	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問9(1) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると 言われますか。	831	111	702	18
	100.0	13.4	84.5	2.2
問9(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていま すか。	831	736	80	15
	100.0	88.6	9.6	1.8
問9(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。	831	159	651	21
	100.0	19.1	78.3	2.5

<認知機能に関する判定>

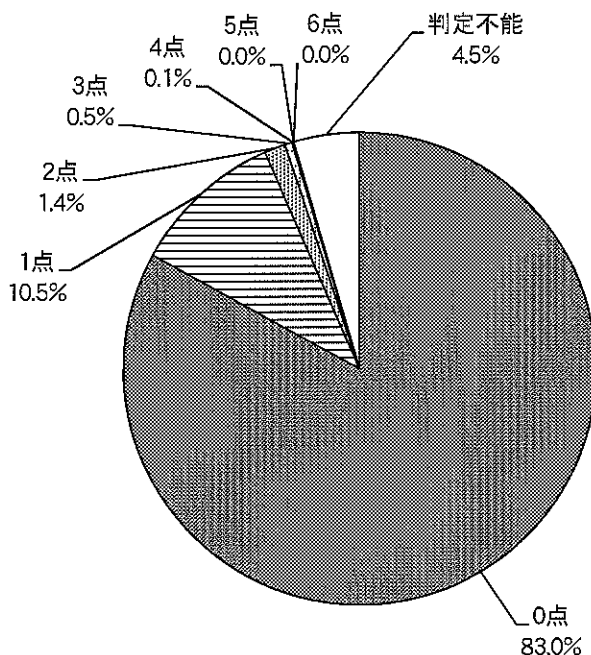
- 問9 あなたの物忘れの状態についておたずねします。
 (4) 5分前のことが思い出せますか。 1. はい 2. いいえ
 (5) その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。
 1. 普通にできる 2. いくらか困難であるが、できる
 3. 判断するとき他人からの合図や見守りが必要 4. ほとんど判断できない
 (6) 人に自分の思いをうまく伝えられますか。
 1. 伝えられる 2. いくらか困難であるが、伝えられる
 3. あまり伝えられない 4. ほとんど伝えられない
- 問10 あなたの日常の生活についておたずねします。
 (6) 食事は自分で食べられますか。
 1. できる 2. 一部介助(おかずを切ってもらするなど)があればできる 3. できない

上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<認知症>の程度を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき6点満点で判定される。

その結果をみると、問題なしと判定される「0点」が83.0%と最も多く、正常高齢者と認知症との境界領域と判断される「1点」が10.5%となっている。また、軽度の障害のおそれがあると判定される「2点」の割合は1.4%、中等度の障害のおそれがあると判定される「3点」の割合は0.5%、やや重度の障害のおそれがあると判定される「4点」の割合は0.1%となっており、重度の障害のおそれがあると判定される「5点」及び最重度の障害のおそれがあると判定される「6点」の該当者はいない。

認知機能に関する判定

点数	回答者数	%
0点	690	83.0
1点	87	10.5
2点	12	1.4
3点	4	0.5
4点	1	0.1
5点	0	0.0
6点	0	0.0
判定不能	37	4.5
全体(n)	831	100.0



※点数が高いほど認知障害の程度が高い
 おそれあり(6点満点)

年齢別にみると、「85～89歳」においては「2点(軽度の障害)」が9.8%と他に比べやや高い割合となっている。

居住圏域別では「1点」において「西部圏域」が「東部圏域」より3ポイント程度高くなっている。

上段：人
下段：%

		全体(n)	認知機能に関する判定							判定不能
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	
合計		831	690	87	12	4	1	0	0	37
		100.0	83.0	10.5	1.4	0.5	0.1	0.0	0.0	4.5
年齢	65～69歳	255	217	28	1	1	1	0	0	7
		100.0	85.1	11.0	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	2.7
	70～74歳	222	187	23	3	0	0	0	0	9
		100.0	84.2	10.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1
	75～79歳	178	150	14	1	2	0	0	0	11
		100.0	84.3	7.9	0.6	1.1	0.0	0.0	0.0	6.2
	80～84歳	111	90	14	3	1	0	0	0	3
100.0		81.1	12.6	2.7	0.9	0.0	0.0	0.0	2.7	
85～89歳	41	28	7	4	0	0	0	0	2	
	100.0	68.3	17.1	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	
90歳以上	8	5	1	0	0	0	0	0	2	
	100.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
無回答	16	13	0	0	0	0	0	0	3	
	100.0	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	
居住圏域	東部圏域	406	343	36	9	2	0	0	0	16
		100.0	84.5	8.9	2.2	0.5	0.0	0.0	0.0	3.9
	西部圏域	402	329	50	3	2	1	0	0	17
100.0		81.8	12.4	0.7	0.5	0.2	0.0	0.0	4.2	
無回答	23	18	1	0	0	0	0	0	4	
	100.0	78.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4	

<参考>各設問の回答結果

カテゴリー名	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問9(4) 5分前のことが思い出せますか。	831	746	65	20
	100.0	89.8	7.8	2.4

上段：人
下段：%

カテゴリー名	全体(n)	普通にできる	いくらか困難であるが、できる	判断するときに他人からの合図や見守りが必要	ほとんど判断できない	無回答
問9(5) その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。	831	791	16	3	0	21
	100.0	95.2	1.9	0.4	0.0	2.5

カテゴリー名	全体(n)	伝えられる	いくらか困難であるが、伝えられる	あまり伝えられない	ほとんど伝えられない	無回答
問9(6) 人に自分の思いをうまく伝えられますか。	831	757	44	9	2	19
	100.0	91.1	5.3	1.1	0.2	2.3

カテゴリー名	全体(n)	できる	一部介助があればできる	できない	無回答
問10(6) 食事は自分で食べられますか。	831	805	2	0	24
	100.0	96.9	0.2	0.0	2.9

<うつ予防・支援に関する判定>

問 1 1 あなたの心身の健康状態についておたずねします。

- (5) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がないと感じていますか。 1. はい 2. いいえ
 (6) (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じていますか。 1. はい 2. いいえ
 (7) (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられると感じていますか。 1. はい 2. いいえ
 (8) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えないと感じていますか。 1. はい 2. いいえ
 (9) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがすると感じていますか。 1. はい 2. いいえ

<関連設問>

問 1 1 あなたの心身の健康状態についておたずねします。

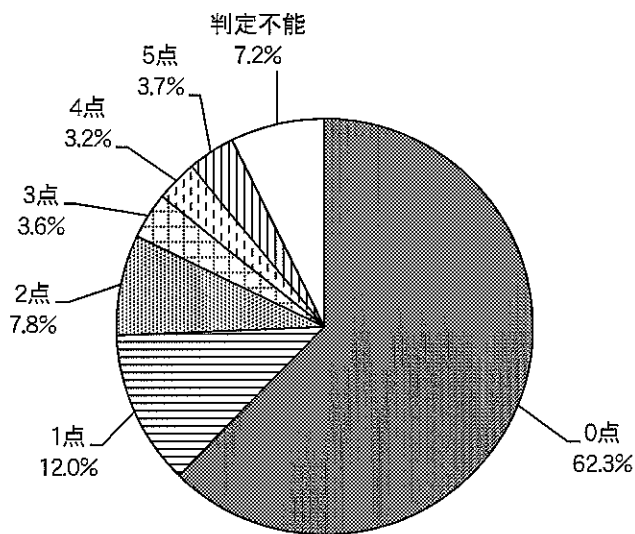
- (1) 現在の健康状態はいかがですか。
 1. とても健康で、気になるところはない
 2. 気になるところはあるが、年相応にまあまあ健康だと思う
 3. 何となく調子がよくない
 4. かなり調子がわるい

上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<うつ>を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき5点満点で判定される。

その結果をみると、うつのおそれがあると判定される基準である「2点」以上の割合は18.3%となっている。

うつ予防・支援に関する判定

点数	回答者数	%
0点	518	62.3
1点	100	12.0
2点	65	7.8
3点	30	3.6
4点	27	3.2
5点	31	3.7
判定不能	60	7.2
全体(n)	831	100.0



※点数が高いほどうつのおそれあり
(5点満点)

年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれ点数も高くなる傾向がみられ、「2点」以上に着目すると、「5点」において「85～89歳」が12.2%、「90歳以上」が25.0%と他に比べ高い割合となっている。

なお、居住圏域別で差は見られなかった。

上段：人
下段：%

		全体(n)	うつ予防・支援に関する判定						判定不能
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	
合計		831	518	100	65	30	27	31	60
		100.0	62.3	12.0	7.8	3.6	3.2	3.7	7.2
年齢	65～69歳	255	181	28	20	5	1	8	12
		100.0	71.0	11.0	7.8	2.0	0.4	3.1	4.7
	70～74歳	222	134	31	18	7	10	6	16
		100.0	60.4	14.0	8.1	3.2	4.5	2.7	7.2
	75～79歳	178	109	16	14	13	5	8	13
		100.0	61.2	9.0	7.9	7.3	2.8	4.5	7.3
	80～84歳	111	62	19	8	3	6	2	11
		100.0	55.9	17.1	7.2	2.7	5.4	1.8	9.9
85～89歳	41	22	5	4	0	4	5	1	
	100.0	53.7	12.2	9.8	0.0	9.8	12.2	2.4	
90歳以上	8	3	0	0	0	0	2	3	
	100.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5	
無回答	16	7	1	1	2	1	0	4	
	100.0	43.8	6.3	6.3	12.5	6.3	0.0	25.0	
居住圏域	東部圏域	406	249	54	33	14	14	18	24
		100.0	61.3	13.3	8.1	3.4	3.4	4.4	5.9
	西部圏域	402	260	43	30	16	10	11	32
		100.0	64.7	10.7	7.5	4.0	2.5	2.7	8.0
	無回答	23	9	3	2	0	3	2	4
100.0		39.1	13.0	8.7	0.0	13.0	8.7	17.4	

<参考>各設問の回答結果

カテゴリー名	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問11(5) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がないと感じていますか。	831	137	657	37
	100.0	16.5	79.1	4.5
問11(6) (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じていますか。	831	87	703	41
	100.0	10.5	84.6	4.9
問11(7) (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられると感じていますか。	831	163	635	33
	100.0	19.6	76.4	4.0
問11(8) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えないと感じていますか。	831	93	693	45
	100.0	11.2	83.4	5.4
問11(9) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがすると感じていますか。	831	135	658	38
	100.0	16.2	79.2	4.6

上段：人
下段：%

カテゴリー名	全体(n)	とても健康	まあまあ健康	何となく調子がよくない	かなり調子がわるい	無回答
問11(1) 普段、ご自分で健康だと思いますか。	831	107	601	61	12	50
	100.0	12.9	72.3	7.3	1.4	6.0

<虚弱に関する判定>

問10 あなたの日常生活についておたずねします。
 (1) バスや電車で一人で外出していますか (自家用車でも可)。
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
 (2) 日用品の買物をしていますか。
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
 (5) 預貯金の出し入れをしていますか。
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
 問12 あなたの社会参加の状態についておたずねします。
 (5) 友人の家を訪ねていますか。 1. はい 2. いいえ
 (6) 家族や友人と話をしていますか。 1. はい 2. いいえ
 ※これに「運動器の機能向上」「閉じこもり」「栄養改善」「口腔機能」「認知症」の設問を加えた計20問から判定
 <関連設問>
 問11 あなたの心身の健康状態についておたずねします。
 (1) 現在の健康状態はいかがですか。
 1. とても健康で、気になるところはない
 2. 気になるところはあるが、年相応にまあまあ健康だと思う
 3. 何となく調子がよくない
 4. かなり調子がわるい

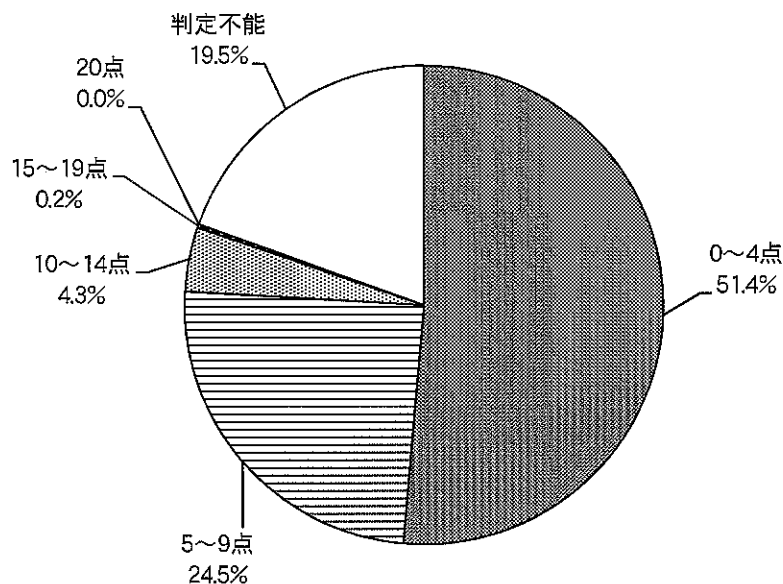
上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<虚弱>を評価するための設問であり、<運動器><閉じこもり><栄養改善><口腔機能><認知症>の設問を加えた計20問から生活機能判定に基づき20点満点で判定される。

その結果をみると、虚弱のおそれがあると判定される基準である「10点」以上の割合は4.5%と低い割合となっている。

虚弱に関する判定

点数	回答者数	%
0~4点	427	51.4
5~9点	204	24.5
10~14点	36	4.3
15~19点	2	0.2
20点	0	0.0
判定不能	162	19.5
全体(n)	831	100.0

※点数が高いほど虚弱のおそれあり
(20点満点)



年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれ点数も高くなる傾向がみられ、「10点」以上に着目すると、「10~14点」において「80~84歳」が12.6%と比較的高い割合となっている。

なお、居住圏域別で差は見られなかった。

上段：人
下段：%

		全体(n)	虚弱に関する判定					判定不能
			0～4点	5～9点	10～14点	15～19点	20点	
合計		831	427	204	36	2	0	162
		100.0	51.4	24.5	4.3	0.2	0.0	19.5
年齢	65～69歳	255	162	49	7	0	0	37
		100.0	63.5	19.2	2.7	0.0	0.0	14.5
	70～74歳	222	130	55	6	1	0	30
		100.0	58.6	24.8	2.7	0.5	0.0	13.5
	75～79歳	178	77	48	7	0	0	46
		100.0	43.3	27.0	3.9	0.0	0.0	25.8
	80～84歳	111	41	29	14	0	0	27
100.0		36.9	26.1	12.6	0.0	0.0	24.3	
85～89歳	41	7	20	2	1	0	11	
	100.0	17.1	48.8	4.9	2.4	0.0	26.8	
90歳以上	8	1	2	0	0	0	5	
	100.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	62.5	
無回答	16	9	1	0	0	0	6	
	100.0	56.3	6.3	0.0	0.0	0.0	37.5	
居住圏域	東部圏域	406	198	105	17	1	0	85
		100.0	48.8	25.9	4.2	0.2	0.0	20.9
	西部圏域	402	219	95	19	1	0	68
100.0		54.5	23.6	4.7	0.2	0.0	16.9	
無回答	23	10	4	0	0	0	9	
	100.0	43.5	17.4	0.0	0.0	0.0	39.1	

<参考>各設問の回答結果

上段：人
下段：%

カテゴリー名	全体(n)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
問10(1) バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)。	831	763	43	20	5
	100.0	91.8	5.2	2.4	0.6
問10(2) 日用品の買物をしていますか。	831	729	76	12	14
	100.0	87.7	9.1	1.4	1.7
問10(5) 預貯金の出し入れをしていますか。	831	688	91	26	26
	100.0	82.8	11.0	3.1	3.1

カテゴリー名	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問12(5) 友人の家を訪ねていますか。	831	409	397	25
	100.0	49.2	47.8	3.0
問12(6) 家族や友人と話をしていますか。	831	796	18	17
	100.0	95.8	2.2	2.0

カテゴリー名	全体(n)	とても健康	まあまあ健康	何となく調子がよくない	かなり調子がわるい	無回答
問11(1) 普段、ご自分で健康だと思いますか。	831	107	601	61	12	50
	100.0	12.9	72.3	7.3	1.4	6.0

<ADLに関する判定>

問10 あなたの日常生活についておたずねします。

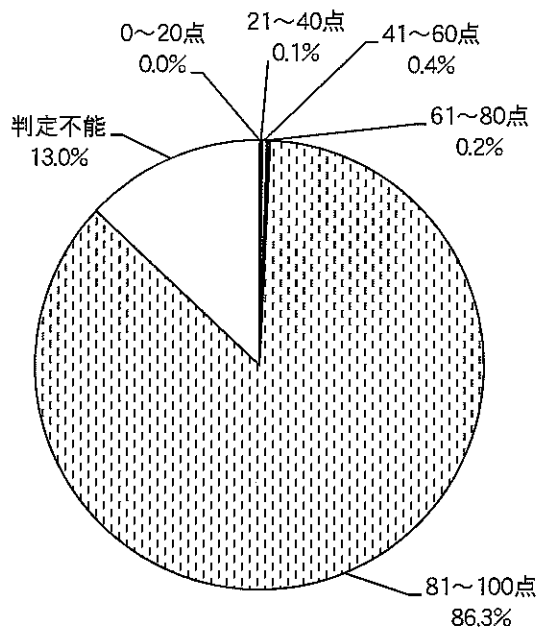
(6) 食事は自分で食べられますか。	1. できる	2. 一部介助があればできる	3. できない
(7) 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。	1. できる	2. 一部介助があればできる	3. できない
(8) 座っていることができますか。	1. できる	2. 支えが必要	3. できない
(9) 自分で洗面や歯磨きができますか。	1. できる	2. 一部介助があればできる	3. できない
(10) 50m以上歩けますか。	1. できる	2. 一部介助があればできる	3. できない
(11) 階段を昇り降りできますか。	1. できる	2. 介助があればできる	3. できない
(12) 自分で着替えができますか。	1. できる	2. 介助があればできる	3. できない
(13) 自分で入浴ができますか。	1. できる	2. 一部介助があればできる	3. できない
(14) 自分でトイレができますか。	1. できる	2. 一部介助があればできる	3. できない
(15) 尿もれや尿失禁がありますか。	1. ない	2. ときどきある	3. よくある
(16) 大便の失敗がありますか。	1. ない	2. ときどきある	3. よくある

上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<ADL（日常生活動作）>を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき100点満点で判定される。

その結果をみると、起居移動に介助が必要のおそれがあると判定される基準である「60点」以下の割合は0.5%、ほぼすべてに介助が必要のおそれがあると判定される基準である「40点」以下の割合は0.1%と非常に低い割合となっている。

ADLに関する判定

点数(n)	回答者数	%
0~20点	0	0.0
21~40点	1	0.1
41~60点	3	0.4
61~80点	2	0.2
81~100点	717	86.3
判定不能	108	13.0
全体	831	100.0



※点数が低いほどADLに介助が必要のおそれあり（100点満点）

年齢別にみると、「60点」以下は非常に少ないものの、「65~69歳」、「75~79歳」、「85~89歳」において該当者がみられた。

※ADLとは「Activities of Daily Living」の略で、食事、排泄、着脱衣、入浴、移動、寝起きなど、日常生活を送るために必要な基本動作すべてを指す。高齢者の身体活動能力や障害の程度をはかるための重要な指標となっている。

上段：人
下段：%

	全体(n)	ADLに関する判定						
		0～20点	21～40点	41～60点	61～80点	81～100点	判定不能	
合計	831 100.0	0 0.0	1 0.1	3 0.4	2 0.2	717 86.3	108 13.0	
年齢	65～69歳	255 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	1 0.4	226 88.6	27 10.6
	70～74歳	222 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	191 86.0	31 14.0
	75～79歳	178 100.0	0 0.0	1 0.6	1 0.6	0 0.0	149 83.7	27 15.2
	80～84歳	111 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	94 84.7	17 15.3
	85～89歳	41 100.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	1 2.4	38 92.7	1 2.4
	90歳以上	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 87.5	1 12.5
	無回答	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 75.0	4 25.0
	居住圏域	東部圏域	406 100.0	0 0.0	1 0.2	1 0.2	2 0.5	348 85.7
西部圏域		402 100.0	0 0.0	0 0.0	2 0.5	0 0.0	350 87.1	50 12.4
無回答		23 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 82.6	4 17.4

<参考>各設問の回答結果

上段：人
下段：%

カテゴリー名	全体(n)	できる	(一部) 介助が あればできる	できない	無回答
問10(6) 食事は自分で食べられますか。	831 100.0	805 96.9	2 0.2	0 0.0	24 2.9
問10(7) 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。	831 100.0	740 89.0	4 0.5	5 0.6	82 9.9
問10(9) 自分で洗面や歯磨きができますか。	831 100.0	802 96.5	3 0.4	1 0.1	25 3.0
問10(10) 50m以上歩けますか。	831 100.0	789 94.9	6 0.7	6 0.7	30 3.6
問10(11) 階段を昇り降りできますか。	831 100.0	789 94.9	12 1.4	6 0.7	24 2.9
問10(12) 自分で着替えができますか。	831 100.0	803 96.6	5 0.6	0 0.0	23 2.8
問10(13) 自分で入浴ができますか。	831 100.0	794 95.5	10 1.2	1 0.1	26 3.1
問10(14) 自分でトイレができますか。	831 100.0	804 96.8	3 0.4	2 0.2	22 2.6

カテゴリー名	全体(n)	できる	支えが必要	できない	無回答
問10(8) 座っていることができますか。	831 100.0	771 92.8	8 1.0	17 2.0	35 4.2

カテゴリー名	全体(n)	ない	ときどきある	よくある	無回答
問10(15) 尿もれや尿失禁がありますか。	831 100.0	627 75.5	168 20.2	9 1.1	27 3.2
問10(16) 大便の失敗がありますか。	831 100.0	780 93.9	25 3.0	1 0.1	25 3.0

< IADLに関する判定 >

問 10 あなたの日常生活についておたずねします。

- (1) バスや電車で一人で外出していますか (自家用車でも可)。
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (2) 日用品の買物をしていますか。
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (3) 自分で食事の用意をしていますか。
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (4) 請求書の支払いをしていますか。
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (5) 預貯金の出し入れをしていますか。
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

< 関連設問 >

問 10 あなたの日常生活についておたずねします。

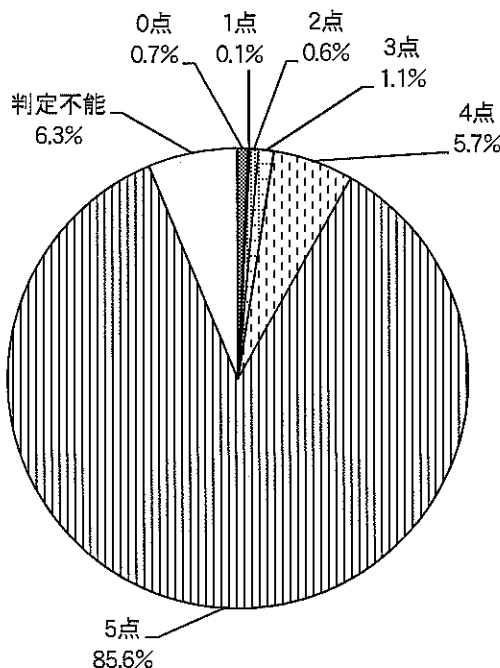
- (17) 家事全般ができていますか。 1. できている 2. できていない

上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における< IADL (日常生活関連動作) >を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき5点満点で判定される。

その結果をみると IADL がやや低いおそれがあると判定される基準である「4点」以下の割合は8.2%、低いおそれがあると判定される基準である「3点」以下の割合は2.5%となっている。

IADL に関する判定

点数(n)	回答者数	%
0点	6	0.7
1点	1	0.1
2点	5	0.6
3点	9	1.1
4点	47	5.7
5点	711	85.6
判定不能	52	6.3
全体	831	100.0



※点数が低いほど IADL に介助が必要
 のおそれあり (5点満点)

年齢別にみると、「4点」では「80~84歳」及び「85~89歳」で比較的高い割合となっており、「3点」では「85~89歳」において比較的高い割合となっている。

※ IADL とは「Instrumental Activities of Daily Living」の略で、排泄・食事・就寝等、日常生活の基本動作 ADL(日常生活動作)に関連した、買い物・料理・掃除等の幅広い動作のことを指す。また薬の管理、お金の管理、趣味活動、公共交通機関関連の利用、車の運転、電話をかけるなどの動作も含まれる。

上段：人
下段：%

		全体(n)	IADL に関する判定						判定不能
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	
合計		831	6	1	5	9	47	711	52
		100.0	0.7	0.1	0.6	1.1	5.7	85.6	6.3
年齢	65～69歳	255	2	0	0	1	9	226	17
		100.0	0.8	0.0	0.0	0.4	3.5	88.6	6.7
	70～74歳	222	0	0	4	2	9	196	11
		100.0	0.0	0.0	1.8	0.9	4.1	88.3	5.0
	75～79歳	178	2	1	0	0	12	151	12
		100.0	1.1	0.6	0.0	0.0	6.7	84.8	6.7
	80～84歳	111	0	0	1	3	12	91	4
100.0		0.0	0.0	0.9	2.7	10.8	82.0	3.6	
85～89歳	41	1	0	0	3	5	29	3	
	100.0	2.4	0.0	0.0	7.3	12.2	70.7	7.3	
90歳以上	8	1	0	0	0	0	6	1	
	100.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	12.5	
無回答	16	0	0	0	0	0	12	4	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	
居住圏域	東部圏域	406	3	1	2	5	23	347	25
		100.0	0.7	0.2	0.5	1.2	5.7	85.5	6.2
	西部圏域	402	3	0	3	4	24	345	23
100.0		0.7	0.0	0.7	1.0	6.0	85.8	5.7	
無回答	23	0	0	0	0	0	19	4	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.6	17.4	

<参考>各設問の回答結果

上段：人
下段：%

カテゴリー名	全体(n)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
問10(1) バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)。	831	763	43	20	5
	100.0	91.8	5.2	2.4	0.6
問10(2) 日用品の買物をしていますか。	831	729	76	12	14
	100.0	87.7	9.1	1.4	1.7
問10(3) 自分で食事の用意をしていますか。	831	579	182	50	20
	100.0	69.7	21.9	6.0	2.4
問10(4) 請求書の支払いをしていますか。	831	721	78	12	20
	100.0	86.8	9.4	1.4	2.4
問10(5) 預貯金の出し入れをしていますか。	831	688	91	26	26
	100.0	82.8	11.0	3.1	3.1

カテゴリー名	全体(n)	できている	できていない	無回答
問10(17) 家事全般ができていますか。	831	702	85	44
	100.0	84.5	10.2	5.3

<知的能動性に関する判定>

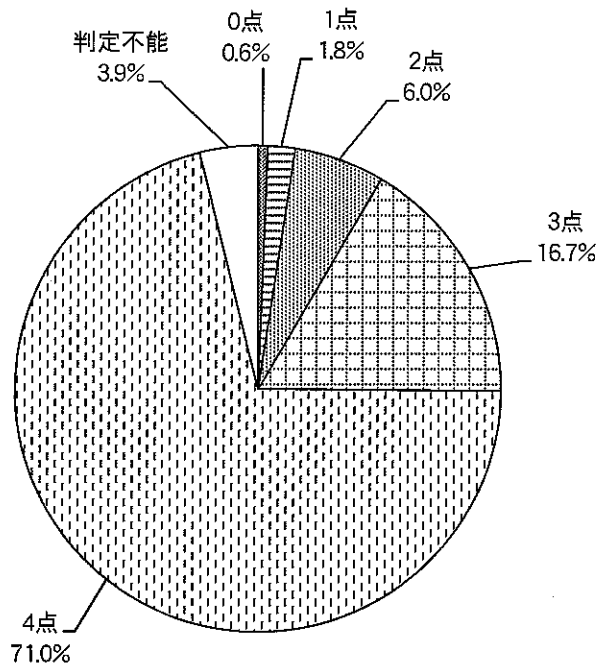
問 1 2 あなたの社会参加の状態についておたずねします。		
(1) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい	2. いいえ
(2) 新聞を読んでいますか。	1. はい	2. いいえ
(3) 本や雑誌を読んでいますか。	1. はい	2. いいえ
(4) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい	2. いいえ
<関連設問>		
問 1 2 あなたの社会参加の状態についておたずねします。		
(1 1) 趣味はありますか。	1. はい	2. いいえ
(1 2) 生きがいはありますか。	1. はい	2. いいえ

上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<知的能動性>を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき4点満点で判定される。

その結果をみると、知的能動性が低いおそれがあると判定される基準である「3点」以下の割合は25.1%となっている。

知的能動性に関する判定

点数	回答者数	%
0点	5	0.6
1点	15	1.8
2点	50	6.0
3点	139	16.7
4点	590	71.0
判定不能	32	3.9
全体(n)	831	100.0



※点数が低いほど知的能動性が低い
おそれあり (4点満点)

年齢別にみると、「2点」以下では「80～84歳」及び「90歳以上」で10%以上の比較的高い割合となっている。

※知的能動性とは、創造的能力、探究心、好奇心を高め、余暇活動を充実させる行動などを指す。

上段：人
下段：%

		全体(n)	知的能動性に関する判定					判定不能
			0点	1点	2点	3点	4点	
合計		831	5	15	50	139	590	32
		100.0	0.6	1.8	6.0	16.7	71.0	3.9
年齢	65～69歳	255	3	3	13	46	185	5
		100.0	1.2	1.2	5.1	18.0	72.5	2.0
	70～74歳	222	1	6	14	37	157	7
		100.0	0.5	2.7	6.3	16.7	70.7	3.2
	75～79歳	178	0	4	5	35	123	11
		100.0	0.0	2.2	2.8	19.7	69.1	6.2
	80～84歳	111	0	1	12	12	81	5
100.0		0.0	0.9	10.8	10.8	73.0	4.5	
85～89歳	41	1	1	4	7	27	1	
	100.0	2.4	2.4	9.8	17.1	65.9	2.4	
90歳以上	8	0	0	1	1	5	1	
	100.0	0.0	0.0	12.5	12.5	62.5	12.5	
無回答	16	0	0	1	1	12	2	
	100.0	0.0	0.0	6.3	6.3	75.0	12.5	
居住圏域	東部圏域	406	4	9	25	68	286	14
		100.0	1.0	2.2	6.2	16.7	70.4	3.4
	西部圏域	402	1	6	24	70	286	15
100.0		0.2	1.5	6.0	17.4	71.1	3.7	
無回答	23	0	0	1	1	18	3	
	100.0	0.0	0.0	4.3	4.3	78.3	13.0	

<参考>各設問の回答結果

上段：人
下段：%

カテゴリー名	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問1 2 (1) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	831	765	48	18
	100.0	92.1	5.8	2.2
問1 2 (2) 新聞を読んでいますか。	831	752	63	16
	100.0	90.5	7.6	1.9
問1 2 (3) 本や雑誌を読んでいますか。	831	680	129	22
	100.0	81.8	15.5	2.6
問1 2 (4) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	831	749	68	14
	100.0	90.1	8.2	1.7
問1 2 (1 1) 趣味はありますか。	831	715	94	22
	100.0	86.0	11.3	2.6
問1 2 (1 2) 生きがいはありますか。	831	701	91	39
	100.0	84.4	11.0	4.7

<社会的役割に関する判定>

問 1 2 あなたの社会参加の状態についておたずねします。

- (5) 友人の家を訪ねていますか。 1. はい 2. いいえ
- (6) 家族や友人と話をしてしていますか。 1. はい 2. いいえ
- (8) 病人を見舞うことができますか。 1. はい 2. いいえ
- (9) 若い人に自分から話しかけることがありますか。 1. はい 2. いいえ

<関連設問>

問 1 2 あなたの社会参加の状態についておたずねします。

- (7) 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか。 1. はい 2. いいえ
- 【「1. はい」とお答えの方におたずねします。】

①相談相手を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 兄弟・姉妹
- 6. 友人・知人 7. 医師・歯科医師・看護師 8. 民生委員 9. 自治会・町内会
- 10. 老人クラブ 11. 社会福祉協議会 12. 地域包括支援センター
- 13. ケアマネジャー 14. 市役所 15. その他()

- (10) 1日誰とも話をしなかったことがありますか。 1. はい 2. いいえ

問 1 3 団体活動への参加状況と今後の参加意向についておたずねします。

- ①町内会・自治会・婦人会などの団体 ②老人クラブ ③商店会などの仕事関係の団体
- ④ボランティア団体 ⑤交通安全・防犯・防災・青少年育成などの社会活動
- ⑥スポーツ・レクリエーション団体 ⑦学習・教養・趣味の会などの団体
- ⑧健康づくりの団体 ⑨その他(具体的に)()

上記設問は、【日常生活圏域ニーズ調査】における<社会的役割>を評価するための設問であり、生活機能判定に基づき4点満点で判定される。

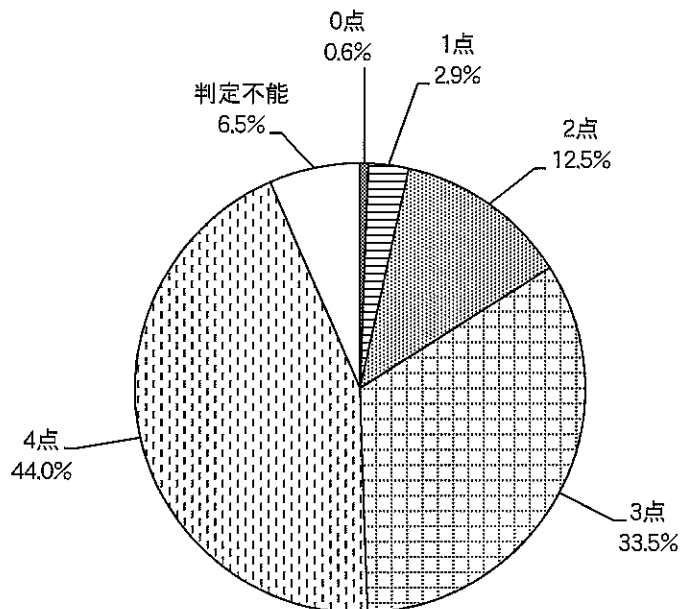
その結果をみると社会的役割が低いおそれがあると判定される基準である「3点」以下の割合は49.5%と高くなっている。

社会的役割に関する判定

点数	回答者数	%
0点	5	0.6
1点	24	2.9
2点	104	12.5
3点	278	33.5
4点	366	44.0
判定不能	54	6.5
全体(n)	831	100.0

※点数が低いほど社会的役割が低い

おそれあり(4点満点)



年齢別にみると、年齢層が高くなるにつれ点数も高くなる傾向がみられる。

また、居住圏域別では「2点」において「東部圏域」が「西部圏域」より5ポイント程度高くなっている。

※社会的役割とは、いろいろな方との付き合い、親としての行動、利他的な行動などを指す。

上段：人
下段：%

	全体(n)	社会的役割に関する判定						
		0点	1点	2点	3点	4点	判定不能	
合計	831	5	24	104	278	366	54	
	100.0	0.6	2.9	12.5	33.5	44.0	6.5	
年齢	65～69歳	255	2	2	27	82	134	8
		100.0	0.8	0.8	10.6	32.2	52.5	3.1
	70～74歳	222	0	7	21	84	98	12
		100.0	0.0	3.2	9.5	37.8	44.1	5.4
	75～79歳	178	3	6	23	67	63	16
		100.0	1.7	3.4	12.9	37.6	35.4	9.0
	80～84歳	111	0	4	21	28	48	10
		100.0	0.0	3.6	18.9	25.2	43.2	9.0
85～89歳	41	0	4	7	15	11	4	
	100.0	0.0	9.8	17.1	36.6	26.8	9.8	
90歳以上	8	0	1	2	1	2	2	
	100.0	0.0	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	
無回答	16	0	0	3	1	10	2	
	100.0	0.0	0.0	18.8	6.3	62.5	12.5	
居住圏域	東部圏域	406	3	13	61	133	169	27
		100.0	0.7	3.2	15.0	32.8	41.6	6.7
	西部圏域	402	2	9	41	139	187	24
	100.0	0.5	2.2	10.2	34.6	46.5	6.0	
無回答	23	0	2	2	6	10	3	
	100.0	0.0	8.7	8.7	26.1	43.5	13.0	

<参考>各設問の回答結果

カテゴリー名	全体(n)	はい	いいえ	無回答
問12(5) 友人の家を訪ねていますか。	831	409	397	25
	100.0	49.2	47.8	3.0
問12(6) 家族や友人と話をしていますか。	831	796	18	17
	100.0	95.8	2.2	2.0
問12(7) 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか。	831	757	58	16
	100.0	91.1	7.0	1.9
問12(8) 病人を見舞うことができますか。	831	750	50	31
	100.0	90.3	6.0	3.7
問12(9) 若い人に自分から話しかけることがありますか。	831	662	140	29
	100.0	79.7	16.8	3.5
問12(10) 1日誰とも話をしなかったことがありますか。	831	123	689	19
	100.0	14.8	82.9	2.3

上段：人
下段：%

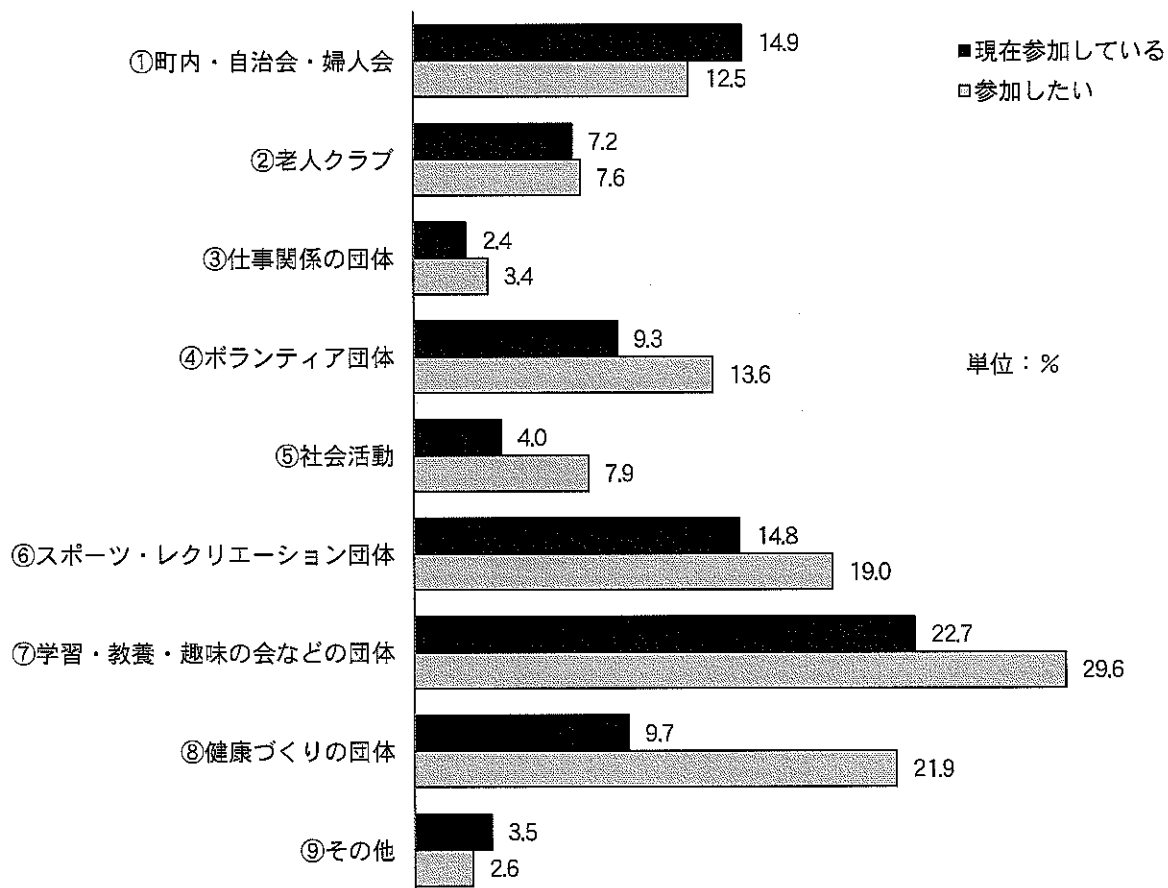
問12(7) ①相談相手を教えてください。

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	配偶者(夫・妻)	507	67.0
2	息子	307	40.6
3	娘	362	47.8
4	子の配偶者	89	11.8
5	兄弟・姉妹	202	26.7
6	友人・知人	288	38.0
7	医師・歯科医師・看護師	134	17.7
8	民生委員	8	1.1
9	自治会・町内会	9	1.2
10	老人クラブ	9	1.2
11	社会福祉協議会	7	0.9
12	地域包括支援センター	3	0.4
13	ケアマネジャー	6	0.8
14	市役所	22	2.9
15	その他	10	1.3
	無回答	13	1.7
	全体(n)	757	100.0

上段：人
下段：%

問13 団体活動への参加状況と今後の参加意向についておたずねします。

	参加状況 (n=831)				今後の意向 (n=831)			
	現在参加している	参加したことはある	参加したことがない	無回答	参加したい	参加したくない(できない)	わからない	無回答
①町内・自治会・婦人会などの団体	124 14.9	177 21.3	303 36.5	227 27.3	104 12.5	148 17.8	265 31.9	314 37.8
②老人クラブ	60 7.2	42 5.1	477 57.4	252 30.3	63 7.6	190 22.9	262 31.5	316 38.0
③商店会などの仕事関係の団体	20 2.4	35 4.2	474 57.0	302 36.3	28 3.4	202 24.3	255 30.7	346 41.6
④ボランティア団体	77 9.3	60 7.2	432 52.0	262 31.5	113 13.6	140 16.8	257 30.9	321 38.6
⑤交通安全・防犯・防災・青少年育成などの社会活動	33 4.0	62 7.5	450 54.2	286 34.4	66 7.9	170 20.5	263 31.6	332 40.0
⑥スポーツ・レクリエーション団体	123 14.8	94 11.3	369 44.4	245 29.5	158 19.0	132 15.9	226 27.2	315 37.9
⑦学習・教養・趣味の会などの団体	189 22.7	115 13.8	320 38.5	207 24.9	246 29.6	101 12.2	191 23.0	293 35.3
⑧健康づくりの団体	81 9.7	67 8.1	409 49.2	274 33.0	182 21.9	117 14.1	233 28.0	299 36.0
⑨その他	29 3.5	7 0.8	107 12.9	688 82.8	22 2.6	39 4.7	82 9.9	688 82.8



(2) 入通院の状況

<現在の通院・入院状況>

(2) あなたは、現在、医療機関にかかっていますか。

1. 通院している 2. 入院している

3. 医療機関にはかかっていない

【「1. 通院している」又は「2. 入院している」とお答えの方におたずねします】

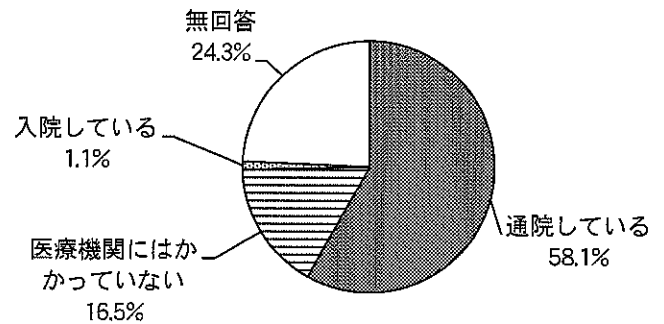
①現在治療中、または後遺症のあるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病
- 5. 高脂血症(脂質異常) 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
- 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8. 腎臓・前立腺の病気
- 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10. 外傷(転倒・骨折等)
- 11. がん(悪性新生物) 12. 血液・免疫の病気 13. うつ病
- 14. 認知症(アルツハイマー病等) 15. パーキンソン病 16. 目の病気
- 17. 耳の病気 18. 心の病 19. その他()

<現在の通院・入院状況>について聞いたみたところ、「通院している」が58.1%と最も多く、次いで「医療機関にはかかっていない」16.5%、「入院している」1.1%となっており、現在、医療機関にかかっている回答者が約6割を占めている。

現在の通院・入院状況

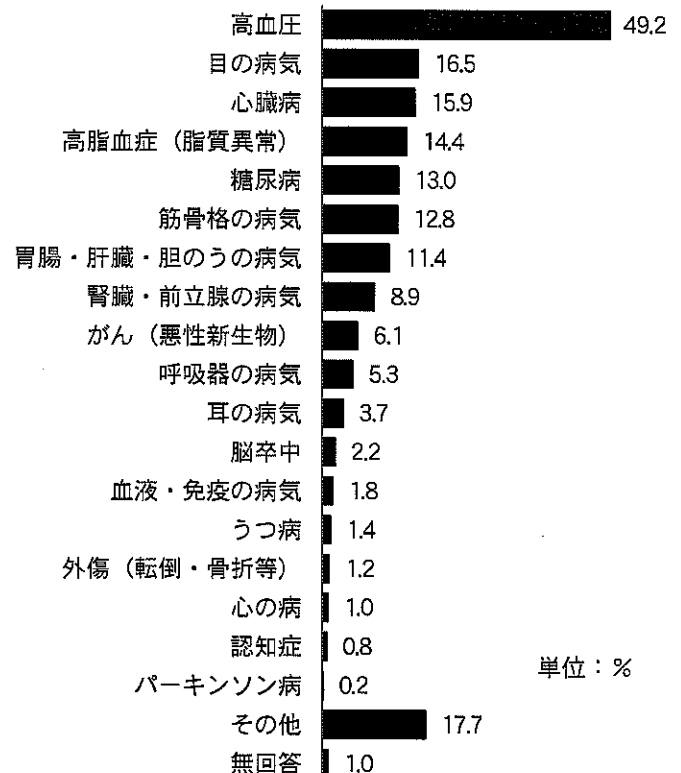
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	通院している	483	58.1
2	入院している	9	1.1
3	医療機関にはかかっていない	137	16.5
	無回答	202	24.3
	全体(n)	831	100.0



現在、医療機関にかかっている492人について、<現在治療中、または後遺症のあるもの>について聞くと、「高血圧」が49.2%と最も多く、次いで「目の病気」16.5%、「心臓病」15.9%、「高脂血症」14.4%、「糖尿病」13.0%と続いている。

①現在治療中、または後遺症のあるもの(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	高血圧	242	49.2
2	脳卒中	11	2.2
3	心臓病	78	15.9
4	糖尿病	64	13.0
5	高脂血症(脂質異常)	71	14.4
6	呼吸器の病気	26	5.3
7	胃腸・肝臓・胆のうの病気	56	11.4
8	腎臓・前立腺の病気	44	8.9
9	筋骨格の病気	63	12.8
10	外傷(転倒・骨折等)	6	1.2
11	がん(悪性新生物)	30	6.1
12	血液・免疫の病気	9	1.8
13	うつ病	7	1.4
14	認知症	4	0.8
15	パーキンソン病	1	0.2
16	目の病気	81	16.5
17	耳の病気	18	3.7
18	心の病	5	1.0
19	その他	87	17.7
	無回答	5	1.0
	全体(n)	492	100.0



<治療状況>

【「1. 通院している」又は「2. 入院している」とお答えの方におたずねします】

③通院している場合、その頻度はどのくらいですか。

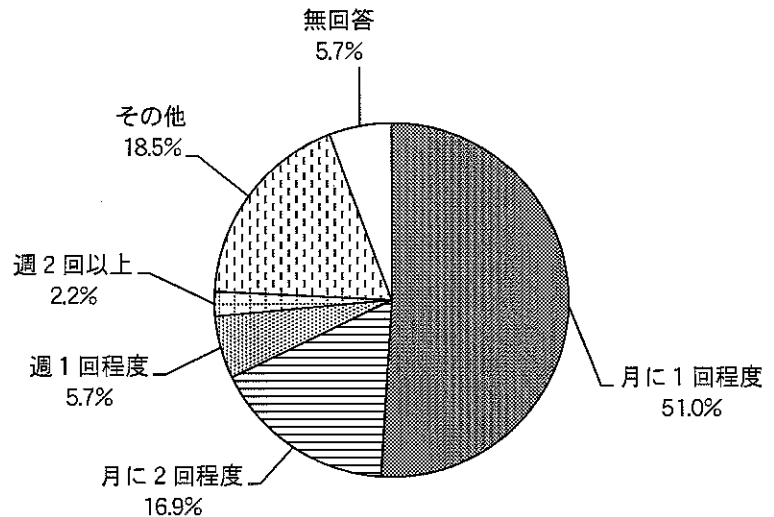
1. 週2回以上 2. 週1回程度 3. 月に2回程度
4. 月に1回程度 5. その他（ ）

④通院している場合、通院に介助が必要ですか。 1. はい 2. いいえ

現在、医療機関にかかっている492人について、<通院の頻度>を聞くと、「月に1回程度」が51.0%と半数を占め、次いで「月に2回程度」16.9%、「週1回程度」5.7%、「週2回以上」2.2%となっている。

③通院頻度

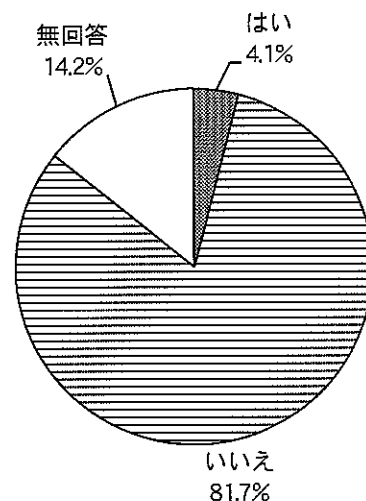
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	週2回以上	11	2.2
2	週1回程度	28	5.7
3	月に2回程度	83	16.9
4	月に1回程度	251	51.0
5	その他	91	18.5
	無回答	28	5.7
	全体(n)	492	100.0



<通院している場合の介助の必要性>について聞くと、「はい」が4.1%、「いいえ」が81.7%であった。

④介助の有無

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	はい	20	4.1
2	いいえ	402	81.7
	無回答	70	14.2
	全体(n)	492	100.0



(3) 日頃の健康管理

<飲酒>

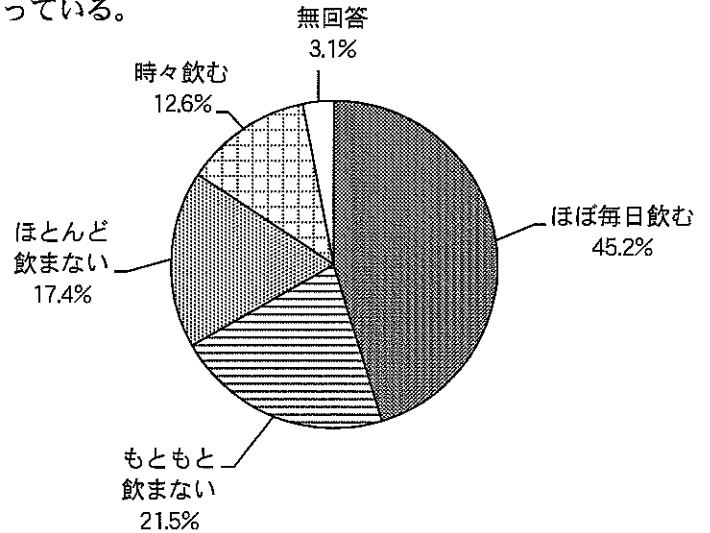
(3) お酒を飲みますか。

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

<飲酒>については、「ほぼ毎日飲む」が45.2%と最も多く、次いで「もともと飲まない」21.5%、「ほとんど飲まない」17.4%、「時々飲む」12.6%となっている。

飲酒

No.	カテゴリ名	回答者数	%
1	ほぼ毎日飲む	376	45.2
2	時々飲む	105	12.6
3	ほとんど飲まない	145	17.4
4	もともと飲まない	179	21.5
	無回答	26	3.1
	全体(n)	831	100.0



現在の健康状態別にみると、「ほぼ毎日飲む」では「かなり調子がわるい」が83.3%と非常に高く、「ほとんど飲まない」では「とても健康で、気になるところはない」が21.5%と他に比べやや高い割合となっており、飲酒頻度が健康状態に何らかの影響を与えている傾向がうかがえる。

上段：人
下段：%

		全体(n)	飲酒状況				
			ほぼ毎日 飲む	時々飲む	ほとんど 飲まない	もともと 飲まない	無回答
合計		831	376	105	145	179	26
		100.0	45.2	12.6	17.4	21.5	3.1
現在の健康状態	とても健康で、気になるところはない	107	51	15	23	17	1
		100.0	47.7	14.0	21.5	15.9	0.9
	気になるところはあるが、年相応にまあまあ健康だと思う	601	265	76	103	154	3
		100.0	44.1	12.6	17.1	25.6	0.5
	何となく調子がよくない	61	34	9	12	6	0
		100.0	55.7	14.8	19.7	9.8	0.0
かなり調子がわるい	12	10	2	0	0	0	
	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	
無回答	50	16	3	7	2	22	
	100.0	32.0	6.0	14.0	4.0	44.0	

<喫煙>

(4) タバコは吸っていますか。

- 1. もともと吸わない
- 2. 吸っていたことがあるが、今は吸わない
- 3. ときどき吸う
- 4. 毎日吸う

【「4. 毎日吸う」とお答えの方におたずねします。】

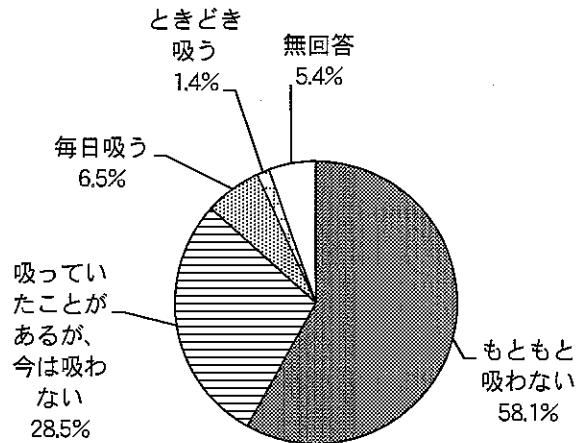
①あなたの1日の喫煙本数はどのくらいですか。

- 1. 10本未満
- 2. 10~20本未満
- 3. 20~40本未満
- 4. 40本以上

<喫煙>については、「もともと吸わない」が58.1%と最も高く、次いで「吸っていたことがあるが、今は吸わない」28.5%、「毎日吸う」6.5%、「ときどき吸う」1.4%となっている。

喫煙

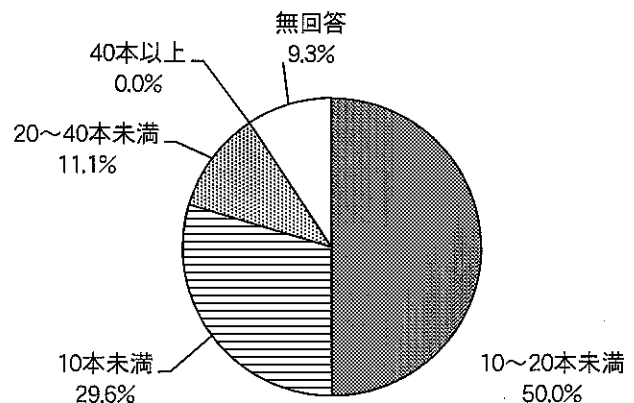
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	もともと吸わない	483	58.1
2	吸っていたことがあるが、今は吸わない	237	28.5
3	ときどき吸う	12	1.4
4	毎日吸う	54	6.5
	無回答	45	5.4
	全体(n)	831	100.0



「毎日吸う」と答えた54人の回答者について、<1日の平均喫煙本数>を聞いたところ、「10~20本未満」が50.0%と半数を占め、次いで「10本未満」29.6%、「20~40本未満」11.1%となっている。

①1日の平均喫煙本数

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	10本未満	16	29.6
2	10~20本未満	27	50.0
3	20~40本未満	6	11.1
4	40本以上	0	0.0
	無回答	5	9.3
	全体(n)	54	100.0



現在の健康状態別にみると、「10本未満」では「とても健康で、気になるところはない」が66.7%と最も多く、「10～20本未満」では「気になるところはあるが、年相応にまあまあ健康だと思う」が52.2%と最も多くなっている。

すべての健康状態において20本未満がほとんどを占めており、健康状態の変化による喫煙本数の違いはみられないことから、本調査では喫煙本数と健康状態に因果関係はみられなかった。

上段：人
下段：%

		全体(n)	喫煙状況				
			10本未満	10～20本未満	20～40本未満	40本以上	無回答
合計		54	16	27	6	0	5
		100.0	29.6	50.0	11.1	0.0	9.3
現在の健康状態	とても健康で、気になるところはない	3	2	1	0	0	0
		100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	気になるところはあるが、年相応にまあまあ健康だと思う	46	12	24	6	0	4
		100.0	26.1	52.2	13.0	0.0	8.7
	何となく調子がよくない	3	2	1	0	0	0
		100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
かなり調子がわるい	1	0	1	0	0	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	1	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

(4) 支援ニーズ

<地域で困ること・不便に感じる事>

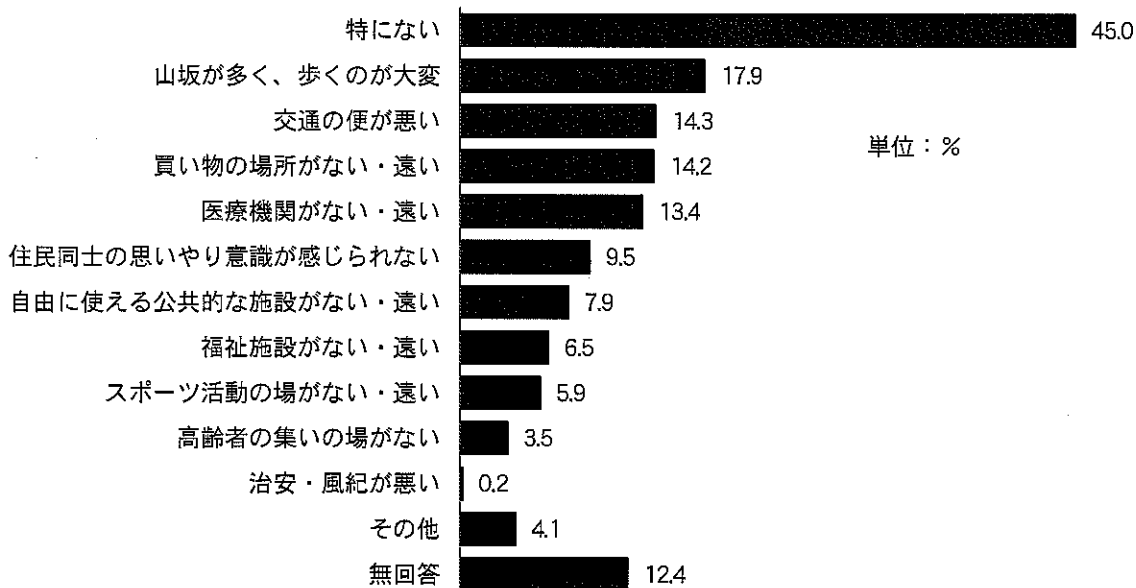
- 問14 地元地域のことで、困ること・不便に感じることはありますか。(〇は3つまで)
- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 交通の便が悪い | 2. 山坂が多く、歩くのが大変 |
| 3. 買い物の場所がない・遠い | 4. 医療機関がない・遠い |
| 5. 福祉施設がない・遠い | 6. 治安・風紀が悪い |
| 7. 自由に使える公共的な施設がない・遠い | 8. スポーツ活動の場がない・遠い |
| 9. 高齢者の集いの場がない | 10. 住民同士の思いやり意識が感じられない |
| 11. その他 () | 12. 特にない |

<地域で困ること・不便に感じる事>については、「特にない」が45.0%と約半数が不便を感じていない。

なお、その他の項目では、「山坂が多く、歩くのが大変」17.9%、「交通の便が悪い」14.3%、「買い物の場所がない・遠い」14.2%、「医療機関がない・遠い」13.4%と続いている。

地域で困ること・不便に感じる事 (複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	交通の便が悪い	119	14.3
2	山坂が多く、歩くのが大変	149	17.9
3	買い物の場所がない・遠い	118	14.2
4	医療機関がない・遠い	111	13.4
5	福祉施設がない・遠い	54	6.5
6	治安・風紀が悪い	2	0.2
7	自由に使える公共的な施設がない・遠い	66	7.9
8	スポーツ活動の場がない・遠い	49	5.9
9	高齢者の集いの場がない	29	3.5
10	住民同士の思いやり意識が感じられない	79	9.5
11	その他	34	4.1
12	特にない	374	45.0
	無回答	103	12.4
	全体(n)	831	100.0



年齢別でみると、「山坂が多く、歩くのが大変」が年齢が高くなるにつれ割合が高くなる傾向にあること、「自由に使える公共的な施設がない・遠い」や「スポーツ活動の場がない・遠い」といった活動の場に対する項目が「65～69歳」及び「70～74歳」といった年齢層で比較的高くなっていることが挙げられる。

居住圏域別では、東部圏域において「医療機関がない・遠い」が18.7%と西部圏域に比べ高くなっていることが特徴として挙げられる。

上段：人

下段：%

		地域で困ること・不便に感じること													
		交通の便が悪い	山坂が多く、歩くのが大変	買い物の場所がない・遠い	医療機関がない・遠い	福祉施設がない・遠い	治安・風紀が悪い	自由に使える公共的な施設がない・遠い	スポーツ活動の場がない・遠い	高齢者の集いの場がない	住民同士の思いやり意識が感じられない	その他	特にない	無回答	
合計	831	119	149	118	111	54	2	66	49	29	79	34	374	103	
	100.0	14.3	17.9	14.2	13.4	6.5	0.2	7.9	5.9	3.5	9.5	4.1	45.0	12.4	
年齢	65～69歳	255	44	43	36	42	17	0	25	22	11	21	7	120	20
		100.0	17.3	16.9	14.1	16.5	6.7	0.0	9.8	8.6	4.3	8.2	2.7	47.1	7.8
	70～74歳	222	33	43	37	29	16	2	21	13	5	24	11	84	34
		100.0	14.9	19.4	16.7	13.1	7.2	0.9	9.5	5.9	2.3	10.8	5.0	37.8	15.3
	75～79歳	178	24	26	24	21	9	0	10	8	5	20	8	81	24
		100.0	13.5	14.6	13.5	11.8	5.1	0.0	5.6	4.5	2.8	11.2	4.5	45.5	13.5
	80～84歳	111	13	25	15	13	10	0	8	5	6	10	4	59	11
		100.0	11.7	22.5	13.5	11.7	9.0	0.0	7.2	4.5	5.4	9.0	3.6	53.2	9.9
85～89歳	41	4	8	5	5	2	0	1	1	1	2	2	22	7	
	100.0	9.8	19.5	12.2	12.2	4.9	0.0	2.4	2.4	2.4	4.9	4.9	53.7	17.1	
90歳以上	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	5	
	100.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	62.5	
無回答	16	1	4	1	0	0	0	1	0	1	2	2	6	2	
	100.0	6.3	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	12.5	12.5	37.5	12.5	
居住圏域	東部圏域	406	54	79	65	76	24	1	37	19	23	47	14	172	44
		100.0	13.3	19.5	16.0	18.7	5.9	0.2	9.1	4.7	5.7	11.6	3.4	42.4	10.8
	西部圏域	402	63	68	52	35	30	1	27	29	5	30	18	192	55
		100.0	15.7	16.9	12.9	8.7	7.5	0.2	6.7	7.2	1.2	7.5	4.5	47.8	13.7
	無回答	23	2	2	1	0	0	0	2	1	1	2	2	10	4
		100.0	8.7	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	4.3	8.7	8.7	43.5	17.4

年齢別でみると、各年齢層とも「未定」が最も多いが、「90歳以上」において「家族と話し合い、どうするか決めてある」及び「家族には話していないが、自分で決めてある」の割合が他に比べやや高くなっている。

同居状況でみると、「家族と話し合い、どうするか決めてある」において「同居家族がいる」が「ひとり暮らし」より7ポイント程度高くなっている。

対照的に、「家族には話していないが、自分で決めてある」では「ひとり暮らし」が「同居家族がいる」より11ポイント高くなっている。

上段：人
下段：%

		全体(n)	生活設計の決定状況					
			家族と話し合い、どうするか決めてある	家族に、自分の希望を伝えてある	家族には話していないが、自分で決めてある	未定	その他	無回答
合計		831 100.0	95 11.4	64 7.7	115 13.8	506 60.9	7 0.8	44 5.3
年齢	65～69歳	255 100.0	24 9.4	16 6.3	39 15.3	160 62.7	2 0.8	14 5.5
	70～74歳	222 100.0	22 9.9	22 9.9	24 10.8	139 62.6	3 1.4	12 5.4
	75～79歳	178 100.0	28 15.7	11 6.2	23 12.9	105 59.0	1 0.6	10 5.6
	80～84歳	111 100.0	14 12.6	9 8.1	21 18.9	62 55.9	1 0.9	4 3.6
	85～89歳	41 100.0	4 9.8	5 12.2	3 7.3	28 68.3	0 0.0	1 2.4
	90歳以上	8 100.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	4 50.0	0 0.0	1 12.5
	無回答	16 100.0	1 6.3	1 6.3	4 25.0	8 50.0	0 0.0	2 12.5
同居状況	ひとり暮らし	108 100.0	5 4.6	6 5.6	25 23.1	61 56.5	2 1.9	9 8.3
	同居家族がいる	649 100.0	77 11.9	54 8.3	79 12.2	407 62.7	3 0.5	29 4.5
	無回答	74 100.0	13 17.6	4 5.4	11 14.9	38 51.4	2 2.7	6 8.1

<介護が必要になったときの生活の場の希望 >

(2) 介護が必要になったときの生活の場所として、どんなところを望みますか。

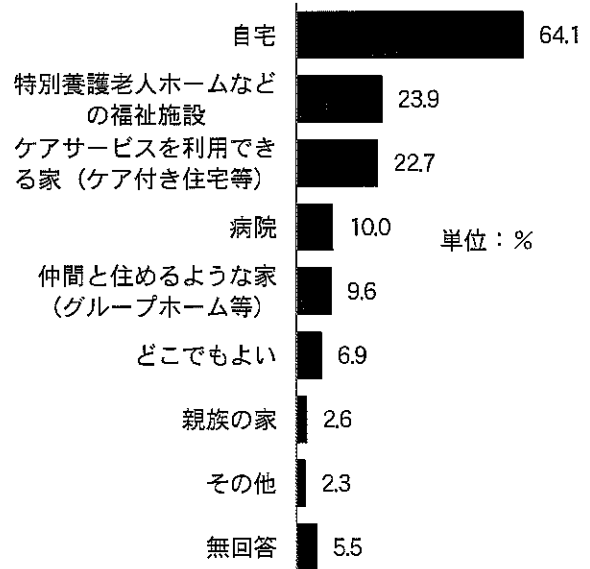
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1. 自宅 | 2. 親族の家 |
| 3. 仲間と住めるような家 (グループホーム等) | |
| 4. ケアサービスを利用できる家 (ケア付き住宅等) | |
| 5. 特別養護老人ホームなどの福祉施設 | 6. 病院 |
| 7. その他 () | 8. どこでもよい |

<介護が必要になったときの生活の場の希望>について聞いたところ、「自宅」が64.1%と最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの福祉施設」23.9%、「ケアサービスを利用できる家(ケア付き住宅等)」22.7%と続いている。

介護が必要になったときの生活の場の希望 (複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自宅	533	64.1
2	親族の家	22	2.6
3	仲間と住めるような家	80	9.6
4	ケアサービスを利用できる家	189	22.7
5	特別養護老人ホームなどの福祉施設	199	23.9
6	病院	83	10.0
7	その他	19	2.3
8	どこでもよい	57	6.9
	無回答	46	5.5
	全体(n)	831	100.0



同居状況別で比較してみると、「ひとり暮らし」では「親族の家」が8ポイント程度高く、また、「同居家族がいる」では「自宅」が10ポイント程度高くなっている。

上段: 人
下段: %

		全体(n)	要介護時の希望生活場所								
			自宅	親族の家	仲間と住めるような家	ケアサービスを利用できる家	特別養護老人ホームなどの福祉施設	病院	その他	どこでもよい	無回答
合計		831	533	22	80	189	199	83	19	57	46
		100.0	64.1	2.6	9.6	22.7	23.9	10.0	2.3	6.9	5.5
同居状況	ひとり暮らし	108	60	10	10	23	25	8	3	9	9
		100.0	55.6	9.3	9.3	21.3	23.1	7.4	2.8	8.3	8.3
	同居家族がいる	649	423	10	63	151	165	66	15	44	31
	100.0	65.2	1.5	9.7	23.3	25.4	10.2	2.3	6.8	4.8	
	無回答	74	50	2	7	15	9	9	1	4	6
	100.0	67.6	2.7	9.5	20.3	12.2	12.2	1.4	5.4	8.1	

<要介護時の希望居住場所>

(3) あなたは、今後、どこで暮らしたいですか。

1. できればこのまま返子で暮らし続けたい
2. できれば市外に住み替えたい
3. 特にこだわらない

(4) 【「1. できればこのまま返子で暮らし続けたい」とお答えの方におたずねします。】

①暮らし続けたい主な理由は何ですか。(〇は2つまで)

1. 自宅があるから・住みなれた場所だから
2. 生活しやすいから
3. 知り合いが多いから
4. 環境変化への対応に自信がない
5. 経済的な理由
6. その他 ()

(5) 【問15(3)で、2. とお答えの方におたずねします。】

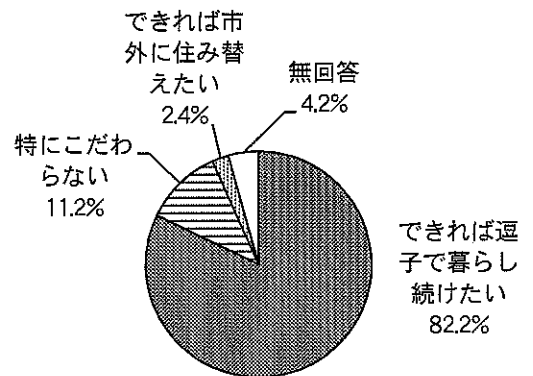
①住み替えたい主な理由は何ですか。(〇は2つまで)

1. 故郷に帰りたい
2. 生活しにくいから
3. 健康上の理由
4. 家族の都合(仕事・介護・子育て等)
5. 経済的な理由
6. その他 ()

<要介護時の希望居住場所>については、「できればこのまま返子で暮らし続けたい」が82.2%と最も多く、次いで「特にこだわらない」11.2%と続いている。

要介護時の希望居住場所

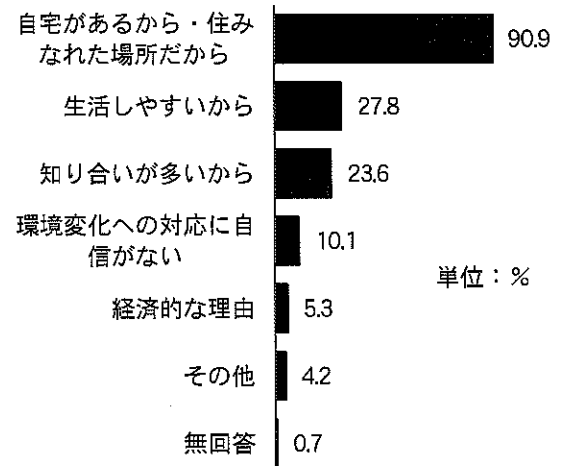
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	できればこのまま返子で暮らし続けたい	683	82.2
2	できれば市外に住み替えたい	20	2.4
3	特にこだわらない	93	11.2
	無回答	35	4.2
	全体(n)	831	100.0



「できればこのまま返子で暮らしたい」と回答した683人に対して、<返子で暮らし続けたい理由>について聞いたところ、「自宅があるから・住みなれた場所だから」が90.9%と最も多く、次いで「生活しやすいから」27.8%、「知り合いが多いから」23.6%と続いている。

返子で暮らし続けたい理由(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自宅があるから・住みなれた場所だから	621	90.9
2	生活しやすいから	190	27.8
3	知り合いが多いから	161	23.6
4	環境変化への対応に自信がない	69	10.1
5	経済的な理由	36	5.3
6	その他	29	4.2
	無回答	5	0.7
	全体(n)	683	100.0



性別で比較してみると、「女性」は「知り合いが多いから」が14ポイント程度的高くなっている。

同居状況別でみると、「ひとり暮らし」において「生活しやすいから」の割合が7ポイント程度高くなっている。

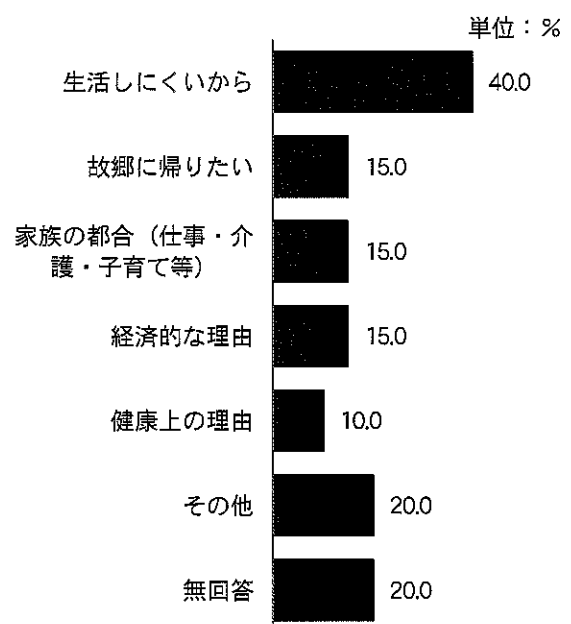
上段：人
下段：%

		全体(n)	暮らし続けたい理由						無回答
			自宅があるから・住みなれた場所だから	生活しやすいから	知り合いが多いから	環境変化への対応に自信がない	経済的な理由	その他	
合計		683	621	190	161	69	36	29	5
		100.0	90.9	27.8	23.6	10.1	5.3	4.2	0.7
性別	男	291	268	86	43	25	20	11	3
		100.0	92.1	29.6	14.8	8.6	6.9	3.8	1.0
	女	380	341	103	115	43	16	17	2
		100.0	89.7	27.1	30.3	11.3	4.2	4.5	0.5
	無回答	12	12	1	3	1	0	1	0
		100.0	100.0	8.3	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0
同居状況	ひとり暮らし	87	71	29	24	7	6	5	1
		100.0	81.6	33.3	27.6	8.0	6.9	5.7	1.1
	同居家族がいる	537	494	143	121	56	29	24	4
		100.0	92.0	26.6	22.5	10.4	5.4	4.5	0.7
	無回答	59	56	18	16	6	1	0	0
		100.0	94.9	30.5	27.1	10.2	1.7	0.0	0.0

「できれば市外に住みたい」と回答した20人に対して、〈住み替えたい理由〉を聞いたところ、「生活しにくいから」が40.0%と最も多く、次いで「故郷に帰りたい」「家族の都合（仕事・介護・子育て等）」「経済的な理由」がともに15.0%、「健康上の理由」10.0%となっている。

住み替えたい主な理由（複数回答）

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	故郷に帰りたい	3	15.0
2	生活しにくいから	8	40.0
3	健康上の理由	2	10.0
4	家族の都合（仕事・介護・子育て等）	3	15.0
5	経済的な理由	3	15.0
6	その他	4	20.0
	無回答	4	20.0
	全体(n)	20	100.0



<多様な生活の場の利用意向>

(6) あなたは、次の1～5のような生活の場について、どのように考えますか。

1. 高齢者対応の賃貸住宅
2. 高齢者対応の生活支援施設（軽費老人ホーム、ケアハウス）
3. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
4. 有料老人ホーム等
5. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

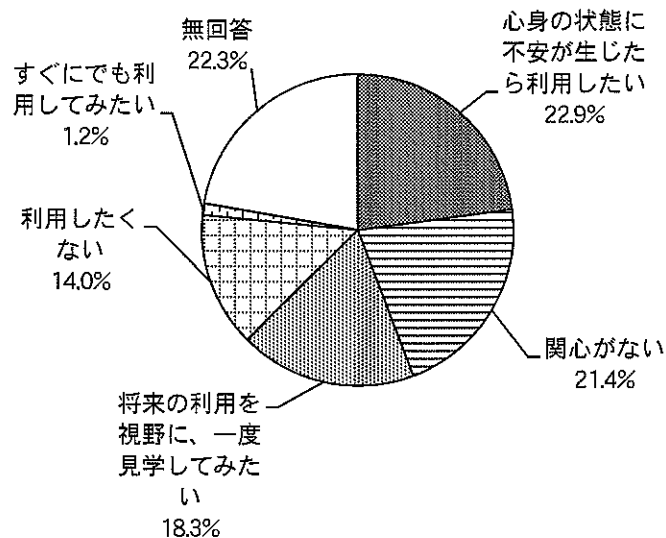
(7) あなたは、(6)の1～5の施設のうち、一番利用してみたい施設はどれですか。

<多様な生活の場の利用意向>について1～5の施設別に聞いたところ、「すぐにでも利用したい」と回答した人はすべての施設において少ないが、「将来の利用を視野に、一度見学してみたい」及び「心身の状態に不安が生じたら利用したい」が比較的高く、将来必要になったときに利用したい意向が高いことがうかがえた。

「高齢者対応の賃貸住宅」では、「心身の状態に不安が生じたら利用したい」が22.9%と最も多く、次いで「関心がない」21.4%、「将来の利用を視野に、一度見学してみたい」18.3%と続いている。

1. 高齢者対応の賃貸住宅

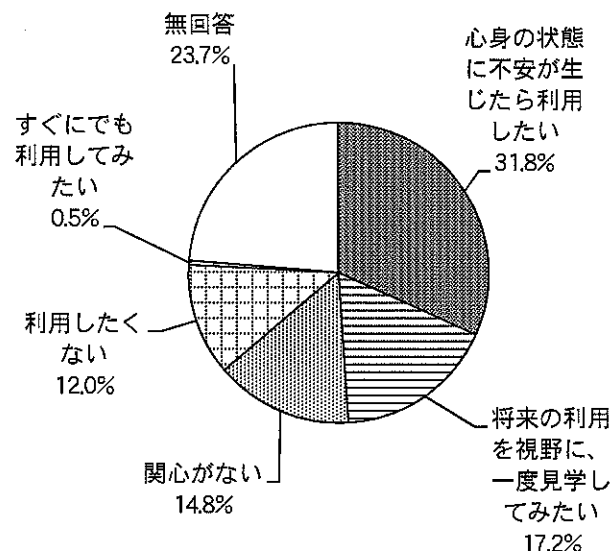
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	すぐにでも利用してみたい	10	1.2
2	将来の利用を視野に、一度見学してみたい	152	18.3
3	心身の状態に不安が生じたら利用したい	190	22.9
4	利用したくない	116	14.0
5	関心がない	178	21.4
	無回答	185	22.3
	全体(n)	831	100.0



「高齢者対応の生活支援施設（軽費老人ホーム、ケアハウス）」では、「心身の状態に不安が生じたら利用したい」が31.8%と最も多く、次いで「将来の利用を視野に、一度見学してみたい」17.2%、「関心がない」14.8%と続いている。

2. 高齢者対応の生活支援施設

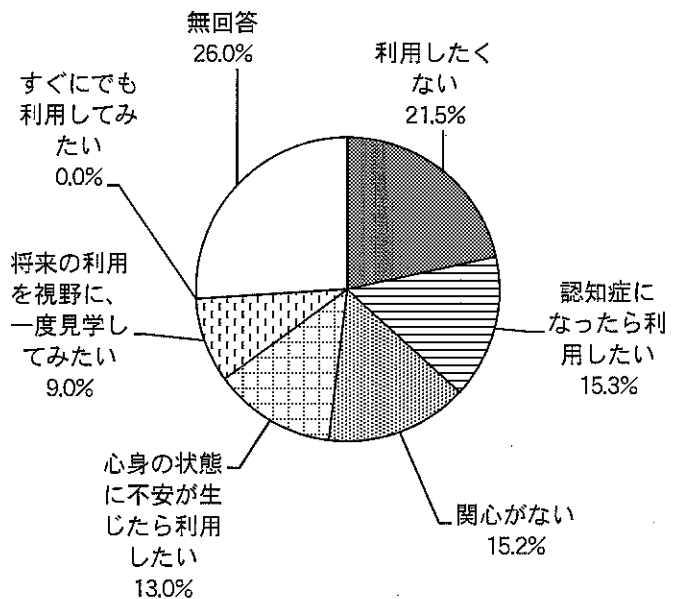
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	すぐにでも利用してみたい	4	0.5
2	将来の利用を視野に、一度見学してみたい	143	17.2
3	心身の状態に不安が生じたら利用したい	264	31.8
4	利用したくない	100	12.0
5	関心がない	123	14.8
	無回答	197	23.7
	全体(n)	831	100.0



「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」では、「利用したくない」が21.5%と最も多く、次いで「認知症になったら利用したい」15.3%、「関心がない」15.2%、「心身の状態に不安が生じたら利用したい」13.0%と続いている。

3. 認知症対応型共同生活介護

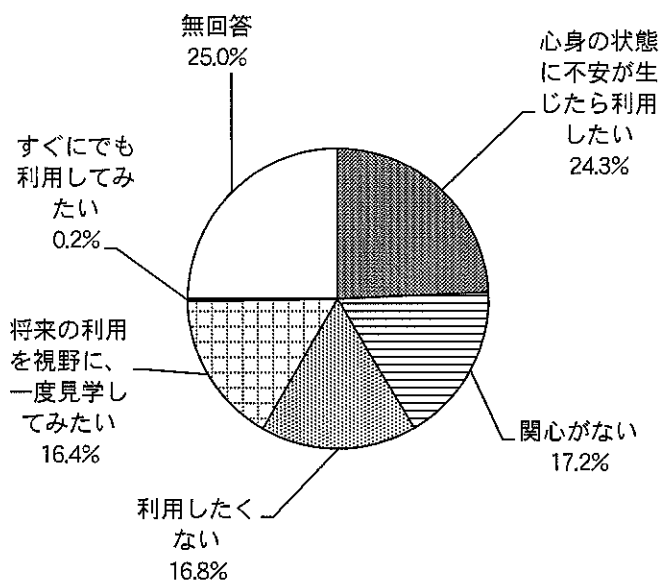
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	すぐにでも利用してみたい	0	0.0
2	将来の利用を視野に、一度見学してみたい	75	9.0
3	心身の状態に不安が生じたら利用したい	108	13.0
4	利用したくない	179	21.5
5	認知症になったら利用したい	127	15.3
6	関心がない	126	15.2
	無回答	216	26.0
	全体(n)	831	100.0



「有料老人ホーム等」では、「心身の状態に不安が生じたら利用したい」が24.3%と最も多く、次いで「関心がない」17.2%、「利用したくない」16.8%、「将来の利用を視野に、一度見学してみたい」16.4%と続いている。

4. 有料老人ホーム等

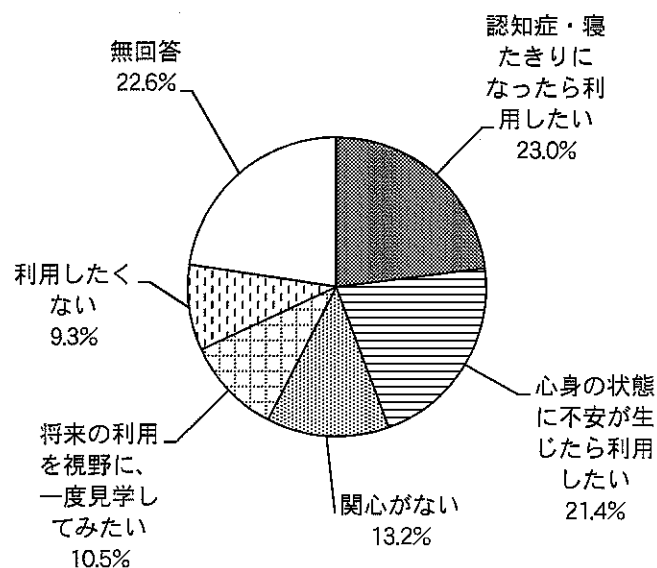
No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	すぐにでも利用してみたい	2	0.2
2	将来の利用を視野に、一度見学してみたい	136	16.4
3	心身の状態に不安が生じたら利用したい	202	24.3
4	利用したくない	140	16.8
5	関心がない	143	17.2
	無回答	208	25.0
	全体(n)	831	100.0



「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」では、「認知症・寝たきりになったら利用したい」が23.0%と最も多く、次いで「心身の状態に不安が生じたら利用したい」21.4%、「関心がない」13.2%、「将来の利用を視野に、一度見学してみたい」10.5%と続いている。

5. 介護老人福祉施設

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	将来の利用を視野に、一度見学してみたい	87	10.5
2	心身の状態に不安が生じたら利用したい	178	21.4
3	認知症・寝たきりになったら利用したい	191	23.0
4	利用したくない	77	9.3
5	関心がない	110	13.2
	無回答	188	22.6
	全体(n)	831	100.0



一番利用してみたい施設について聞いたところ、「高齢者対応の生活支援施設」が19.0%と最も多く、次いで「介護老人福祉施設」18.5%、「有料老人ホーム等」11.8%、「高齢者対応の賃貸住宅」9.7%、「認知症対応型共同生活介護」2.4%となっている。

一番利用してみたい施設（複数回答）

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	高齢者対応の賃貸住宅	81	9.7
2	高齢者対応の生活支援施設	158	19.0
3	認知症対応型共同生活介護	20	2.4
4	有料老人ホーム等	98	11.8
5	介護老人福祉施設	154	18.5
	無回答	330	39.7
	全体(n)	831	100.0



※「一番利用してみたい施設」を選んだ理由

1. 高齢者対応の賃貸住宅（シルバーハウジング等）

◇自立した生活（括弧内は同様の回答数）

- プライバシーが保てること。あまり高額でないこと。(4)
- いつまでも自立した生活をしていたい。(3)
- 一人で生活したい。(2)
- 自分自身で生活しながら困った時だけ助けてもらいたい。(2)
- 束縛されなくて良いと思う。(2)
- 生活に自由がありそう。(2)
- 自分で何でもやる方が体調を管理出来ると思う。
- 自宅のような状態で住むことができる。

◇家族などへの負担

- 認知症になる前に1度住んでみたい。
- 子供の世話になりたくない。
- 配偶者を亡くしたときに子供の世話にならずに生活できると思う。

◇サービスの内容など

- 日常生活の中で色々な生活指導を受けたり相談ができることは、高齢者にとってうれしい。
- 「生活指導」、「相談」などの悩みに応じて介護が可能。
- 現在の施設は、高齢者用の設備が何も出来ていない。

◇経済的な理由

- 経済的に負担が少ない。
- 快適な生活ができるのではないかと思うが、自分の経済状態では不安。
- 年金だけで全て賄う事ができる。
- 費用が高いのが不安。

◇現在の住居との対比から

- 現在の家は広すぎて掃除や庭の手入れが大変なため。
- 将来一人になったときは、コンパクトに設計されたシルバーハウジングの方が過ごしやすい。また、仲間もいて淋しくない。
- 自宅が古く段差があるため、改修に費用が掛かるため。
- 自宅介護を希望しているが、住宅がバリアフリー化されてないため。

◇その他

- 自分の体力や足腰のことを考えて選びたい。
- 現在住んでいる家は、身体が不自由になったときのことを考えて建てた家だが、身体が不自由になったときには、介護が受けられる施設に移ることも視野に入れている。

- 食事やトイレが出来なくなったときはどこかの施設に入れてほしい。
- 部屋が狭い。風呂がない。家賃が高い。
- 高齢だから。
- 利用しやすい。

2. 高齢者対応の生活支援施設（軽費老人ホーム、ケアハウス）

◇経済的な理由（括弧内は同様の回答数）

- 軽費だから。(23)
- 年金で生活ができたら暮らしたい。(6)
- 有料老人ホームが良いと思うが、高額だから無理だと思う。

◇家族などへの負担（括弧内は同様の回答数）

- 家族等に負担をかけたくない。(9)
- なるべく他人に迷惑を掛けないようにしたいから。
- 介護が必要になった場合は、費用の少ない老人ホームやその様な施設を利用したい。

◇自立生活への支援、入所者との交流など

- 安心感がある。
- 今の体の状態に一番あった施設だと感じている。
- 自分向きに思える。
- 将来、自分が動けなくなったら支援を受けたい。
- 外部と孤立せずに支援を受けながら日常生活が出来るから。
- 食事を自分で作る事が苦手のため。
- 子供がいないので身体が不自由になったら施設に入所したい。
- 日常生活の支援を受け、趣味などを楽しみながら自立を目指し自由に暮らしたい。併設の病院があると心強い。

◇その他（括弧内は同様の回答数）

- 施設について具体的な違いを理解していないので良く分からない。具体的に分かりやすく説明した資料がほしい。(3)
- 手軽に利用できそうな施設と思えた。
- 現時点で最も身近に感じる。
- 良く分からないが何となく利用しやすい感じ。
- 自立した生活が不安になった場合に入居するのがよい。
- 自分のことは自分でやり、出来ないことのみ支援してもらえから。
- 自分の状態に適した、手厚いケアを受けられる所と思うから。
- 特別養護老人ホームは待機者が多く入居が困難と聞いたから。
- 一度も見学したことがないので選べない。
- その時になったら見学してみたい。

3. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

◇家族などの負担

- 家族や近所に迷惑をかけたくない。
- 経済的に他人・知人の世話になるのは心苦しい。

◇専門的な介護など

- 認知症が心配だから。(2)
- 認知症になったら他のタイプの施設では対応してもらえないと思う。
- 認知症は、家族だけでは対応できないと思う。
- 知人が入居しているのを見て、家庭的な雰囲気の中で病人に対しての思いやりもあるから。
- 以前に見学したところ、少人数で暖かい感じを受けたから。

4. 有料老人ホーム等

◇家族などへの負担（括弧内は同様の回答数）

- 家族等に迷惑をかけたくない。(3)
- 独り暮らしとなった場合、老化防止の意味でも集団生活の環境に移りたい。

◇自立した生活、一人でいる時間など（括弧内は同様の回答数）

- 自由度、利便性が一番あると思えるから。(7)
- プライベートな空間、時間が最も持てそうだから。(7)
- 自分の自主性を尊重してくれるように思うから。
- 自分のステータスを認識できると思うから。
- 明るく前向きになれる。
- 一番気が休まると思うから。

◇サービス・施設の内容など（括弧内は同様の回答数）

- 食事などの身の回りのことが不自由になるから。(3)
- 費用があれば心配なく任せられる。(2)
- サービスが行き届いているように思うから。
- 施設が必要になった時の経済状態によって決める。
- 設備、環境、医療等が整っているケースが多い。
- 食事の心配が無く、リハビリ運動器具やトレーニングルームを利用できるから。

◇経験上

- 身内が入居しているから。(6)

◇その他

- 有料老人ホームは利用してみたいが、経済的には無理だと思う。
- 自立した生活をしたいが、体力がなくなればこうした施設に入所したい。
- 自分の身のまわりのことができなくなったら介護をしてほしいから。

- 高齢になってもみじめな生活はしたくなく、生活の質は落としたいため。
- 経済的に無理のない範囲であれば入居してみたい。将来の問題として見学したい。
- 経費が許されるならば利用したい。

5. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

◇家族などへの負担（括弧内は同様の回答数）

- 家族等に迷惑をかけたくない。(25)
- 希望は自宅で一生終えることですが、自宅での介護が困難になると思うため。
- 認知症の場合は自宅での介護は無理と思う。
- 子供に負担を掛けたくないが、当てにもできない。その配偶者も当てにできない。
- 身内の介護が期待できない。
- 家族と共倒れにならないため。
- 家族の経済的・労働的な負担を少しでも軽減できたらと思う。
- 今後の健康状態によって選ぶ方向が違ってくると思うが、経済的余裕があれば家族に迷惑をかけずに過ごせると思うため。
- 自宅で生活したいが、体の自由が効かなくなったり認知症になったりして家族へ負担をかけたくない。

◇サービス・施設の内容など（括弧内は同様の回答数）

- 安心だから。(2)
- 食事や介護を提供してくれるから。
- 医者が常駐し、食事があり夜間も対応してもらえるため。
- 子供達が遠くに住んでいるので介護が受け難い。サービスが充実していると聞いているから。

◇経験上

- 身内の面倒を良く見てくれて良かったから。(2)
- 母親がお世話になったことがあるから。
- 介護状況を良く見て知っているから。また経済的負担も比較的軽いから。
- 職員の対応が良かったから。

◇経済的な理由（括弧内は同様の回答数）

- 費用が安くすみそうだから。(10)
- 国民年金のみの収入で介護老人福祉施設以外の施設に入ることは無理だから。

◇自分で生活することができなくなったら

- 認知症や寝たきりになったら介護をお願いするしかない。
- 動ける間は自宅で生活したいが、動けなくなれば介護老人福祉施設に入るしかない。
- 配偶者や近所の人達が支えてくれるうちは自宅で人生を全うしたいが、負担が多くかかる場合は入居したい。
- 配偶者が高齢になり介護出来なくなった時は入居したい。
- 介護が必要になった時は利用したい。

- 単身になり足腰が立たなくなればやむを得ない。
- 認知症や寝たきりになった場合利用したい。
- 自立して生活する事ができなくなった時は、介護を直ぐ受けられる施設に入所したい。

◇その他

- 死ぬまで安心して過ごせる施設を是非作ってほしい。介護老人福祉施設が少なすぎる。
- グループホームは閉鎖的な印象がある。介護老人福祉施設は個室型ユニットなら理想的だと思う。
- 歴史が古く最も安定性、信頼性、経済性が優れていると思える。
- 認知症や寝たきりになった場合、介護等を受けられる施設に入れたら、家族も自分も安心だと思う。

その他：「一番利用してみたい施設」には無回答 （括弧内は同様の回答数）

- 自分で努力をするが、できなくなったら年金でまかなえる介護施設に入りたい。(3)
- 将来の利用を視野に見学してみたい。(2)
- 家族に迷惑をかけたくない。(2)
- 現状を市の広報で知らせてほしい。
- 足腰が弱ったら、設備の完備された施設に入りたい。
- どの施設でも料金の心配がないようになってほしい。
- どうしても利用が必要になったら料金の安い所を利用したい。
- 自立型ではあるが、見守り、食事付きや医療等のサービスがあり、介護が必要になったときは介護付きの施設へ移行できる住まいが望ましい。

5 保健福祉サービス利用の現状と意向

(1) 保険福祉サービスの利用の現状と意向

<保険福祉サービス>

問16 市の高齢者福祉サービスや介護予防サービス、健康診査などの利用経験と、将来の利用希望についておたずねします。

- (1) 高齢者福祉サービス
- (2) 介護予防サービス
- (3) 健康増進事業
- (4) (1)(2)(3)のサービスのうち、特に①役に立つのもっと充実して欲しいもの、②利用しにくいと思うものがあれば、その名称や内容をお書きください。

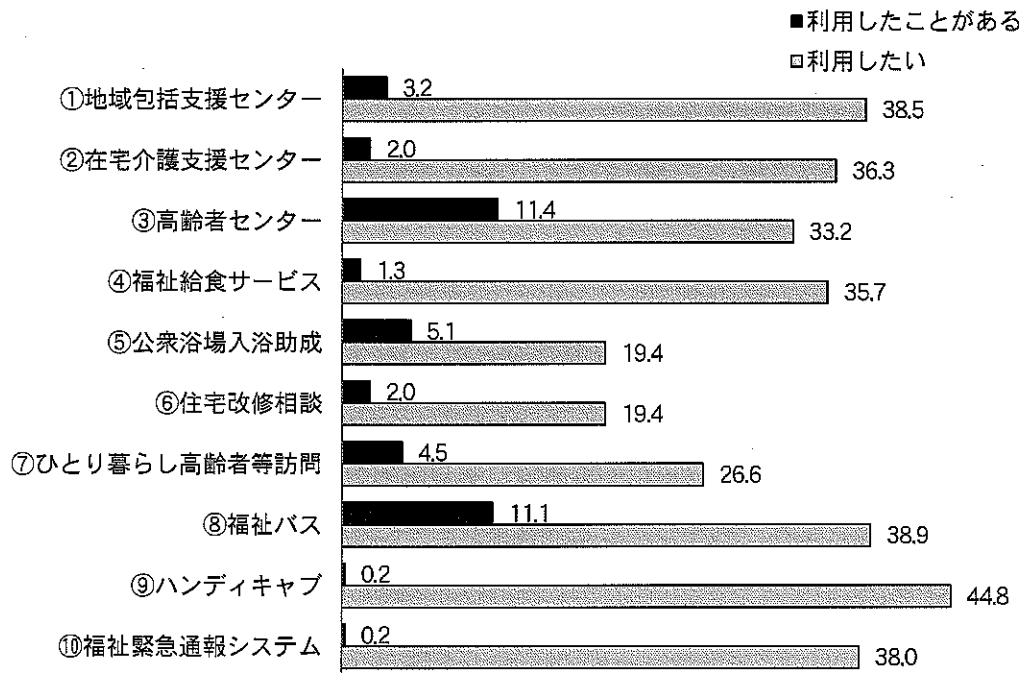
高齢者福祉サービスの利用経験についてみると、すべての項目で「利用したことがない」が60%以上の高い割合となっている。なお、「利用したことがある」サービスは「高齢者センター」が11.4%と最も多く、次いで「福祉バス」11.1%、「公衆浴場入浴助成」5.1%と続いている。一方、「知らなかった」では「福祉緊急通報システム」が20.8%と最も多く、次いで「ハンディキャブ」17.8%、「住宅改修相談」16.1%、「地域包括支援センター」16.0%、「公衆浴場入浴助成」14.6%と続いている。

将来の利用希望をみると、「福祉バス」が38.9%と最も多く、次いで「地域包括支援センター」38.5%、「福祉緊急通報システム」38.0%と続いている。これらは利用経験に比べ高い割合を占めていることから、利用したことがなくても将来は利用したいと思っている回答者が多いことがうかがえる。一方、「利用したくない」では「ハンディキャブ」が44.8%と半数近くを占めている。

(1) 高齢者福祉サービスの①利用経験と②将来の利用希望

上段：人
下段：%

	①利用経験(n=831)				②将来の利用希望(n=831)			
	利用したことがある	利用したことがない	知らなかった	無回答	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
①地域包括支援センター	27 3.2	559 67.3	133 16.0	112 13.5	320 38.5	31 3.7	307 36.9	173 20.8
②在宅介護支援センター	17 2.0	603 72.6	86 10.3	125 15.0	302 36.3	37 4.5	312 37.5	180 21.7
③高齢者センター	95 11.4	564 67.9	60 7.2	112 13.5	276 33.2	62 7.5	309 37.2	184 22.1
④福祉給食サービス	11 1.3	615 74.0	72 8.7	133 16.0	297 35.7	58 7.0	299 36.0	177 21.3
⑤公衆浴場入浴助成	42 5.1	549 66.1	121 14.6	119 14.3	161 19.4	160 19.3	325 39.1	185 22.3
⑥住宅改修相談	17 2.0	545 65.6	134 16.1	135 16.2	161 19.4	160 19.3	325 39.1	185 22.3
⑦ひとり暮らし高齢者等訪問	37 4.5	567 68.2	83 10.0	144 17.3	221 26.6	61 7.3	344 41.4	205 24.7
⑧福祉バス	92 11.1	563 67.7	60 7.2	116 14.0	323 38.9	46 5.5	274 33.0	188 22.6
⑨ハンディキャブ	2 0.2	543 65.3	148 17.8	138 16.6	57 6.9	372 44.8	199 23.9	0 0.0
⑩福祉緊急通報システム	2 0.2	523 62.9	173 20.8	133 16.0	316 38.0	29 3.5	300 36.1	186 22.4



上段：人
下段：%

		全体(n)	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
①地域包括支援センター	利用したことがある	27	17	1	2	7
		100.0	63.0	3.7	7.4	25.9
	利用したことがない	559	245	26	226	62
		100.0	43.8	4.7	40.4	11.1
②在宅介護支援センター	知らなかった	133	48	4	72	9
		100.0	36.1	3.0	54.1	6.8
	無回答	112	10	0	7	95
		100.0	8.9	0.0	6.3	84.8
③高齢者センター	利用したことがある	17	12	0	2	3
		100.0	70.6	0.0	11.8	17.6
	利用したことがない	603	257	34	244	68
		100.0	42.6	5.6	40.5	11.3
④福祉給食サービス	知らなかった	86	23	3	54	6
		100.0	26.7	3.5	62.8	7.0
	無回答	125	10	0	12	103
		100.0	8.0	0.0	9.6	82.4
③高齢者センター	利用したことがある	95	60	5	12	18
		100.0	63.2	5.3	12.6	18.9
	利用したことがない	564	189	52	253	70
		100.0	33.5	9.2	44.9	12.4
④福祉給食サービス	知らなかった	60	19	3	34	4
		100.0	31.7	5.0	56.7	6.7
	無回答	112	8	2	10	92
		100.0	7.1	1.8	8.9	82.1
④福祉給食サービス	利用したことがある	11	6	2	2	1
		100.0	54.5	18.2	18.2	9.1
	利用したことがない	615	255	47	246	67
		100.0	41.5	7.6	40.0	10.9
④福祉給食サービス	知らなかった	72	23	4	41	4
		100.0	31.9	5.6	56.9	5.6
	無回答	133	13	5	10	105
		100.0	9.8	3.8	7.5	78.9

上段：人
下段：%

		全体(n)	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
⑤公衆浴場 入浴助成	利用したことがある	42 100.0	29 69.0	4 9.5	3 7.1	6 14.3
	利用していない	549 100.0	100 18.2	128 23.3	248 45.2	73 13.3
	知らなかった	121 100.0	28 23.1	24 19.8	62 51.2	7 5.8
	無回答	119 100.0	4 3.4	4 3.4	12 10.1	99 83.2
⑥住宅改修 相談	利用したことがある	17 100.0	12 70.6	0 0.0	3 17.6	2 11.8
	利用していない	545 100.0	155 28.4	49 9.0	264 48.4	77 14.1
	知らなかった	134 100.0	34 25.4	10 7.5	86 64.2	4 3.0
	無回答	135 100.0	6 4.4	3 2.2	16 11.9	110 81.5
⑦ひとり暮らし 高齢者等訪問	利用したことがある	37 100.0	17 45.9	2 5.4	5 13.5	13 35.1
	利用していない	567 100.0	175 30.9	51 9.0	275 48.5	66 11.6
	知らなかった	83 100.0	21 25.3	6 7.2	50 60.2	6 7.2
	無回答	144 100.0	8 5.6	2 1.4	14 9.7	120 83.3
⑧福祉バス	利用したことがある	92 100.0	64 69.6	3 3.3	7 7.6	18 19.6
	利用していない	563 100.0	231 41.0	36 6.4	220 39.1	76 13.5
	知らなかった	60 100.0	20 33.3	4 6.7	34 56.7	2 3.3
	無回答	116 100.0	8 6.9	3 2.6	13 11.2	92 79.3
⑨ハンディ キャブ	利用したことがある	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	利用していない	543 100.0	156 28.7	43 7.9	268 49.4	76 14.0
	知らなかった	148 100.0	38 25.7	14 9.5	88 59.5	8 5.4
	無回答	138 100.0	7 5.1	0 0.0	16 11.6	115 83.3
⑩福祉緊急 通報システム	利用したことがある	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	利用していない	523 100.0	222 42.4	25 4.8	210 40.2	66 12.6
	知らなかった	173 100.0	82 47.4	4 2.3	75 43.4	12 6.9
	無回答	133 100.0	10 7.5	0 0.0	15 11.3	108 81.2

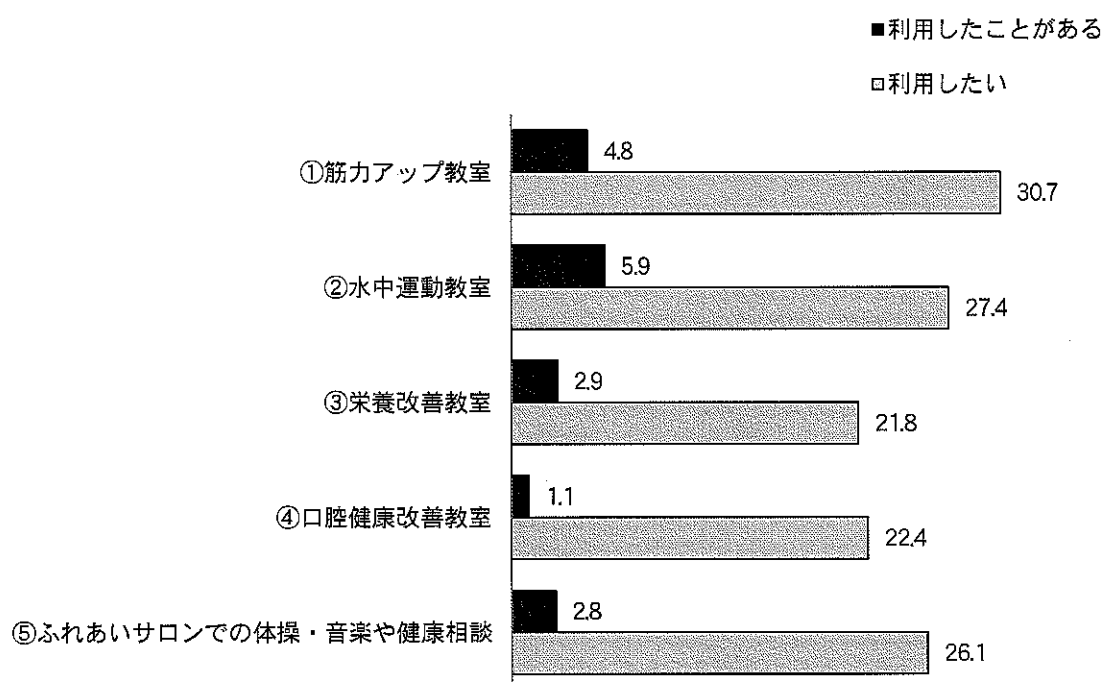
介護予防サービスの利用経験についてみると、すべての項目において「利用したことがない」が60%以上を占めており、また、「知らなかった」の割合も比較的高く、利用経験は低いものとなっている。「利用したことがある」サービスは、「水中運動教室」が5.9%と最も多く、次いで「筋力アップ教室」4.8%と続いている。

将来の利用希望では、すべての項目において「わからない」が40%前後を占めている一方、「利用したい」が20~30%を占めており、介護予防サービスへのニーズの高さがうかがえる。

上段：人
下段：%

(2) 介護予防サービスの①利用経験と②将来の利用希望

	①利用経験(n=831)				②将来の利用希望(n=831)			
	利用したことがある	利用したことがない	知らなかった	無回答	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
①筋力アップ教室	40	512	166	113	255	81	330	165
	4.8	61.6	20.0	13.6	30.7	9.7	39.7	19.9
②水中運動教室	49	549	116	117	228	130	312	161
	5.9	66.1	14.0	14.1	27.4	15.6	37.5	19.4
③栄養改善教室	24	551	135	121	181	105	370	175
	2.9	66.3	16.2	14.6	21.8	12.6	44.5	21.1
④口腔健康改善教室	9	539	160	123	186	100	368	177
	1.1	64.9	19.3	14.8	22.4	12.0	44.3	21.3
⑤ふれあいサロンでの体操・音楽や健康相談	23	546	138	124	217	98	349	167
	2.8	65.7	16.6	14.9	26.1	11.8	42.0	20.1



上段：人
下段：%

		全体(n)	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
①筋力アップ教室	利用したことがある	40 ----- 100.0	26 ----- 65.0	0 ----- 0.0	6 ----- 15.0	8 ----- 20.0
	利用したことがない	512 ----- 100.0	166 ----- 32.4	68 ----- 13.3	226 ----- 44.1	52 ----- 10.2
	知らなかった	166 ----- 100.0	57 ----- 34.3	9 ----- 5.4	90 ----- 54.2	10 ----- 6.0
	無回答	113 ----- 100.0	6 ----- 5.3	4 ----- 3.5	8 ----- 7.1	95 ----- 84.1
②水中運動教室	利用したことがある	49 ----- 100.0	31 ----- 63.3	7 ----- 14.3	4 ----- 8.2	7 ----- 14.3
	利用したことがない	549 ----- 100.0	160 ----- 29.1	107 ----- 19.5	230 ----- 41.9	52 ----- 9.5
	知らなかった	116 ----- 100.0	31 ----- 26.7	11 ----- 9.5	70 ----- 60.3	4 ----- 3.4
	無回答	117 ----- 100.0	6 ----- 5.1	5 ----- 4.3	8 ----- 6.8	98 ----- 83.8
③栄養改善教室	利用したことがある	24 ----- 100.0	13 ----- 54.2	0 ----- 0.0	7 ----- 29.2	4 ----- 16.7
	利用したことがない	551 ----- 100.0	134 ----- 24.3	89 ----- 16.2	272 ----- 49.4	56 ----- 10.2
	知らなかった	135 ----- 100.0	27 ----- 20.0	13 ----- 9.6	86 ----- 63.7	9 ----- 6.7
	無回答	121 ----- 100.0	7 ----- 5.8	3 ----- 2.5	5 ----- 4.1	106 ----- 87.6
④口腔健康改善教室	利用したことがある	9 ----- 100.0	7 ----- 77.8	1 ----- 11.1	1 ----- 11.1	0 ----- 0.0
	利用したことがない	539 ----- 100.0	130 ----- 24.1	81 ----- 15.0	266 ----- 49.4	62 ----- 11.5
	知らなかった	160 ----- 100.0	43 ----- 26.9	13 ----- 8.1	96 ----- 60.0	8 ----- 5.0
	無回答	123 ----- 100.0	6 ----- 4.9	5 ----- 4.1	5 ----- 4.1	107 ----- 87.0
⑤ふれあいサロンでの体操・音楽や健康相談	利用したことがある	23 ----- 100.0	17 ----- 73.9	0 ----- 0.0	2 ----- 8.7	4 ----- 17.4
	利用したことがない	546 ----- 100.0	157 ----- 28.8	83 ----- 15.2	255 ----- 46.7	51 ----- 9.3
	知らなかった	138 ----- 100.0	37 ----- 26.8	10 ----- 7.2	84 ----- 60.9	7 ----- 5.1
	無回答	124 ----- 100.0	6 ----- 4.8	5 ----- 4.0	8 ----- 6.5	105 ----- 84.7

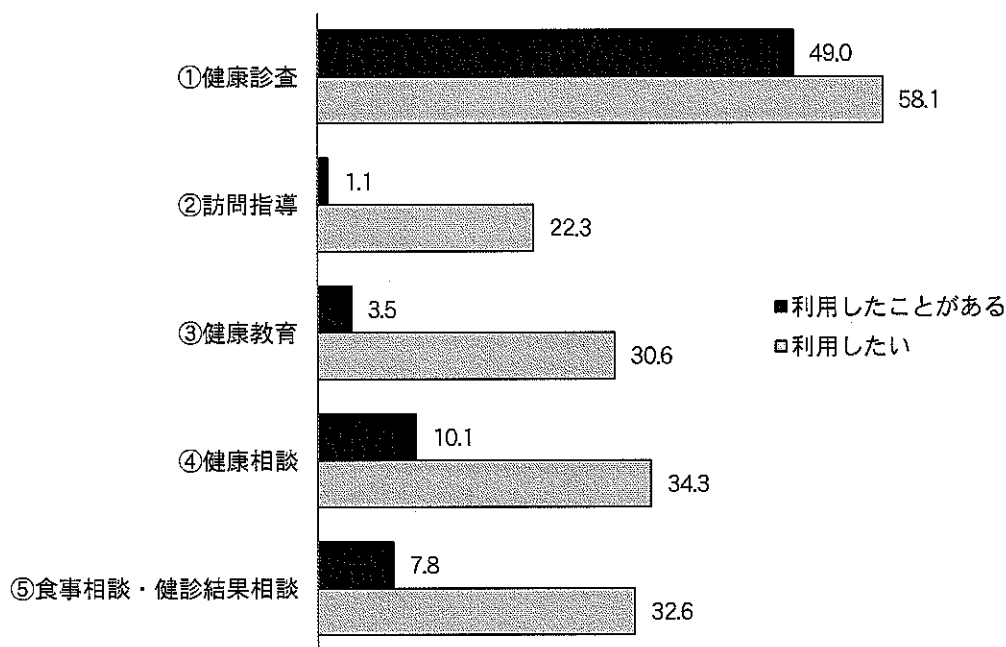
健康増進事業の利用経験についてみると、「利用したことがある」では「健康診査」が49.0%と最も多くなっているが、その他の項目では低く、特に「訪問指導」及び「健康教育」については「利用したことがない」が70%以上を占めている。

将来の利用希望をみると、「利用したい」では「健康診査」が58.1%と半数以上を占め、次いで「健康相談」34.3%、「食事相談・健診結果相談」32.6%、「健康教育」30.6%、「訪問指導」22.3%となっている。

上段：人
下段：%

(3) 健康増進事業の①利用経験と②将来の利用希望

	①利用経験(n=831)				②将来の利用希望(n=831)			
	利用したことがある	利用したことがない	知らなかった	無回答	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
①健康診査	407 49.0	324 39.0	25 3.0	75 9.0	483 58.1	42 5.1	163 19.6	143 17.2
②訪問指導	9 1.1	612 73.6	96 11.6	114 13.7	185 22.3	106 12.8	378 45.5	162 19.5
③健康教育	29 3.5	589 70.9	100 12.0	113 13.6	254 30.6	81 9.7	337 40.6	159 19.1
④健康相談	84 10.1	479 57.6	66 7.9	202 24.3	285 34.3	56 6.7	239 28.8	251 30.2
⑤食事相談・健診結果相談	65 7.8	494 59.4	68 8.2	204 24.5	271 32.6	64 7.7	247 29.7	249 30.0



上段：人
下段：%

		全体(n)	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
①健康診 査	利用したことが ある	407 100.0	334 82.1	5 1.2	26 6.4	42 10.3
	利用したことが ない	324 100.0	133 41.0	36 11.1	120 37.0	35 10.8
	知らなかった	25 100.0	9 36.0	1 4.0	13 52.0	2 8.0
	無回答	75 100.0	7 9.3	0 0.0	4 5.3	64 85.3
②訪問指 導	利用したことが ある	9 100.0	5 55.6	0 0.0	4 44.4	0 0.0
	利用したことが ない	612 100.0	153 25.0	98 16.0	305 49.8	56 9.2
	知らなかった	96 100.0	20 20.8	6 6.3	65 67.7	5 5.2
	無回答	114 100.0	7 6.1	2 1.8	4 3.5	101 88.6
③健康教 育	利用したことが ある	29 100.0	23 79.3	0 0.0	2 6.9	4 13.8
	利用したことが ない	589 100.0	192 32.6	74 12.6	271 46.0	52 8.8
	知らなかった	100 100.0	33 33.0	6 6.0	58 58.0	3 3.0
	無回答	113 100.0	6 5.3	1 0.9	6 5.3	100 88.5
④健康相 談	利用したことが ある	84 100.0	63 75.0	1 1.2	7 8.3	13 15.5
	利用したことが ない	479 100.0	192 40.1	51 10.6	188 39.2	48 10.0
	知らなかった	66 100.0	22 33.3	4 6.1	40 60.6	0 0.0
	無回答	202 100.0	8 4.0	0 0.0	4 2.0	190 94.1
⑤食事相 談・健診結 果相談	利用したことが ある	65 100.0	44 67.7	2 3.1	9 13.8	10 15.4
	利用したことが ない	494 100.0	197 39.9	58 11.7	192 38.9	47 9.5
	知らなかった	68 100.0	22 32.4	4 5.9	42 61.8	0 0.0
	無回答	204 100.0	8 3.9	0 0.0	4 2.0	192 94.1

「(1) 高齢者福祉サービス」「(2) 介護予防サービス」「(3) 健康増進事業」それぞれのサービスのうち、特に「①役に立つのもっと充実して欲しいもの」、「②利用しにくいと思うもの」について聞いてみると、以下のような回答が寄せられた。

①充実して欲しい物 (括弧内は回答数)

(1)高齢者福祉サービス

①地域包括支援センター (14)

- ・地域包括支援センターの活動内容がよく分からない。もっと、分かるようにしてほしい。
- ・利用したことが無いので分からない。必要なときには利用したい。

②在宅介護支援センター (14)

- ・相談支援業務を充実してほしい。

③高齢者センター (16)

- ・利用希望者が多く必要に応じた場所が取れなくて困っている。
- ・トイレは狭く、ドアを閉めると身動きができないので、広くしてほしい。便座にセンサーを付けてほしい。
- ・活動内容などが分かりづらいので、もっとPRしてほしい。

④福祉給食サービス (13)

- ・一人暮らしだけでなく、高齢者の二世帯も対象にしてほしい。

⑤公衆浴場入浴助成 (7)

- ・家に風呂がない人のため、月6回の風呂券を増やしてほしい。

⑥住宅改修相談 (7)

⑦ひとり暮らし高齢者等訪問 (17)

- ・高齢者の二世帯の家庭にも訪問してほしい。
- ・孤独死を防ぐために、月2回の電話確認をしてほしい。
- ・身体的に問題が生じたときに、迅速な対応ができる体制を整えてほしい。

⑧福祉バス (11)

- ・バスをきめ細かく運行してほしい。
- ・高齢者センターへは、路線バスの利用は不便であるため、福祉バスは大変ありがたい。

⑨ハンディキャブ (10)

- ・ボランティアが自家用車を利用したシステムができないか。また、ボランティアの相互扶助のシステムができないか。

⑩福祉緊急通報システム (12)

- ・各家庭に貸与してもらえたら安心。
- ・一人暮らしだといつ何が起ころか分からなく不安なので、利用しやすいようにしてほしい。

(2)介護予防サービス

①筋力アップ教室 (6)

- ・一ヶ月で終わってしまうので残念。何らかの形で継続してほしい。

②水中運動教室 (5)

③栄養改善教室 (6)

④口腔機能改善教室 (5)

⑤ふれあいサロンでの体操・音楽や健康相談 (9)

- ・屋外での活動を充実してほしい。
- ・年齢に応じた健康及び運動のほかに、色々な講習や講座を行ってほしい。

(3)健康増進事業

①健康診査 (47)

- ・乳がんや子宮がんの健診は 隔年ではなく毎年行ってほしい。
- ・健診記録を蓄積して、健康管理に生かしたシステムを構築してほしい。
- ・1か所ですべて行えるようにしてほしい。
- ・低料金又は無料にしてほしい。
- ・集団健診の回数を増やし、受診しやすくしてほしい。
- ・検査を申し込んだものは外れることなく、受診出来るようにしてほしい。
- ・子宮頸がんだけでなく子宮体ガンもチェック出来るようにしてほしい。
- ・高齢者には、毎年ハガキで知らせてほしい。また、希望する病院で受診できるようにしてほしい。

②訪問指導 (5)

③健康教育 (6)

- ・誰でも参加しやすい日程でやってほしい。

④健康相談 (5)

⑤食事相談・健診結果相談 (6)

- ・特に栄養に関する相談助言がほしい。

◇その他

- ・総合病院 (6)
- ・介護予防のための運動や水泳など講習を常時開催してほしい。
- ・市民温水プールを平日は、無料で使用出来るようにしてほしい。
- ・健康増進のための、室内設備を充実してほしい。
- ・すべての項目を一層充実してほしい。
- ・高齢福祉について、もっとPRしてほしい。
- ・一人暮らし高齢者の精神的ケアが必要。
- ・体力検定や骨量測定を取り入れてほしい。
- ・費用対効果を十分検討して事業を行ってほしい。
- ・使用するのに制約が多く利用しにくい。
- ・職員が高齢者や障害者に対して冷たく、温かみを感じられない。
- ・元気な高齢者が、体力の弱っている高齢者と一緒にお茶を飲んだり話し相手になれる場所がほしい。

②利用しにくいと思うもの (括弧内は回答数)

(1)高齢者福祉サービス

①地域包括支援センター (1)

- ・利用したことがなくサービス内容や利用の仕方が分からない。

②在宅介護支援センター (1)

③高齢者センター (3)

- ・場所が遠い

⑤公衆浴場入浴助成 (5)

- ・浴場の近所に住む人だけ恩恵を受ける。遠い人には意味ない。

⑥住宅改修相談 (2)

- ・費用と時間にかかるので利用しにくい。

⑧福祉バス (5)

- ・特定の人が利用している。受益者負担の精神から利用料を取るべき。
- ・逗子駅までバスを利用するが、バス停が遠くて不便である。
- ・使い方がわからない
- ・路線が表示されてない。
- ・本数が少なく遠いので、利用しにくい。

⑨ハンディキャブ (2)

- ・利用するための手続きがわからない。

(2)介護予防サービス

①筋力アップ教室 (1)

②水中運動教室 (2)

③栄養改善教室 (1)

④口腔機能改善教室 (1)

(3)健康増進事業

①健康診査 (6)

- ・健康診断をもっと簡易にしてほしい。年2回、色々な健康診断を受けているが1回で5千円位かかる。
- ・健診は、日程限定でなくいつでも受診できる体制が望ましい。
- ・受診する場所が遠い。一人で行くのが不安である。
- ・近くの医院で受診したい。
- ・毎年、健診を受けているが、受診券を窓口に取りに行くのはおかしい。好きな場所で健診を受けたい。

②訪問指導 (5)

③健康教育 (5)

- ・出向いて受講するのは大変である。

④健康相談 (3)

- ・健康に不安がある時に相談を受けたい。

◇その他

- ・介護予防のサービスを見ると 80 代を対象にした内容が多いように思うが、70 代を対象とした内容の検討もお願いしたい。
- ・運動になる教室をやってほしい。
- ・予防教室が近くにあれば参加したい。
- ・交通が手段ない。
- ・健康増進事業は会場が遠いが、それに応じて福祉バスの回数を増やしてほしい。
- ・高齢者センターは利用しないが、久木地区からの交通機関が不便なため行けない。
- ・知識は充分あるが、自分自身のやる気の問題である。
- ・講座の内容が頭に入らない。横文字が分からない。
- ・講座アレルギーで、あまり参考にならない。
- ・テレビで知識は得られるし、健診の結果を医師に伺えばそれで十分。
- ・プライバシーが保護されているか心配。
- ・相談や助言だけではなく、本人や家族に代わって実際に行動してくれるのでなければ意味がない。
- ・連絡してすぐ対応してもらえるか、どうかの問題。
- ・総合病院がなく住みづらい。工夫して総合病院を造ってほしい。
- ・型ばかりのアンケート行っても、実行できなければ意味が無い。

<生きがいデイサービスへの参加意向>

(5)市では、身近な地域で介護予防や健康づくり活動ができるふれあいサロンのような場づくり(「生きがいデイサービス事業※」)を進めています。

①そんな場があれば、あなたは参加しますか。

- 1. 是非参加してみたい
- 2. 気が向いたとき参加できるとよい
- 3. 担い手として支えていきたい
- 4. 参加したくない・関心がない
- 5. わからない

②そこでは、どんなことができるといいと思いますか。利用意向がない場合も、利用者の身になってお答えください。(あてはまるものすべてに○)

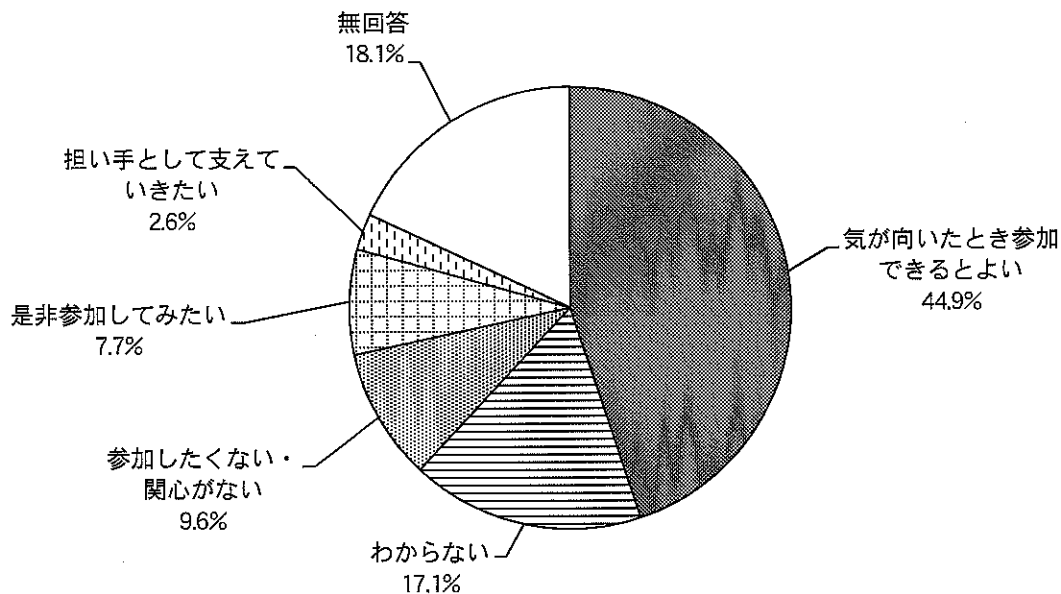
- 1. 食事
- 2. お茶のみ
- 3. 軽い体操
- 4. 歌や音楽
- 5. 趣味の活動
- 6. パソコンなどの講習
- 7. 世代間交流
- 8. 血圧などのチェック
- 9. 健康相談
- 10. 介護保険など各種制度利用についての相談
- 11. まちのためになるような貢献的活動
- 12. その他 ()
- 13. わからない

市の<生きがいデイサービスへの参加意向>については、「気が向いたとき参加できるとよい」が44.9%と最も多く、次いで「わからない」17.1%、「参加したくない・関心がない」9.6%、「是非参加してみたい」7.7%と続いている。

「是非参加してみたい」及び「気が向いたとき参加できるとよい」の2つを合わせた回答は50%を超えており、参加意向の高さがうかがえる。

①生きがいデイサービスへの参加意向

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	是非参加してみたい	64	7.7
2	気が向いたとき参加できるとよい	373	44.9
3	担い手として支えていきたい	22	2.6
4	参加したくない・関心がない	80	9.6
5	わからない	142	17.1
	無回答	150	18.1
	全体(n)	831	100.0



年齢別でみると、「気が向いたとき参加できるとよい」が年齢層が低くなるほど高い割合となっている。

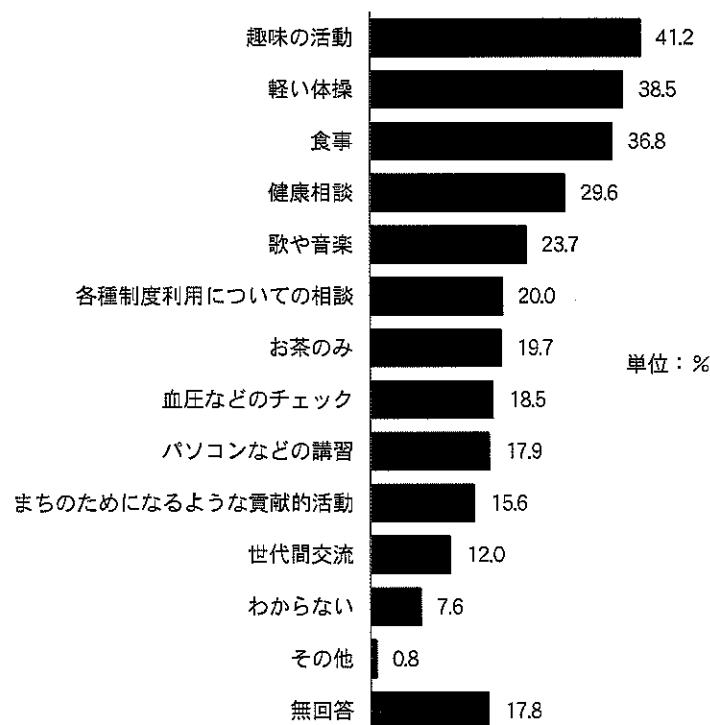
上段：人
下段：%

		全体(n)	①生きがいデイサービスへの参加意向					無回答
			是非参加してみたい	気が向いたとき参加できるとよい	担い手として支えていきたい	参加したくない・関心がない	わからない	
合計		831 100.0	64 7.7	373 44.9	22 2.6	80 9.6	142 17.1	150 18.1
年齢	65～69歳	255 100.0	16 6.3	124 48.6	7 2.7	27 10.6	48 18.8	28 11.0
	70～74歳	222 100.0	23 10.4	102 45.9	7 3.2	17 7.7	38 17.1	35 15.8
	75～79歳	178 100.0	11 6.2	80 44.9	5 2.8	20 11.2	23 12.9	37 20.8
	80～84歳	111 100.0	12 10.8	43 38.7	3 2.7	8 7.2	19 17.1	25 22.5
	85～89歳	41 100.0	2 4.9	13 31.7	0 0.0	6 14.6	9 22.0	11 26.8
	90歳以上	8 100.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	2 25.0
	無回答	16 100.0	0 0.0	9 56.3	0 0.0	0 0.0	3 18.8	4 25.0
居住圏域	東部圏域	406 100.0	36 8.9	182 44.8	9 2.2	32 7.9	74 18.2	71 17.5
	西部圏域	402 100.0	28 7.0	181 45.0	13 3.2	46 11.4	65 16.2	63 15.7
	無回答	23 100.0	0 0.0	10 43.5	0 0.0	2 8.7	3 13.0	8 34.8

〈生きがいデイサービスの希望メニュー〉については、「趣味の活動」が41.2%と最も多く、次いで「軽い体操」38.5%、「食事」36.8%、「健康相談」29.6%、「歌や音楽」23.7%、「各種制度利用についての相談」20.0%と続いており、自身の“楽しみ”に対するニーズの高さがうかがえる。

生きがいデイサービスでの希望メニュー（複数回答）

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	食事	306	36.8
2	お茶のみ	164	19.7
3	軽い体操	320	38.5
4	歌や音楽	197	23.7
5	趣味の活動	342	41.2
6	パソコンなどの講習	149	17.9
7	世代間交流	100	12.0
8	血圧などのチェック	154	18.5
9	健康相談	246	29.6
10	各種制度利用についての相談	166	20.0
11	まちのためになるような貢献的活動	130	15.6
12	その他	7	0.8
13	わからない	63	7.6
	無回答	148	17.8
	全体(n)	831	100.0



年齢別にみると、40%以上の高い割合を占めているものは、「65～69歳」における「軽い体操」及び「趣味の活動」、「70～74歳」における「趣味の活動」、「80～84歳」における「食事」及び「趣味の活動」、「85～89歳」における「食事」である。

参加意向別にみると、「是非参加してみたい」「気が向いたとき参加できるとよい」といった参加意向のある人では「食事」、「軽い体操」、「趣味の活動」、「健康相談」で高い割合となっている。また、「担い手として支えていきたい」は「趣味の活動」で77.3%と高い割合を示している。

上段：人
下段：%

		生きがいデイサービスでの希望メニュー														
		食事	お茶のみ	軽い体操	歌や音楽	趣味の活動	習い事	パソコンなどの講座	世代間交流	クイズ	血圧などのチェック	健康相談	各種制度利用についての相談	まちなのために ような貢献的活動	その他	わからない
合計		831	306	164	320	197	342	149	100	154	246	166	130	7	63	148
		100.0	36.8	19.7	38.5	23.7	41.2	17.9	12.0	18.5	29.6	20.0	15.6	0.8	7.6	17.8
年齢	65～69歳	255	94	61	109	59	122	52	41	50	73	59	57	3	18	31
		100.0	36.9	23.9	42.7	23.1	47.8	20.4	16.1	19.6	28.6	23.1	22.4	1.2	7.1	12.2
	70～74歳	222	83	39	86	48	93	40	23	30	63	38	36	2	18	40
		100.0	37.4	17.6	38.7	21.6	41.9	18.0	10.4	13.5	28.4	17.1	16.2	0.9	8.1	18.0
	75～79歳	178	60	31	64	53	67	38	23	33	53	32	26	1	13	38
		100.0	33.7	17.4	36.0	29.8	37.6	21.3	12.9	18.5	29.8	18.0	14.6	0.6	7.3	21.3
	80～84歳	111	48	21	44	22	46	13	9	31	43	23	8	0	4	22
	100.0	43.2	18.9	39.6	19.8	41.4	11.7	8.1	27.9	38.7	20.7	7.2	0.0	3.6	19.8	
85～89歳	41	17	9	12	8	8	3	4	6	8	8	2	0	6	9	
	100.0	41.5	22.0	29.3	19.5	19.5	7.3	9.8	14.6	19.5	19.5	4.9	0.0	14.6	22.0	
90歳以上	8	2	1	2	3	3	1	0	0	2	1	0	0	2	2	
	100.0	25.0	12.5	25.0	37.5	37.5	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	25.0	25.0	
無回答	16	2	2	3	4	3	2	0	4	4	5	1	1	2	6	
	100.0	12.5	12.5	18.8	25.0	18.8	12.5	0.0	25.0	25.0	31.3	6.3	6.3	12.5	37.5	
参加意向	是非参加してみたい	64	37	21	41	22	37	15	11	18	32	24	13	0	0	0
		100.0	57.8	32.8	64.1	34.4	57.8	23.4	17.2	28.1	50.0	37.5	20.3	0.0	0.0	0.0
	気が向いたとき参加できるとよい	373	178	96	193	119	202	86	52	88	150	106	69	4	4	13
		100.0	47.7	25.7	51.7	31.9	54.2	23.1	13.9	23.6	40.2	28.4	18.5	1.1	1.1	3.5
	担い手として支えていきたい	22	11	8	12	10	17	10	10	8	5	1	10	0	0	0
		100.0	50.0	36.4	54.5	45.5	77.3	45.5	45.5	36.4	22.7	4.5	45.5	0.0	0.0	0.0
	参加したくない・関心がない	80	20	10	15	10	21	10	9	12	13	7	11	1	9	18
	100.0	25.0	12.5	18.8	12.5	26.3	12.5	11.3	15.0	16.3	8.8	13.8	1.3	11.3	22.5	
わからない	142	40	19	37	22	42	20	12	12	34	19	15	2	50	10	
	100.0	28.2	13.4	26.1	15.5	29.6	14.1	8.5	8.5	23.9	13.4	10.6	1.4	35.2	7.0	
無回答	150	20	10	22	14	23	8	6	16	12	9	12	0	0	107	
	100.0	13.3	6.7	14.7	9.3	15.3	5.3	4.0	10.7	8.0	6.0	8.0	0.0	0.0	71.3	

(2) 介護保険について

<介護保険を利用している家族の有無>

問17 介護保険についておたずねします。

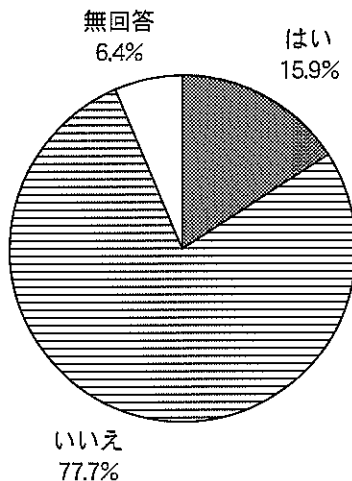
(1) あなたのご家族で、介護保険を利用している(いた)方はいますか。

1. はい 2. いいえ

<介護保険を利用している家族の有無>について聞いたところ、「はい」が15.9%、「いいえ」が77.7%であった。

介護保険を利用している家族の有無

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	はい	132	15.9
2	いいえ	646	77.7
	無回答	53	6.4
	全体(n)	831	100.0



		全体(n)	はい	いいえ	無回答
合計		831	132	646	53
		100.0	15.9	77.7	6.4
年齢	65～69歳	255	47	199	9
		100.0	18.4	78.0	3.5
	70～74歳	222	35	172	15
		100.0	15.8	77.5	6.8
	75～79歳	178	24	140	14
		100.0	13.5	78.7	7.9
	80～84歳	111	15	86	10
		100.0	13.5	77.5	9.0
85～89歳	41	7	31	3	
	100.0	17.1	75.6	7.3	
90歳以上	8	1	6	1	
	100.0	12.5	75.0	12.5	
無回答	16	3	12	1	
	100.0	18.8	75.0	6.3	

(3) 現在利用しているサービスの評価
 <在宅サービスの満足度>

(2) あなたは、要介護認定の申請をしたことはありますか。

1. ない 2. ある 3. わからない

(3) あなたは今後、介護が必要になった場合、要介護認定申請をしますか。

1. する 2. しない 3. わからない

(4) 【「1. する」とお答えの方におたずねします。】

①主にどんなサービスを利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 施設に入所したい 2. ホームヘルプを利用したい
 3. デイサービスを利用したい 4. ショートステイを利用したい
 5. 住宅改修をしたい 6. 福祉用具を活用したい
 7. 入浴介助を受けたい 8. リハビリを受けたい
 9. 訪問看護を受けたい 10. 移送サービスを利用したい
 11. その他 () 12. まだ具体的には決まっていない

(5) 【問17(3)で「2. しない」とお答えの方におたずねします。】

①介護が必要になっても、要介護認定の申請をしない理由はなんですか。

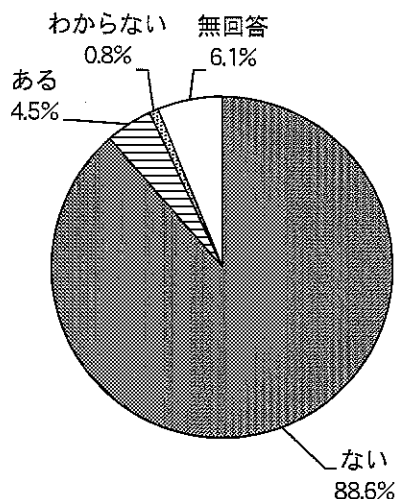
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族に介護してもらいたいから 2. 利用手続きが複雑で面倒だから
 3. 利用者負担が大変だから 4. 利用したいサービスがないから
 5. 他人に介入されたくないから 6. その他 ()

<要介護認定申請経験の有無>について聞いたところ、「ない」が88.6%、「ある」が4.5%であった。

要介護認定申請経験の有無

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	ない	736	88.6
2	ある	37	4.5
3	わからない	7	0.8
	無回答	51	6.1
	全体(n)	831	100.0



年齢別では、すべての項目において「ない」が75%以上の高い割合を占めているが、「75～79歳」及び「80～84歳」において「ある」の割合が他と比べやや高くなっている。

現在の健康状態別にみると、健康状態が悪くなるにつれ「ある」の割合が高くなっている。

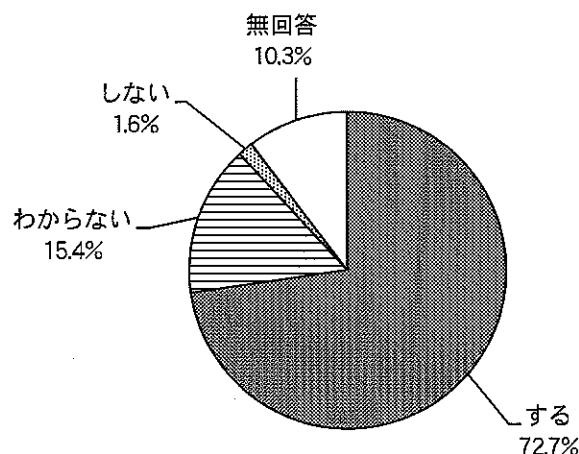
上段：人
下段：%

		全体(n)	要介護認定申請経験の有無			
			ない	ある	わからない	無回答
合計		831	736	37	7	51
		100.0	88.6	4.5	0.8	6.1
年齢	65～69歳	255	235	8	4	8
		100.0	92.2	3.1	1.6	3.1
	70～74歳	222	199	6	1	16
		100.0	89.6	2.7	0.5	7.2
	75～79歳	178	151	13	1	13
		100.0	84.8	7.3	0.6	7.3
	80～84歳	111	95	8	0	8
	100.0	85.6	7.2	0.0	7.2	
85～89歳	41	35	2	0	4	
	100.0	85.4	4.9	0.0	9.8	
90歳以上	8	6	0	1	1	
	100.0	75.0	0.0	12.5	12.5	
無回答	16	15	0	0	1	
	100.0	93.8	0.0	0.0	6.3	
現在の健康状態	とても健康で、気になるところはない	107	98	3	0	6
		100.0	91.6	2.8	0.0	5.6
	気になるところはあるが、年相応にまあまあ健康だと思う	601	546	26	4	25
		100.0	90.8	4.3	0.7	4.2
	何となく調子がよくない	61	48	6	1	6
	100.0	78.7	9.8	1.6	9.8	
かなり調子がわるい	12	9	2	0	1	
	100.0	75.0	16.7	0.0	8.3	
無回答	50	35	0	2	13	
	100.0	70.0	0.0	4.0	26.0	

今後の〈要介護認定の申請意向〉については、「する」が72.7%、「しない」が1.6%、「わからない」が15.4%であった。

要介護認定の申請意向

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	する	604	72.7
2	しない	13	1.6
3	わからない	128	15.4
	無回答	86	10.3
	全体(n)	831	100.0



年齢別では、年齢層が低くなるにつれ「する」の割合が高くなっている。

現在の健康状態別にみると、すべての項目において「する」の割合が最も多くなっているが、「とても健康で、気になるところはない」及び「かなり調子がわるい」においては「わからない」の割合も他に比べやや高くなっている。

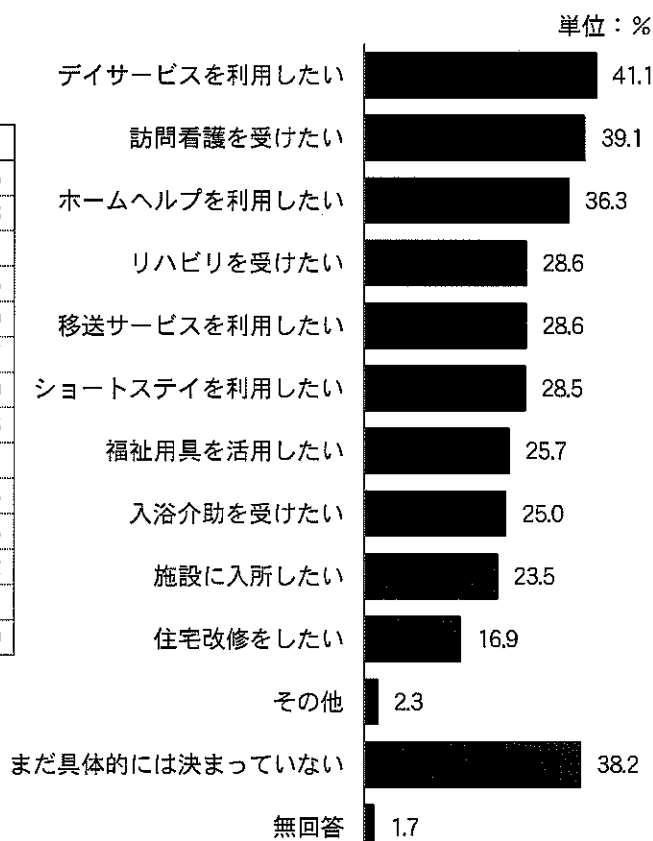
上段：人
下段：%

		全体(n)	要介護認定の申請意向			
			する	しない	わからない	無回答
合計		831	604	13	128	86
		100.0	72.7	1.6	15.4	10.3
年齢	65～69歳	255	192	2	42	19
		100.0	75.3	0.8	16.5	7.5
	70～74歳	222	167	4	30	21
		100.0	75.2	1.8	13.5	9.5
	75～79歳	178	127	0	28	23
		100.0	71.3	0.0	15.7	12.9
	80～84歳	111	79	2	18	12
100.0		71.2	1.8	16.2	10.8	
85～89歳	41	26	4	7	4	
	100.0	63.4	9.8	17.1	9.8	
90歳以上	8	4	1	1	2	
	100.0	50.0	12.5	12.5	25.0	
無回答		16	9	0	2	5
		100.0	56.3	0.0	12.5	31.3
現在の健康状態	とても健康で、気になるところはない	107	70	4	20	13
		100.0	65.4	3.7	18.7	12.1
	気になるところはあるが、年相応にまあまあ健康だと思う	601	459	7	88	47
		100.0	76.4	1.2	14.6	7.8
	何となく調子がよくない	61	42	0	9	10
100.0		68.9	0.0	14.8	16.4	
かなり調子がわるい	12	8	0	3	1	
	100.0	66.7	0.0	25.0	8.3	
無回答		50	25	2	8	15
		100.0	50.0	4.0	16.0	30.0
要介護認定申請の有無	ない	736	570	13	115	38
		100.0	77.4	1.8	15.6	5.2
	ある	37	26	0	5	6
		100.0	70.3	0.0	13.5	16.2
わからない		7	4	0	3	0
		100.0	57.1	0.0	42.9	0.0
無回答		51	4	0	5	42
		100.0	7.8	0.0	9.8	82.4

要介護認定の申請を「する」と答えた 604 人に対して、〈主に利用したいサービス〉について聞いたところ、「デイサービスを利用したい」が 41.1%と最も多く、次いで「訪問看護を受けたい」39.1%、「ホームヘルプを利用したい」36.3%と続いている。

①主に利用したいサービス（複数回答）

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	施設に入所したい	142	23.5
2	ホームヘルプを利用したい	219	36.3
3	デイサービスを利用したい	248	41.1
4	ショートステイを利用したい	172	28.5
5	住宅改修をしたい	102	16.9
6	福祉用具を活用したい	155	25.7
7	入浴介助を受けたい	151	25.0
8	リハビリを受けたい	173	28.6
9	訪問看護を受けたい	236	39.1
10	移送サービスを利用したい	173	28.6
11	その他	14	2.3
12	まだ具体的には決まっていない	231	38.2
	無回答	10	1.7
	全体(n)	604	100.0



同居状況別にみると、「ひとり暮らし」では「ホームヘルプを利用したい」が 33.3%と最も多く、次いで「訪問看護を受けたい」32.0%、「デイサービスを利用したい」30.7%と続くが、「まだ具体的には決まっていない」も 37.3%と多い。

また、「同居家族がいる」では「デイサービスを利用したい」が 42.0%と最も多く、次いで「訪問看護を受けたい」39.5%、「ホームヘルプを利用したい」35.9%と続いているが、「まだ具体的には決まっていない」も 38.3%と多い。

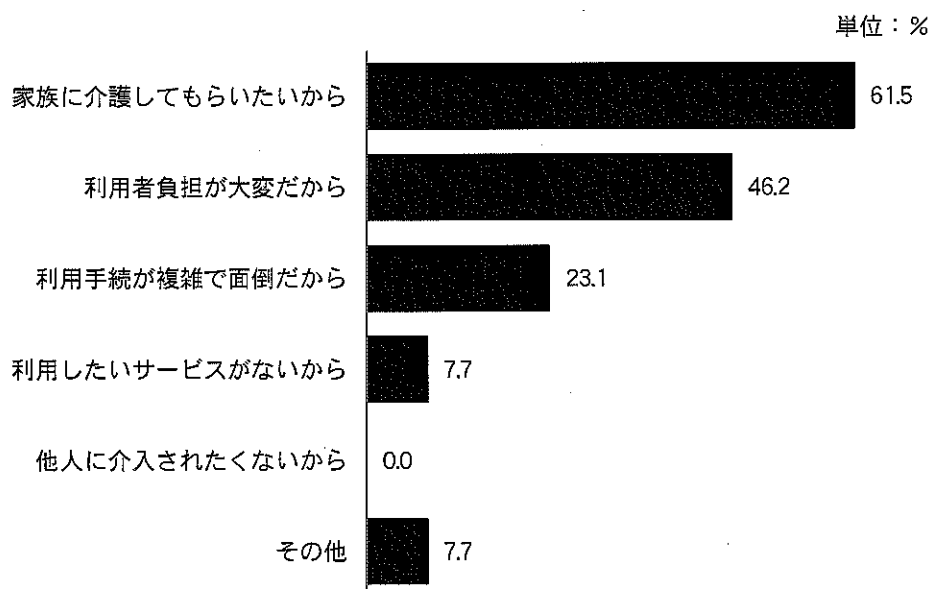
上段：人
下段：%

	全体 (n)	①主に利用したいサービス													無回答
		施設に入所したい	ホームヘルプを利用したい	デイサービスを利用したい	ショートステイを利用したい	住宅改修をしたい	福祉用具を活用したい	入浴介助を受けたい	リハビリを受けたい	訪問看護を受けたい	移送サービスを利用したい	その他	まだ具体的には決まっていない		
合計	604	142	219	248	172	102	155	151	173	236	173	14	231	10	
	100.0	23.5	36.3	41.1	28.5	16.9	25.7	25.0	28.6	39.1	28.6	2.3	38.2	1.7	
同居状況	ひとり暮らし	75	25	23	16	11	15	14	20	24	18	4	28	4	
		100.0	22.7	33.3	30.7	21.3	14.7	20.0	18.7	26.7	32.0	5.3	37.3	5.3	
	同居家族がいる	488	116	175	205	144	81	130	122	138	193	9	187	6	
	100.0	23.8	35.9	42.0	29.5	16.6	26.6	25.0	28.3	39.5	1.8	38.3	1.2		
無回答	41	9	19	20	12	10	10	15	15	19	14	1	16	0	
	100.0	22.0	46.3	48.8	29.3	24.4	24.4	36.6	36.6	46.3	34.1	2.4	39.0	0.0	

一方、要介護認定申請を「しない」と答えた13人に対して<認定申請をしない理由>について聞いたところ、「家族に介護してもらいたいから」が61.5%と最も多く、次いで「利用者負担が大変だから」46.2%、「利用手続きが複雑で面倒だから」23.1%、「利用したいサービスがないから」7.7%となっている。

認定申請をしない理由（複数回答）

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	家族に介護してもらいたいから	8	61.5
2	利用手続きが複雑で面倒だから	3	23.1
3	利用者負担が大変だから	6	46.2
4	利用したいサービスがないから	1	7.7
5	他人に介入されたくないから	0	0.0
6	その他	1	7.7
	全体(n)	13	100.0



(4) 相談先

<相談しやすい窓口>

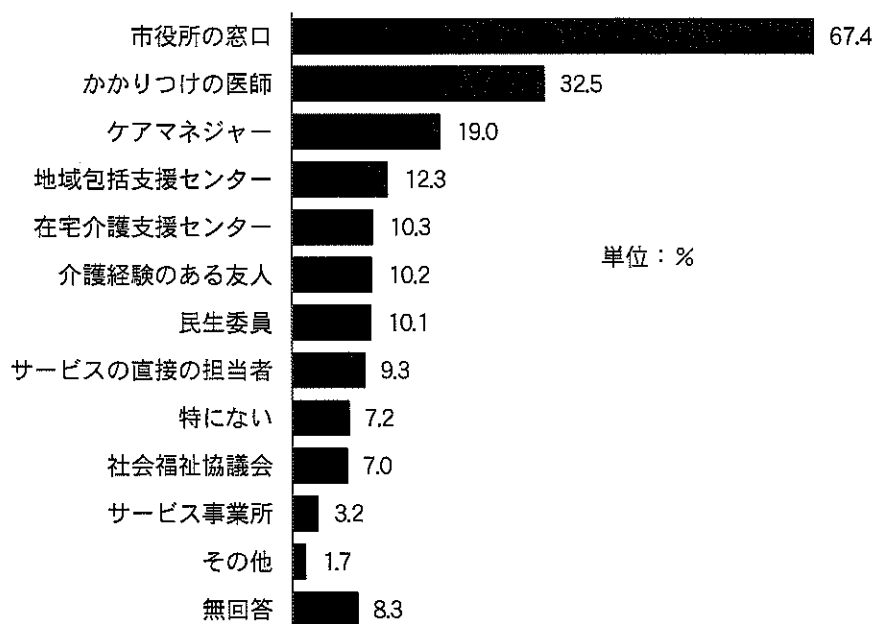
問18 介護保険制度や高齢者の各種保健福祉制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいと思われるのはどこ(誰)ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 市役所の窓口 | 2. ケアマネジャー |
| 3. 地域包括支援センター | 4. 在宅介護支援センター |
| 5. 民生委員 | 6. かかりつけの医師 |
| 7. サービスの直接の担当者 | 8. サービス事業所 |
| 9. 社会福祉協議会 | 10. 介護経験のある友人 |
| 11. その他() | 12. 特にない |

保険制度や各種保険福祉制度について<相談しやすい窓口>については、「市役所の窓口」が67.4%と最も多く、次いで「かかりつけの医師」32.5%、「ケアマネジャー」19.0%、「地域包括支援センター」12.3%、「在宅介護支援センター」10.3%、「介護経験のある友人」10.2%、「民生委員」10.1%と続いている。

介護・福祉サービスの相談先(複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	市役所の窓口	560	67.4
2	ケアマネジャー	158	19.0
3	地域包括支援センター	102	12.3
4	在宅介護支援センター	86	10.3
5	民生委員	84	10.1
6	かかりつけの医師	270	32.5
7	サービスの直接の担当者	77	9.3
8	サービス事業所	27	3.2
9	社会福祉協議会	58	7.0
10	介護経験のある友人	85	10.2
11	その他	14	1.7
12	特にない	60	7.2
	無回答	69	8.3
	全体(n)	831	100.0



性別で大きな差はみられないが、「女性」の「民生委員」「かかりつけの医師」「介護経験のある友人」が「男性」に比べ高い値を示している。

年齢別でみると、「65～89歳」までは「市役所の窓口」及び「かかりつけの医師」が高い割合を示しているが、「90歳以上」では「ケアマネジャー」「かかりつけの医師」が高い割合を示している。

上段：人
下段：%

		全体 (n)	介護・福祉サービスの相談先												
			市役所の窓口	ケアマネジャー	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	民生委員	かかりつけの医師	担当サービスの直接の担当者	サービス事業所	社会福祉協議会	介護経験のある友人	その他	特になし	無回答
合計		831	560	158	102	86	84	270	77	27	58	85	14	60	69
		100.0	67.4	19	12.3	10.3	10.1	32.5	9.3	3.2	7	10.2	1.7	7.2	8.3
性別	男	353	249	65	44	35	29	107	33	11	29	29	6	22	27
		100.0	70.5	18.4	12.5	9.9	8.2	30.3	9.3	3.1	8.2	8.2	1.7	6.2	7.6
	女	463	304	89	53	45	53	160	43	14	27	54	6	38	39
		100.0	65.7	19.2	11.4	9.7	11.4	34.6	9.3	3.0	5.8	11.7	1.3	8.2	8.4
	無回答	15	7	4	5	6	2	3	1	2	2	2	2	0	3
		100.0	46.7	26.7	33.3	40.0	13.3	20.0	6.7	13.3	13.3	13.3	13.3	0.0	20.0
年齢	65～69歳	255	163	56	37	29	16	75	39	9	21	37	5	21	20
		100.0	63.9	22.0	14.5	11.4	6.3	29.4	15.3	3.5	8.2	14.5	2.0	8.2	7.8
	70～74歳	222	162	45	35	27	18	79	16	8	17	22	1	13	15
		100.0	73.0	20.3	15.8	12.2	8.1	35.6	7.2	3.6	7.7	9.9	0.5	5.9	6.8
	75～79歳	178	121	21	15	13	26	61	12	4	9	14	3	11	17
		100.0	68.0	11.8	8.4	7.3	14.6	34.3	6.7	2.2	5.1	7.9	1.7	6.2	9.6
	80～84歳	111	76	22	12	12	18	34	8	2	9	10	2	8	10
	100.0	68.5	19.8	10.8	10.8	16.2	30.6	7.2	1.8	8.1	9.0	1.8	7.2	9.0	
85～89歳	41	27	7	0	0	4	13	0	1	1	0	1	6	3	
	100.0	65.9	17.1	0.0	0.0	9.8	31.7	0.0	2.4	2.4	0.0	2.4	14.6	7.3	
90歳以上	8	3	4	0	0	0	4	1	1	0	0	0	0	1	
	100.0	37.5	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	
	無回答	16	8	3	3	5	2	4	1	2	1	2	2	1	3
		100.0	50.0	18.8	18.8	31.3	12.5	25.0	6.3	12.5	6.3	12.5	12.5	6.3	18.8
居住圏域	東部圏域	406	281	72	47	37	41	126	29	10	30	36	6	28	29
		100.0	69.2	17.7	11.6	9.1	10.1	31.0	7.1	2.5	7.4	8.9	1.5	6.9	7.1
	西部圏域	402	267	82	52	43	42	137	47	15	27	46	6	32	35
	100.0	66.4	20.4	12.9	10.7	10.4	34.1	11.7	3.7	6.7	11.4	1.5	8.0	8.7	
	無回答	23	12	4	3	6	1	7	1	2	1	3	2	0	5
		100.0	52.2	17.4	13.0	26.1	4.3	30.4	4.3	8.7	4.3	13.0	8.7	0.0	21.7

問19 あなたが、現在心配なこと・困っていることはなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

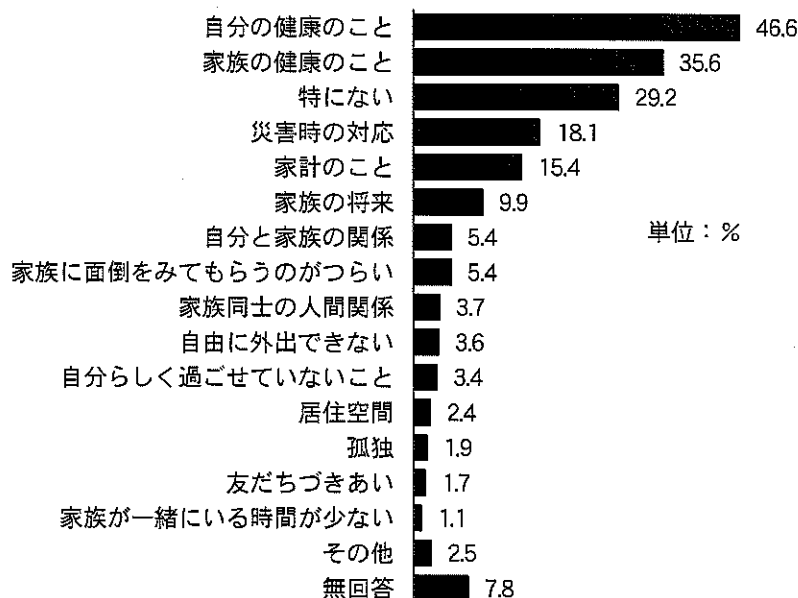
- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 自分の健康のこと | 2. 家族の健康のこと |
| 3. 家計のこと | 4. 自分と家族の関係 |
| 5. 友だちづきあい | 6. 家族同士の間関係 |
| 7. 孤独 | 8. 自由に外出できない |
| 9. 家族に面倒をみてもらうのがつらい | 10. 家族と一緒にいる時間が少ない |
| 11. 居住空間 (狭い・段差・プライバシー等) | 12. 家族の将来 (就職や結婚など) |
| 13. 災害時の対応 | 14. 自分らしく過ごせていないこと |
| 15. その他 () | 16. 特にな |

現在心配なこと・困っていることについて聞いてみると、「自分の健康のこと」が46.6%と最も多く、次いで「家族の健康のこと」35.6%となっており、健康に対する意識の高さがうかがえる。

その他では、「災害時の対応」18.1%、「家計のこと」15.4%と続いているが、「特にな」も29.2%となっている。

現在心配なこと・困っていること (複数回答)

No.	カテゴリー名	回答者数	%
1	自分の健康のこと	387	46.6
2	家族の健康のこと	296	35.6
3	家計のこと	128	15.4
4	自分と家族の関係	45	5.4
5	友だちづきあい	14	1.7
6	家族同士の間関係	31	3.7
7	孤独	16	1.9
8	自由に外出できない	30	3.6
9	家族に面倒をみてもらうのがつらい	45	5.4
10	家族と一緒にいる時間が少ない	9	1.1
11	居住空間 (狭い・段差・プライバシー等)	20	2.4
12	家族の将来 (就職や結婚など)	82	9.9
13	災害時の対応	150	18.1
14	自分らしく過ごせていないこと	28	3.4
15	その他	21	2.5
16	特にな	243	29.2
	無回答	65	7.8
	全体(n)	831	100.0



6 意見（自由記述）

問20 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度全般の改善についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

市の高齢者福祉サービス全般について

- 介護認定に時間がかかり過ぎる。
- 認定基準が日常生活の状態と合っていない。高齢化していくのでその辺も加味してほしい。
- 手続きが大変で老齢介護の人は申請する暇もない。
- 高額介護費の申請が忙しくてできなかった。申請する期間が決まっていて無効になったので、今後そのようなことにならないように配慮してほしい。
- ショートステイやデイサービスの手続きを簡略してほしい。利用する際、健康診断を保険料で賄ってほしい。ホームに早く入所できるようにしてほしい。
- 年と共に仕事が苦痛になってきた。一番困るのは食事の支度。
- 一人暮らしが標準世帯となりつつある。福祉全体の中で重点的に組み入れるようにしてほしい。
- 高齢になると家事が大変。規則にとらわれず支援してほしい。
- 孤独死対策を検討してください。
- 昼間、気分転換にもなるので、高齢者がくつろげる場所を近くに作ってほしい。
- 予防トレーニング等ができる施設がほしい。
- ふれあいサロンが近くにあれば足の不自由な人でも利用が出来、閉じこもりを少なくし、生きがいを感じることに繋がるのではないかと。是非場所を増やしてほしい。
- 高齢者センター、沼間公民館を利用している。掃除も行き届いた場所で体操など、気持ちよく利用できる。毎年、高齢者が増え、市の福祉も大変だと思う。
- 逗子市は高齢者が多いのにサービスが行き届いていないと思う。高齢になっても一度も民生委員の訪問もない。
- 高齢者の保健は、特に精神面の対応が大切である。
- 補聴器や保護を受け取る前に死去する人がいると聞くと、行政はスピードと懇切丁寧なことが第一。市民に喜ばれることが住んでよかったと思われることにつながるの、ぜひ役所仕事と言われない対応を切にお願いしたい。

施設について

- 介護老人福祉施設が市内には二箇所しかない。なるべく市内在住の人を対象にしてほしい。
- 介護老人福祉施設に待機者無しで入れるように大拡充を是非お願いしたい。
- 自宅で介護が出来なくなった時、介護老人福祉施設になかなか入所できないとのことなので、これから高齢者が増えるので心配している。
- 介護老人福祉施設は、入所が難関だと聞いている。税金をたくさん納めているので、「施設」をたくさん建設してほしい。
- 認知症になって家族が面倒を見きれなくなったときに、面倒を見てくれる施設を作ってもらいたい。
- 米軍住宅返還用地を活用して介護対応施設を充実してほしい。病院、特養ホーム、有料老人ホームなど。
- 介護老人福祉施設が不足している。病院建設予定地に老人ホームを建設してもらいたい。
- 高専賃住宅のように低費用で生活出来るものを希望する。総合病院が市内に無いのが心配。
- 障害者のための福祉施設が皆無なので何とかしてほしい。

特定の事業(サービスの内容など)について

◇交通に関する支援(バスなど)について

- 高齢者センター行きのバスが満員で乗れない時が多い。午前中はもっと回数を増やしてほしい。
- 高齢者が買物や市役所など自由に乗り降りできるミニバスなどを拡充してほしい。
- バスサービスを拡充して図書館や公園駅買い物などに行けるように希望します。講習会、訪問相談など型どおりのサービスはニーズに合わせるのが難しい。尊厳を保ちつつ精神は自由に過ごしたい。必要なのは肉体的衰えから意欲があってもできないことへの支援。
- 高齢者の健康増進のため市内のバスを無料で利用できるようにしてほしい。移動することにより買い物などで商店も活性化すると思う。

◇その他

- 福祉給食の拡充を希望する。
- おむつの支援の範囲内で、薄手の手袋も選べたらうれしい。
- 高齢者一人世帯に対するサービスは充実しているが、高齢者二人世帯に対するものが少ない。
- 後期高齢者の健診ができるようならうれしい。
- 1度特定健診を受けたが、もう少しスムーズに出来ないものかと感じた。
- 介護保険の不十分な部分を手伝いたい機会がない。
- サービスの中身を広げず、重要なものから着手されたい。
- 気楽に利用出来る体制作りをお願いしたい。
- 高齢者が一日に摂取するカロリー量、脳を活性化する食事の取り方を教えてほしい。

経済的なことについて

- 介護保険料をなくしてほしい。
- 低料金の市内又は近隣施設の介護施設を紹介してもらいたい。介護保険料が高すぎる。収入の少ない年金生活者としてつらい。
- 自宅での介護を希望しているが、それには住宅を全面的に改修する必要がある。改修工事費が高額になるため、躊躇せざるを得ない。

窓口などの対応

- 窓口が複雑で分かりづらい。高齢者専用窓口を設け、完結できるようにしてほしい。
- 窓口へ相談に行っても、委託業者のプリントを渡すだけなら窓口の人間はいらない。プリントを置くだけでよい。もう少し血の通った窓口にしてほしい。
- 担当課で気持ちよく親身に対応する心のゆとりがありますか。以前、非常に不愉快な思いをした事がある。今後、一層のご努力を期待したい。
- 市の窓口では、事務的でなくプロとして相談に載ってもらい、適切にアドバイスをしてもらいたい。
- 窓口の対応サービスはとても良いが、国の制度によって拒否されることが多い。地方自治の必要性を訴えてほしい。
- 市役所へ相談に行ったが、大変親切に細やかな説明をいただき有り難く思った。一人暮らしなので、困ったときには市の窓口へ相談に伺いたい。

広報、情報提供、相談など

- アンケート同封の「高齢者福祉サービス一覧」は大変参考になる。
- 「高齢者福祉サービス一覧」のようなカラー刷のパンフレットを、65歳になった配布してほしい。
- 積極的に調べないことも悪いが、市からの情報が少ない。「高齢者福祉サービス一覧」を見て、知らなかったことが多すぎた。
- 「高齢者福祉サービス一覧」は抽象的で理解が難しい。
- 福祉サービスや介護保険制度についてあまり知識がない。もっと、PRしてほしい。
- 利用してないので良くわからないが、広報以外に情報の入手方法がないのか。
- 今後のために、福祉サービスの実情や連絡先等の情報を知っておきたい。
- 福祉サービスや介護保険の内容は複数で高齢者にとって理解しにくい。繰り返し分かりやすく説明する機会を設けてほしい。
- 将来、必要とする事柄なのでもっと真剣に考えたい。介護について学ぶ機会はあるのか。
- 福祉サービスを受ける以前に軽度のボランティア活動をしたいが、どんな内容のものがあるか広報等で知らせてほしい。
- 今回の様なアンケート調査は大変良い。この結果を公開してほしい。また、今後の計画を示してほしい。

わからない等

- 介護を受けたことがないので、施設やサービス内容についてよく分からない。デイサービス、ショートステイ、ホームヘルパーの区別、老人ホームや特別養護老人ホームがどこまで介護してもらえるのか分からない。
- 老人ホームなどの入所手続きが出来ない時、どこへ相談すればよいのか。
- 足が不自由になったらゴミ出しが困難となる。そのような相談をどこにしたらよいのか。

期待、感謝など

◇期待など

- この調査票に目を通し逗子市の活動内容を知ることができた。逗子市は、福祉活動が充実していると言われるよう、期待している。
- 年々高齢者の数が増加し行政の皆さんに支えて貰って居る事に感謝している。この様なアンケートを提出することで行政の改善が進むことを期待する。
- 行政の福祉事業と住民の連携支援により、心豊かに老後を過ごせる街になってほしい。
- 一人暮らしでも安心して生活できる市にしてほしい。
- 充実したサービスの提供をお願いしたい。
- 介護保険制度そのものの存在すら勉強不足でした。現状掲げている項目の更なる一層の充実をお願いする。
- 高齢者に親切を。常時見守りを。
- 高齢者が福祉サービスを色々受けられることを知らずにいた。自分の始末は自分でできるよう教育されてきた年代にとってはありがたい制度だと思う。一方、サービスを受けねば損という思想が生じないか心配する。
- 介護が必要なとき、充実した施設や介護費用など安心して過ごせるように考慮してほしい。
- 有料老人ホームについては、市が介入しないのが原則のようである。信頼性について個人が判断することは難しいので、もう少し公的な介入を深めてほしい。

- 高齢の親をも持つ身なので、認知症が現れたら家族の負担にならないように介護老人福祉施設をたくさん作っていただきたい。費用は、年金で賄える程度にしてほしい。
- 認知症の人にでも血の通った暖かい気持ちでサービス提供ほしい。高齢者と言う名称は世界中で日本だけではないでしょうか。差別のない新しい名称を希望する。
- 現在、親の介護をしているので、自分のことを考える余裕がない。何年後か自分の時はどうなっているのか不安。そうならない様よろしく願います。
- 将来お世話になる可能性があり、各種サービスの充実に努力してほしい。逗子市が高齢者にやさしい街といわれるように頑張ってください。

◇感謝など

- 市が高齢者福祉サービスに努力していることに大変感謝している。高齢者も努力して協力して、より良い介護にしたいと願っている。
- 高齢者センター、沼間公民館を利用している。掃除も行き届いた場所で体操など、気持ちよく利用できる。毎年、高齢者が増え、市の福祉も大変だと思う。
- 人は一人では生きられない。介護をしてくれる人に頭が下がります。いろいろ考えてくださりありがとうございます。
- このアンケートにより介護の相談をする所がわかりました。年金生活のため、お金がかからない所を利用したいと思う。
- 今は健康で日常的に支障はないが、介護を受ける日が来ると思う。市の色々なサービスには感謝する。
- デイサービスを利用しているが、その都度要求に応じてもらえるので深く考えたことがない。これからもよろしく願います。

その他

- 今は、日常生活を普通に過ごせているが、いつ何があるかわからない年齢になっている。福祉や介護制度についてより関心を持っていきたい。
- 利用や体験をしたことがないので具体的なイメージがない。
- 努力しない高齢者を過保護にしない。自助の精神。
- 大変な人には沢山支援して上げられるように、元気でありたい。
- 介護と市財政のバランスを考え、若い人達に負担かけないように考えなくてはならない。
- 介護が必要になった時、だれでも直ぐに利用できればと思う。他人に迷惑を掛けずにつつましく生きていきたい。
- 今はまだ自分で出来ているが、将来が心配である。
- 周囲の年寄りを見ていると大変そうと思うが、介護が必要になった時には喜んで介護制度に身をゆだねる自分にならなくてはと思う。
- この様なアンケートが送付されること自体が老齢を感じる。
- 高齢になると健康状態や環境が変化するので、このようなアンケートを出きるだけ多く行ったほうがよいと思う。

參考資料

一般高齢者調査票

～65歳以上（介護保険利用者以外）の方へ～

高齢者保健福祉計画策定に向けてのアンケートへのご協力をお願い

日頃から逗子市の高齢者保健福祉行政に対しまして格別のご理解・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、逗子市では、高齢者が安心して暮らしていける環境づくりを進めるため、平成24年度以降の高齢者保健福祉計画の見直しを行います。

このため、逗子市にお住まいの介護保険サービスを利用していない65歳以上の方（2月1日現在）の中から、本市が無作為に抽出させていただきました1,000名の方を対象に、アンケート調査を実施させていただくことといたしました。

この調査は、日頃の生活実感や保健福祉サービスについてのご意見をお伺いするものです。

皆さまからのお答えは、すべてコンピューターにより統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することは決してございません。お忙しいところ誠にお手をわずらわせますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成23年2月

ご記入に当たってのお願い

1. この調査票でいう「あなた」とは、本アンケートをお願いするご本人（封筒の宛名の方）のことです。できるだけご本人がお答えください。ご本人がお答えできない場合は、ご本人のお気持ちを考え、ご家族の方等がお答えくださっても結構です。
2. お答えは、平成23年2月の状況でご記入ください。
3. お答えは、選択肢に○を付けていただく場合と、記述していただく場合とがあります。回答の仕方は、質問ごとの指定に従ってください。
 - ◆付けていただく○の数が複数の場合は、質問ごとに示してあります。
 - ◆記述していただく場合は、（ ）の中または枠の中にご記入ください。
 - ◆ご回答により、次に進む質問が異なる場合があります。ことわり書きや矢印に従ってお答えください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
 - ◆お答えしたくない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。
4. 各種サービスの内容については、同封の「逗子市高齢者福祉サービス一覧」をご覧ください。

ご記入いただいた調査票は、2月21日（月）までに、同封の返信用封筒により、逗子市福祉部介護保険課介護保険係までご返送ください（切手を貼る必要はありません）。

なお、この調査票についてご不明の点がございましたら、お手数ですが、介護保険課介護保険係までお問い合わせください。

問い合わせ先 逗子市福祉部介護保険課介護保険係

電話 046(873)1111 内線246・247・248

◎最初にこの調査にご回答いただく方についておたずねします。(○は1つ)

1. ご本人自らが回答

2. ご本人の回答を、別の方が代筆

3. ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答

↓
【2、3とお答えの方におたずねします】

それは、ご本人からみてどなたですか。

1. 配偶者

2. 子

3. 兄弟姉妹

4. 孫

5. その他（具体的に

）

1 あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別・年齢をおたずねします。

(1) 性別

1. 男

2. 女

(2) 年齢

1. 65～69歳

2. 70～74歳

3. 75～79歳

4. 80～84歳

5. 85～89歳

6. 90歳以上

問2 あなたのお住まいについておたずねします。

(1) あなたが逗子市にお住まいの期間は、通算でどのくらいですか。

1. 1年未満

2. 1年以上3年未満

3. 3年以上5年未満

4. 5年以上10年未満

5. 10年以上20年未満

6. 20年以上30年未満

7. 30年以上40年未満

8. 40年以上

(2) 本市では、地理的条件や人口、交通事情その他社会的条件に配慮し、介護保険サービス等の利用に地域格差が生じることがないように、2か所の日常生活圏域を設定しています。あなたのご自宅は、どちらの日常生活圏域にありますか。

1. 東部圏域

・逗子3、4丁目

・桜山全域

・沼間全域

・池子全域

2. 西部圏域

・逗子1、2、5、6、7丁目

・新宿全域

・山の根全域

・久木全域

・小坪全域

(3) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

1. 一戸建て

2. 集合住宅

(4) それはどんなお住まいですか。

1. 自己所有の持家

2. 家族所有の持家

3. 民間賃貸住宅

4. 公営賃貸住宅（市・県営、都市機構、公社等）

5. 借間

6. その他（

）

(5) お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。

1. はい

2. いいえ

↓
【「1.はい」とお答えの方におたずねします。】

①お住まいにエレベーターは設置されていますか。

1. はい

2. いいえ

問3 あなたのご同居状況についておたずねします。

1. ひとり暮らし 2. 同居家族がいる

【「1.ひとり暮らし」とお答えの方におたずねします。】

(1) 親族は、どちらにお住まいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 二世帯住宅にいるが、生活は別 | 2. 同じ敷地内にいるが、生活は別 |
| 3. 近所(歩ける範囲)にいる | 4. 近所ではないが、市内にいる |
| 5. 県内(市外)にいる | 6. 県外にいる |
| 7. その他() | 8. 親族はいない |

【「2.同居家族がいる」とお答えの方におたずねします。】

(2) ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、それは、あなたからみてどんな方ですか。(あてはまるものすべてに○)

()人

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|---------|
| 1. 父母(配偶者の親も含む) | 2. 配偶者 | 3. 息子 |
| 4. 娘 | 5. 子の配偶者 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 孫 | 8. その他() | |

(3) 同居のご家族の中に、介護や介助が必要な方はいますか。 1. いる 2. いない

【「1.いる」とお答えの方におたずねします。】

①それは、どんな方ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者 2. 障害者 3. 乳幼児 4. その他()

②主に介護や介助を担う方は、あなたからみてどなたですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------|----------|--------------------------------|
| 1. あなた自身 | 2. 配偶者 | 3. 息子 |
| 4. 娘 | 5. 子の配偶者 | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 親 | 8. 孫 | 9. その他() |

(4) 日中、一人になることがありますか。

1. よくある 2. たまにある 3. ない

問4 あなた自身の状態についておたずねします。

(1) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護・介助を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

↓
【「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方におたずねします。】

(2) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 |
| 3. がん(悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) |
| 5. 関節の病気(リウマチ等) | 6. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 視覚・聴覚障害 | 10. 骨折・転倒 |
| 11. 脊椎損傷 | 12. 高齢による衰弱 |
| 13. その他() | 14. 不明 |

(3) 主にどなたの介護・介助を受けていますか。

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他() | |

(4) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65~74歳 | 3. 75~84歳 | 4. 85歳以上 |
|----------|-----------|-----------|----------|

問5 あなたの経済状況についておたずねします。

(1) 年金の種類は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------|-----------------|-----------------|
| 1. 国民年金 | 2. 厚生年金(企業年金あり) | 3. 厚生年金(企業年金なし) |
| 4. 共済年金 | 5. 無年金 | 6. その他() |

(2) 現在、収入のある仕事をしていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 苦しい | 2. やや苦しい |
| 3. ややゆとりがある | 4. ゆとりがある |

II 健康と医療についておたずねします

問6 あなたの運動・閉じこもりの状態についておたずねします。

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 15分位続けて歩いていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 5m以上歩けますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) 週に1回以上は外出していますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。 1. はい 2. いいえ

(7) 外出を控えていますか。 1. はい 2. いいえ



【「1.はい」とお答えの方におたずねします。】

①外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 病気 | 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配 (失禁など) |
| 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 面倒なので | 10. その他 () |

(8) 買物、散歩で外出する回数はどのくらいですか。(○はそれぞれ1つ)

A. 買物…	1. ほぼ毎日	2. 週4、5日	3. 週2、3日
	4. 週1日	5. 週1日未満	
B. 散歩…	1. ほぼ毎日	2. 週4、5日	3. 週2、3日
	4. 週1日	5. 週1日未満	

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|-------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす (カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他 () | | |

問7 あなたの転倒予防の状態についておたずねします。

(1) この1年間に転んだことがありますか。 1. はい 2. いいえ

(2) 転倒に対する不安は大きいですか。 1. はい 2. いいえ

(3) 背中が丸くなってきましたか。 1. はい 2. いいえ

(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。 1. はい 2. いいえ

(5) 杖を使っていますか。 1. はい 2. いいえ

問8 あなたの口腔・栄養の状態についておたずねします。

(1) 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。 1. はい 2. いいえ

(2) あなたの身長・体重をおたずねします。 身長 () cm 体重 () kg

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。 1. はい 2. いいえ

(4) お茶や汁物等でむせることがありますか。 1. はい 2. いいえ

- (5) 口の渇きが気になりますか。 1. はい 2. いいえ
- (6) 歯磨き（人にやってもら場合も含む）を毎日していますか。 1. はい 2. いいえ
- (7) 定期的に歯科受診（健診も含む）をしていますか。 1. はい 2. いいえ
- (8) 入れ歯を使用していますか。 1. はい 2. いいえ



【「1.はい」とお答えの方におたずねします。】

- ①噛み合わせは良いですか。 1. はい 2. いいえ
- ②毎日入れ歯の手入れをしていますか。 1. はい 2. いいえ

問9 あなたの物忘れの状態についておたずねします。

- (1) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると
言われますか。 1. はい 2. いいえ
- (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。 1. はい 2. いいえ
- (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。 1. はい 2. いいえ
- (4) 5分前のことが思い出せますか。 1. はい 2. いいえ
- (5) その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。
1. 普通にできる 2. いくらか困難であるが、できる
3. 判断するときに他人からの合図や見守りが必要 4. ほとんど判断できない
- (6) 人に自分の思いをうまく伝えられますか。
1. 伝えられる 2. いくらか困難であるが、伝えられる
3. あまり伝えられない 4. ほとんど伝えられない

問10 あなたの日常生活の状態についておたずねします。

- (1) バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）。
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (2) 日用品の買物をしていますか。
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (3) 自分で食事の用意をしていますか。
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (4) 請求書の支払いをしていますか。
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

- (5) 預貯金の出し入れをしていますか。
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (6) 食事は自分で食べられますか。
1. できる 2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる 3. できない
- (7) 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。
1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない
- (8) 座っていることができますか。
1. できる 2. 支えが必要 3. できない
- (9) 自分で洗面や歯磨きができますか。
1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない
- (10) 50m以上歩けますか。
1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない
- (11) 階段を昇り降りできますか。
1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
- (12) 自分で着替えができますか。
1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
- (13) 自分で入浴ができますか。
1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない
- (14) 自分でトイレができますか。
1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない
- (15) 尿もれや尿失禁がありますか。
1. ない 2. ときどきある 3. よくある
- (16) 大便の失敗がありますか。
1. ない 2. ときどきある 3. よくある
- (17) 家事全般ができていますか。
1. できている 2. できていない

問 1 1 あなたの心身の健康状態についておたずねします。

(1) 現在の健康状態はいかがですか。

1. とても健康で、気になるところはない
2. 気になるところはあるが、年相応にまあまあ健康だと思う
3. 何となく調子がよくない
4. かなり調子がわるい

(2) あなたは、現在、医療機関にかかっていますか。

1. 通院している

2. 入院している

3. 医療機関にはかかっていない

【「1.通院している」又は「2. 入院している」とお答えの方におたずねします】

①現在治療中、または後遺症のあるものをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 高血圧 | 2. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) |
| 3. 心臓病 | 4. 糖尿病 |
| 5. 高脂血症 (脂質異常) | 6. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 8. 腎臓・前立腺の病気 |
| 9. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) | 10. 外傷 (転倒・骨折等) |
| 11. がん (悪性新生物) | 12. 血液・免疫の病気 |
| 13. うつ病 | 14. 認知症 (アルツハイマー病等) |
| 15. パーキンソン病 | 16. 目の病気 |
| 17. 耳の病気 | 18. 心の病 |
| 19. その他 () | |

②現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| 1. 1種類 | 2. 2種類 | 3. 3種類 |
| 4. 4種類 | 5. 5種類以上 | 6. 飲んでいない |

③通院している場合、その頻度はどのくらいですか。

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回程度 | 3. 月に2回程度 |
| 4. 月に1回程度 | 5. その他 () | |

④通院している場合、通院に介助が必要ですか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) お酒を飲みますか。

- | | | | |
|---------|-------------|-----------|-----------|
| 1. 飲まない | 2. ほとんど飲まない | 3. ときどき飲む | 4. ほぼ毎日飲む |
|---------|-------------|-----------|-----------|

(4) 現在、たばこを吸っていますか。

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. もともと吸わない | 2. 吸っていたことがあるが、今は吸わない |
| 3. ときどき吸う | 4. 毎日吸う |

【「4.毎日吸う」とお答えの方におたずねします。】

①あなたの1日の平均喫煙本数はどのくらいですか。

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|----------|
| 1. 10本未満 | 2. 10~20本未満 | 3. 20~40本未満 | 4. 40本以上 |
|----------|-------------|-------------|----------|

- (5) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がないと感じていますか。 1. はい 2. いいえ
- (6) (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じていますか。 1. はい 2. いいえ
- (7) (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではあっくうに感じられると感じていますか。 1. はい 2. いいえ
- (8) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えないと感じていますか。 1. はい 2. いいえ
- (9) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがすると感じていますか。 1. はい 2. いいえ

Ⅲ 日常の過ごし方についておたずねします

問12 あなたの社会参加の状態についておたずねします。

- (1) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。 1. はい 2. いいえ
- (2) 新聞を読んでいますか。 1. はい 2. いいえ
- (3) 本や雑誌を読んでいますか。 1. はい 2. いいえ
- (4) 健康についての記事や番組に関心がありますか。 1. はい 2. いいえ
- (5) 友人の家を訪ねていますか。 1. はい 2. いいえ
- (6) 家族や友人と話をしていますか。 1. はい 2. いいえ
- (7) 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか。 1. はい 2. いいえ

↓

【「1. はい」とお答えの方におたずねします。】

①相談相手を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|-------------|----------------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. 友人・知人 |
| 7. 医師・歯科医師・看護師 | 8. 民生委員 | 9. 自治会・町内会 |
| 10. 老人クラブ | 11. 社会福祉協議会 | 12. 地域包括支援センター |
| 13. ケアマネジャー | 14. 市役所 | 15. その他() |

- (8) 病人を見舞うことができますか。 1. はい 2. いいえ
- (9) 若い人に自分から話しかけることがありますか。 1. はい 2. いいえ
- (10) 1日誰とも話をしなかったことがありますか。 1. はい 2. いいえ
- (11) 趣味はありますか。 1. はい 2. いいえ
- (12) 生きがいはありますか。 1. はい 2. いいえ

問13 団体活動への参加状況と今後の参加意向についておたずねします。

区分	参加状況 (○はそれぞれ1つ)				今後の意向 (○はそれぞれ1つ)		
	いる 現在参加して	ある 参加したことは	ない 参加したことが		参加 したい	参加 したくない (できない)	わから ない
①町内会・自治会・婦人会などの団体	1	2	3	→	1	2	3
②老人クラブ	1	2	3	→	1	2	3
③商店会などの仕事関係の団体	1	2	3	→	1	2	3
④ボランティア団体	1	2	3	→	1	2	3
⑤交通安全・防犯・防災・青少年育成などの社会活動	1	2	3	→	1	2	3
⑥スポーツ・レクリエーション団体	1	2	3	→	1	2	3
⑦学習・教養・趣味の会などの団体	1	2	3	→	1	2	3
⑧健康づくりの団体	1	2	3	→	1	2	3
⑨その他(具体的に) ()	1	2	3	→	1	2	3

問14 地元地域のことで、困ること・不便に感じることはありますか。

(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 交通の便が悪い | 2. 山坂が多く、歩くのが大変 |
| 3. 買い物の場所がない・遠い | 4. 医療機関がない・遠い |
| 5. 福祉施設がない・遠い | 6. 治安・風紀が悪い |
| 7. 自由に使える公共的な施設がない・遠い | 8. スポーツ活動の場がない・遠い |
| 9. 高齢者の集いの場がない | 10. 住民同士の思いやり意識が感じられない |
| 11. その他() | 12. 特になし |

問15 あなたの今後の生活設計についておたずねします。

(1) 将来介護が必要となったとき、どうするか決めてありますか。

1. 家族と話し合い、どうするか決めてある
2. 家族に、自分の希望を伝えてある
3. 家族には話していないが、自分でだいたい決めてある
4. 未定（その時になってみないとわからない）
5. その他（ ）

(2) 介護が必要になったときの生活の場所として、どんなところを望みますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 自宅 | 2. 親族の家 |
| 3. 仲間と住めるような家
（グループホーム等） | 4. ケアサービスを利用できる家
（ケア付き住宅等） |
| 5. 特別養護老人ホームなどの福祉施設 | 6. 病院 |
| 7. その他（ ） | 8. どこでもよい |

(3) あなたは、今後、どこで暮らしたいですか。

1. できればこのまま返子で暮らし続けたい
2. できれば市外に住み替えたい
3. 特にこだわらない

(4) 【「1.できればこのまま返子で暮らし続けたい」とお答えの方におたずねします。】

①暮らし続けたい主な理由はなんですか。（○は2つまで）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 自宅があるから・住みなれた場所だから | 2. 生活しやすいから |
| 3. 知り合いが多いから | 4. 環境変化への対応に自信がない |
| 5. 経済的な理由 | 6. その他（ ） |

(5) 【問15（3）で、2.とお答えの方におたずねします。】

①住み替えたい主な理由はなんですか。（○は2つまで）

- | | |
|------------|----------------------|
| 1. 故郷に帰りたい | 2. 生活しにくいから |
| 3. 健康上の理由 | 4. 家族の都合（仕事・介護・子育て等） |
| 5. 経済的な理由 | 6. その他（ ） |

(6) あなたは、次の1～5のような生活の場について、どのように考えますか。

施設名	利用についての考え (○はそれぞれ1つ)
1. 高齢者対応の賃貸住宅 (シルバーハウジング等) 生活指導・相談などを受けられる、バリアフリー化された高齢者のための賃貸住宅	1. すぐにでも利用してみたい 2. 将来の利用を視野に、一度見学してみたい 3. 心身の状態に不安が生じたら利用したい 4. 利用したくない 5. 関心がない
2. 高齢者対応の生活支援施設 (軽費老人ホーム、ケアハウス) 自立して生活することに不安を抱える方等が入居し、日常生活の支援を受けられる施設	1. すぐにでも利用してみたい 2. 将来の利用を視野に、一度見学してみたい 3. 心身の状態に不安が生じたら利用したい 4. 利用したくない 5. 関心がない
3. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 認知症の状態にある方が、少人数で共同生活をし、入浴・排せつ・食事などの支援やケアが受けられる施設	1. すぐにでも利用してみたい 2. 将来の利用を視野に、一度見学してみたい 3. 心身の状態に不安が生じたら利用したい 4. 認知症になったら利用したい 5. 利用したくない 6. 関心がない
4. 有料老人ホーム等 食事などの日常生活に必要なサービスが受けられるマンション型施設	1. すぐにでも利用してみたい 2. 将来の利用を視野に、一度見学してみたい 3. 心身の状態に不安が生じたら利用したい 4. 利用したくない 5. 関心がない
5. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 要介護度1～5で、自宅では介護が困難な方が、介護等を受けられる施設	1. 将来の利用を視野に、一度見学してみたい 2. 心身の状態に不安が生じたら利用したい 3. 認知症・寝たきりになったら利用したい 4. 利用したくない 5. 関心がない

(7) あなたは、(6)の1～5の施設のうち、一番利用してみたい施設はどれですか。

1. 高齢者対応の賃貸住宅 (シルバーハウジング等)
2. 高齢者対応の生活支援施設 (軽費老人ホーム、ケアハウス)
3. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)
4. 有料老人ホーム等
5. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)

「一番利用してみたい施設」を選んだ理由はなんですか。ご自由にお書きください。

IV 保健福祉サービスとの関わりや利用意向についておたずねします

※各サービスの概要は「逗子市高齢者福祉サービス一覧」をご覧ください。

問16 市の高齢者福祉サービスや介護予防サービス、健康診査などの利用経験と、将来の利用希望についておたずねします。

(1) 高齢者福祉サービス

サービスの種類	利用経験 (○はそれぞれ1つ)				将来の利用希望 (○はそれぞれ1つ)		
	利用した ことがある	利用し たことが ない	知らな かった		利用 したい	利用 した く ない	わか ら ない
①地域包括支援センター 介護・福祉・医療・権利擁護等のサービスが継続的に提供されることを目的とした、高齢者のための総合相談支援	1	2	3	→	1	2	3
②在宅介護支援センター 寝たきりや認知症、心身の弱っている高齢者に対する在宅介護の相談支援	1	2	3	→	1	2	3
③高齢者センター 健康増進、教養講座、入浴、レクリエーション活動の実施	1	2	3	→	1	2	3
④福祉給食サービス 弁当を配達し、健康維持や安否確認の実施	1	2	3	→	1	2	3
⑤公衆浴場入浴助成 公衆浴場を高齢者の交流の場として活用し、健康増進、地域交流、世代間交流等を図るため、公衆浴場の利用助成券を交付	1	2	3	→	1	2	3
⑥住宅改修相談 建築士や理学療法士等による住まいの改修相談対応	1	2	3	→	1	2	3
⑦ひとり暮らし高齢者等訪問 一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯を対象とした、民生委員や市社会福祉協議会職員による訪問	1	2	3	→	1	2	3
⑧福祉バス 高齢者センター利用者のため、市内を定期運行	1	2	3	→	1	2	3
⑨ハンディキャブ 公共機関等ヘリフト付き乗用車の運行	1	2	3	→	1	2	3
⑩福祉緊急通報システム 急病や緊急時に備え、緊急通報機器の貸与	1	2	3	→	1	2	3

(2) 介護予防サービス（介護認定を受けていないか、または自立と判定された方へのサービスです。）

サービスの種類	利用経験 (○はそれぞれ1つ)				将来の利用希望 (○はそれぞれ1つ)		
	利用した ことがある	利用した ことがない	知らなかった		利用したい	ない 利用したく	わからない
①筋力アップ教室 ストレッチ、有酸素運動など器具を使用しない運動	1	2	3	→	1	2	3
②水中運動教室 温水プールにおける身体への負荷が少ない水中運動教室	1	2	3	→	1	2	3
③栄養改善教室 低栄養状態改善のための集団栄養教育と個別栄養相談 料理に不慣れな男性高齢者や糖尿病予備軍の高齢者を対象とした管理栄養士等による調理実習等	1	2	3	→	1	2	3
④口腔機能改善教室 口腔機能向上のための教育や口腔清掃、摂食、嚥下機能に関する指導	1	2	3	→	1	2	3
⑤ふれあいサロンでの体操・音楽や健康相談 閉じこもり予防を目的としたストレッチ、筋力アップ体操、音楽指導、相談等（生きがいデイサービスで実施）	1	2	3	→	1	2	3

(3) 健康増進事業

サービスの種類	利用経験 (○はそれぞれ1つ)				将来の利用希望 (○はそれぞれ1つ)		
	利用した ことがある	利用した ことがない	知らなかった		利用したい	ない 利用したく	わからない
①健康診査 特定健診、高齢者健診のほか、胃がん、大腸がん、子宮がん等の検査を実施	1	2	3	→	1	2	3
②訪問指導 生活習慣病、心の健康・療養等について、保健師・管理栄養士等が家庭に訪問して助言・相談を実施	1	2	3	→	1	2	3
③健康教育 生活習慣病予防、介護予防などについての正しい知識の普及と健康に対する自己管理への認識、自覚の高揚に係る講座	1	2	3	→	1	2	3

(3) あなたは今後、介護が必要になった場合、要介護認定申請をしますか。

1. する

2. しない

3. わからない

(4) 【「1. する」とお答えの方におたずねします。】

①主にどんなサービスを利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 施設に入所したい | 2. ホームヘルプを利用したい |
| 3. デイサービスを利用したい | 4. ショートステイを利用したい |
| 5. 住宅改修をしたい | 6. 福祉用具を活用したい |
| 7. 入浴介助を受けたい | 8. リハビリを受けたい |
| 9. 訪問看護を受けたい | 10. 移送サービスを利用したい |
| 11. その他 () | 12. まだ具体的には決まっていない |

(5) 【問17(3)で「2. しない」とお答えの方におたずねします。】

①介護が必要になっても、要介護認定の申請をしない理由はなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 家族に介護してもらいたいから | 2. 利用手続きが複雑で面倒だから |
| 3. 利用者負担が大変だから | 4. 利用したいサービスがないから |
| 5. 他人に介入されたくないから | 6. その他 () |

問18 介護保険制度や高齢者の各種保健福祉制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいと思われるのはどこ(誰)ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 市役所の窓口 | 2. ケアマネジャー |
| 3. 地域包括支援センター | 4. 在宅介護支援センター |
| 5. 民生委員 | 6. かかりつけの医師 |
| 7. サービスの直接の担当者 | 8. サービス事業所 |
| 9. 社会福祉協議会 | 10. 介護経験のある友人 |
| 11. その他 () | 12. 特にない |

問19 あなたが、現在心配なこと・困っていることはなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 自分の健康のこと | 2. 家族の健康のこと |
| 3. 家計のこと | 4. 自分と家族の関係 |
| 5. 友だちづきあい | 6. 家族同士の間人間関係 |
| 7. 孤独 | 8. 自由に外出できない |
| 9. 家族に面倒をみてもらうのがつらい | 10. 家族と一緒にいる時間が少ない |
| 11. 居住空間(狭い・段差・プライバシー等) | 12. 家族の将来(就職や結婚など) |
| 13. 災害時の対応 | 14. 自分らしく過ごせていないこと |
| 15. その他 () | 16. 特にない |

問20 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度全般の改善についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力誠にありがとうございました。

*調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください（切手を貼る必要はありません）。

===== 三つ折り =====

* ページの下をここまで折って、三つ折りにしてください。

* ホチキスの針には、十分にお気をつけください。

逗子市高齢者保健福祉計画策定

一般高齢者調査結果報告書

2011年(平成23年)3月

発行 逗子市福祉部介護保険課

〒249-8686 逗子市逗子5丁目2番16号

電話 046-873-1111

FAX 046-873-4520

